

新型コロナウイルス感染症関係情報発信効果分析・検証調査業務 報告書

令和3年8月
公益財団法人 山梨総合研究所

1. 概要.....	1
1.1. 目的	1
1.2. 本業務のフロー.....	1
2. 県政モニターアンケート	2
1.1. アンケートの概要.....	2
1.2. アンケートの回収状況	2
1.3. 本報告書中の記号等について	2
1.4. アンケート結果の概要	3
1.5. アンケート結果.....	4
問 1 性別を教えてください。	4
問 2 年代を教えてください。	4
問 3 世帯人数を教えてください。	5
問 4 居住地域を教えてください。	5
問 5 新型コロナに関し、あなたが情報収集に用いている媒体をいくつでも選んでください。	6
問 6 あなたが情報収集に用いている媒体のうち、参考にしている順に5つ選んでください。	8
問 7 以下の媒体で県が発信している新型コロナの情報を、どの程度ご覧になっていますか。	9
問 8 以下の媒体で県が発信している新型コロナの情報は、感染予防にどの程度役立っていますか。	12
問 9 新型コロナに関して、あなたが役立つと思う情報をいくつでも選んでください。	15
問 10 現在のあなたの取り組みとして、当てはまるものを教えてください。	18
問 11 新型コロナに関してあなたの気持ちや経験に当てはまるものを教えてください。	22
問 12 最後に、新型コロナに関連して、県への要望や困っていること等、ご自由にご記入ください。	25
3. WEB アンケート.....	27
1.1. アンケートの概要.....	27
1.2. 本報告書中の記号等について	27
1.3. アンケート結果の概要	28
1.4. 回答者の属性	30
1.5. アンケート結果.....	31
問 1 新型コロナウイルスに関する情報収集について、現在のあなたの状態に最も当てはまるものはどれですか。	31
問 2 新型コロナウイルスに関する情報について、あなたが最も重視することはなんですか。	32
問 3 普段、新型コロナウイルスに関する情報を集めるとき、情報源にしているものは何ですか。	34
問 4 新型コロナウイルスに関する情報について、信頼している情報源は何ですか。	36
問 5 新型コロナウイルスに関して、あなたが知りたい情報はどんなことですか。	40
問 6 あなたが新型コロナウイルスの情報を集める理由として、最も当てはまるものはどれですか。	42
問 7 新型コロナウイルスに関する情報を得たことをきっかけに、あなたの行動はどう変わりましたか。	44
問 8 新型コロナウイルスに関して、あなたの不安や恐れに当てはまるものを選んでください。	46
問 9 現状のコロナ禍において、あなたの気持ちに当てはまる言葉は次のうちどれですか。	48
問 10 山梨県が発信している新型コロナウイルスに関する情報をどの媒体で見たことがありますか。	51
問 11 山梨県が発信している新型コロナウイルスに関する情報はどの程度役に立っていますか。	53
問 12 新型コロナウイルスに関する情報発信に関して、ご意見やご要望等ご自由にご記入ください。	54

4. 若年層へのグループインタビュー	56
1.1. グループインタビューの概要	56
1.2. グループインタビュー結果の概要	56
1.3. グループインタビューの結果	58
●山梨大学 在学生へのインタビュー	58
●山梨県立大学 在学生へのインタビュー	61
●山梨学院大学 留学生へのインタビュー	63
5. 情報収集における各年代の傾向	66
1.1. 10～20 代の傾向	66
1.2. 30～40 代の傾向	66
1.3. 50 代以上の傾向	66
1.4. まとめ	67
6. 無関心層に関する分析	68
1.1. 無関心層の抽出	68
1.2. 無関心層クラスターの分析	69
1.3. まとめ	74
7. 県における今後の新型コロナウイルスに関する情報発信のあり方	75
1.1. 若年層への情報発信のあり方	75
1.2. 50 代以上への情報発信のあり方	75
1.3. 無関心層への情報発信のあり方	75
1.4. 外国人に対する情報発信のあり方	76
1.5. 行動変容を促す情報発信のあり方	76

1.概要

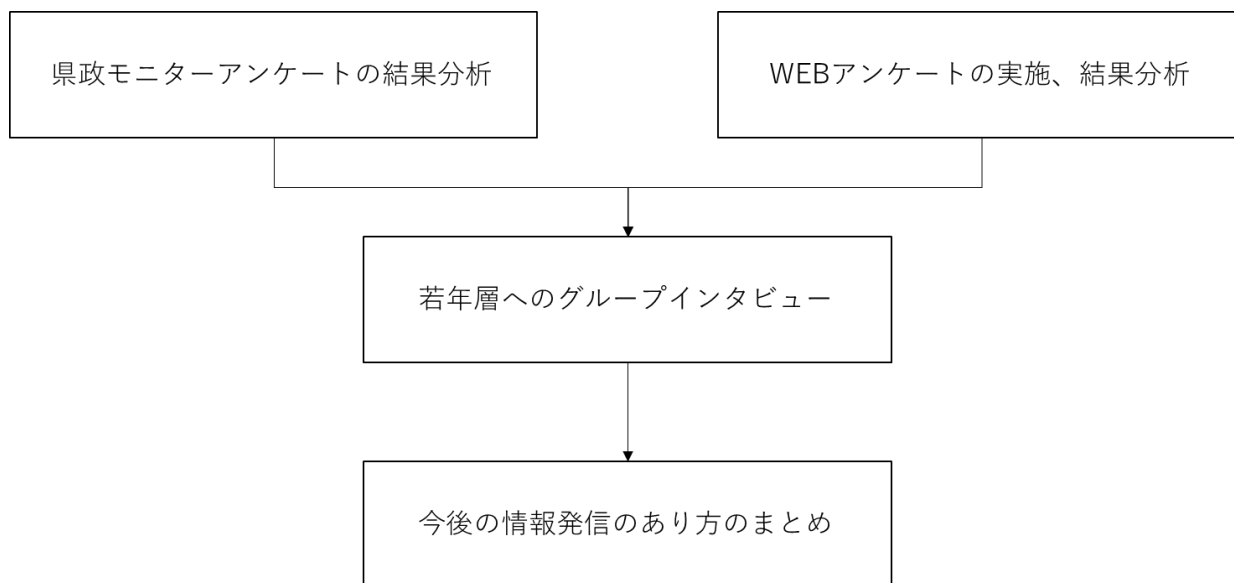
1.1.目的

山梨県では、新型コロナウイルスに関する情報をテレビや新聞、県ホームページ、県 SNS などでの情報発信、注意喚起を行ってきた。

本業務は、新型コロナウイルスワクチンの接種が順次進められているものの、デルタ株といった変異株の影響により今後も感染拡大が想定される中で、山梨県が行ってきた情報発信についてアンケートなどから県民に与えた影響等を把握するとともに、今後における情報発信のあり方の見直しに資する分析・検証を行うことを目的とする。

1.2.本業務のフロー

本業務では、まず山梨県が令和3年5月に県政モニターを対象に実施した「新型コロナウイルス感染症についての情報発信等に関するアンケート調査」の結果を分析する。また、山梨県内在住のリサーチモニターを対象としてWEB アンケートを実施するとともに、各アンケートの結果を受け、若年層へのグループインタビューを行う。それらの調査結果を受けて、今後の新型コロナウイルスに関する山梨県の情報発信のあり方についてまとめる。



2.県政モニターアンケート

1.1.アンケートの概要

山梨県が令和3年5月に実施した「新型コロナウイルス感染症についての情報発信等に関するアンケート調査」の結果について、山梨総合研究所で集計、分析を行った。

調査実施者	山梨県
調査対象	山梨県 県政モニター
対象者数	408人
調査方法	調査票郵送による配付・回収及びWEB上での回答

1.2.アンケートの回収状況

発送数	回収数	回収率
408	369	90.4%

1.3.本報告書中の記号等について

(S A)・・・単一回答(Single Answer)の略。選択回答は1項目のみ。

(M A)・・・複数回答(Multi Answer)の略。回答する選択肢の数に制限を設けている場合がある。

(F A)・・・自由回答(Free Answer)の略。回答者の考えを自由に記入するもの。

n・・・回答者数(number)を表す。「n=100」は、回答者数が100人ということ。

※アンケート結果の数値は小数点第2位を四捨五入しており、単一回答であっても合計が100%にならない場合がある。

※複数回答の場合は合計値が100%にならない場合がある。

※本アンケート実施時の記載に準じて、新型コロナウイルスについては「新型コロナ」と記載をしている。

※年代別集計において、20歳未満及び80歳以上についてはサンプル数が少ないため、参考値とする。

1.4.アンケート結果の概要

①情報収集に用いている媒体について

- ・ 新型コロナウイルスに関する情報収集に用いている媒体はいずれの年代でも「テレビ」が最も割合が高く、情報収集に用いている媒体の参考順でも 1 位となったことから、「テレビ」の影響力の強さが窺える。
- ・ 情報収集に用いられている媒体としては、「テレビ」に次いで「新聞」、「インターネット（ニュースサイト）」となっている。「新聞」は年代が高くなるにつれて割合が高くなる傾向にあり、「インターネット（ニュースサイト）」については 60 歳以上で選ぶ人が他の年代に比べかなり少なくなっている。

②県が発信している新型コロナの情報について

- ・ 県が発信している新型コロナの情報への接触頻度について、県のテレビ・ラジオ番組の接触頻度が高くなっているが、県政広報番組では現状、新型コロナの情報についてはほとんど発信していないため、アンケートの回答者が県政広報番組と一般のニュース番組を混同している可能性がある。一方で、県の広報誌や SNS など、その他の媒体については、接触頻度や認知度が低い状況にあることが分かる。
- ・ 県が発信している情報が感染予防に役立っているかについて、県のテレビ・ラジオ番組では「非常に役に立っている」、「役に立っている」、「たまに役に立っている」を合わせた『役に立っている』が 7 割を超えているものの、接触頻度と同様にアンケート回答者が県政広報番組と一般のニュース番組を混同している可能性がある。また、県ホームページは『役に立っている』が 6 割を超えているが、その他の媒体については、「あまり役立たない」、「役立ったことはない」が半数近くまたは半数以上となっている。

③役立つと思う情報について

- ・ 「日毎の感染発生状況（件数）」の割合が 8 割を超え、次いで「感染者の居住地や生活圏」、「感染経路（経路概要）」となっており、感染状況や感染者に関する情報への関心が高いことが窺える。

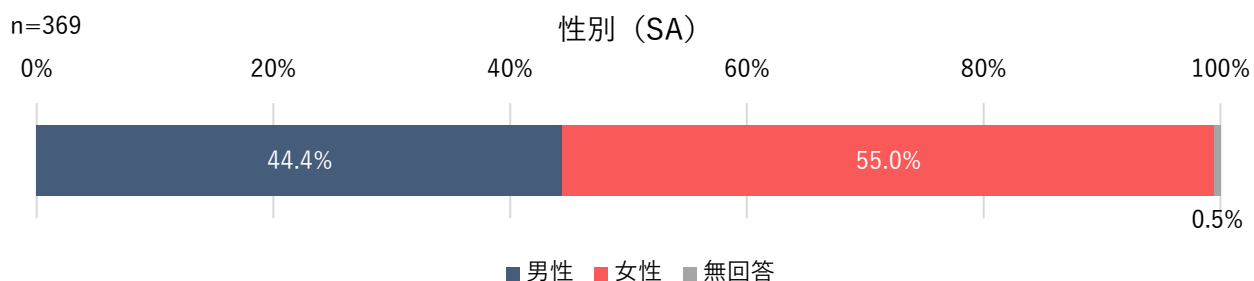
④新型コロナに関する取り組みや気持ち、経験について

- ・ 現在の取り組みについては、いずれの項目においても「当てはまる」、「やや当てはまる」を合わせた『当てはまる』が 7 割を超えている。特に、“できるだけマスクを着用する”、“3 つの密(密閉・密集・密接)が重なる場を避ける”、“こまめに手を洗うか、消毒液を使用する”の 3 項目で『当てはまる』が 95% 以上となっており、基本的な対策が徹底されていることが窺える。
- ・ 新型コロナに関する気持ちや経験について、“自分は新型コロナに感染しないと思う”と考える人が全体で 2 割を超えている。年代別では 20 代と 50~60 代で 2 割超、70 代では 3 割超となっている。また、“感染したと思っても受診したくない”、“新型コロナへの感染が心配で、受診を控えたことがある”として医療機関への受診を控える層が全体で 1~2 割程度いることが分かった。

1.5.アンケート結果

問1 性別を教えてください。

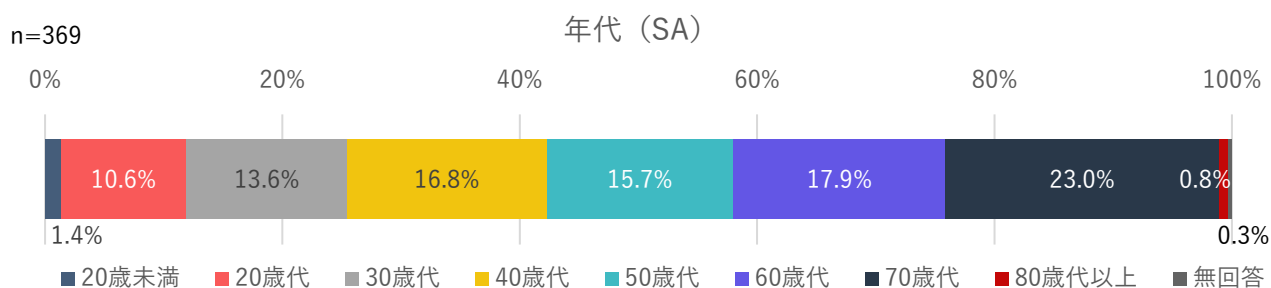
回答者の性別について、男性が44.4%、女性が55.0%となっている。



	n	%
男性	164	44.4%
女性	203	55.0%
無回答	2	0.5%

問2 年代を教えてください。

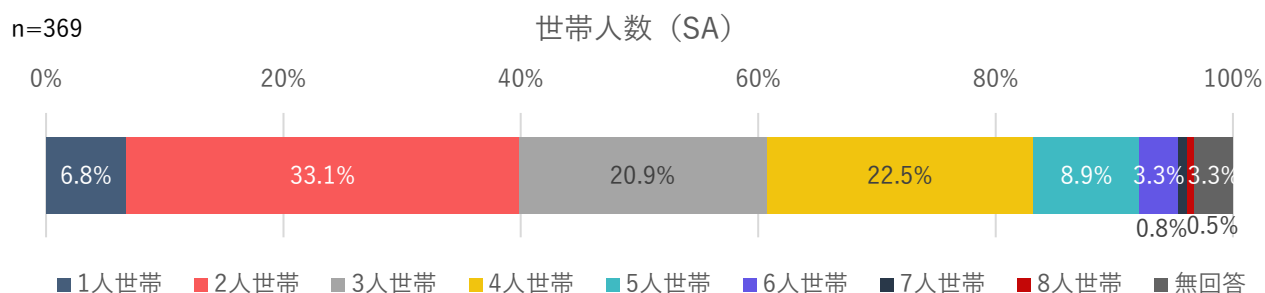
回答者の年代について、70歳代が23.0%と最も高く、次いで60歳代が17.9%となっている。



	n	%
20歳未満	5	1.4%
20歳代	39	10.6%
30歳代	50	13.6%
40歳代	62	16.8%
50歳代	58	15.7%
60歳代	66	17.9%
70歳代	85	23.0%
80歳代以上	3	0.8%
無回答	1	0.3%

問3 世帯人数を教えてください。

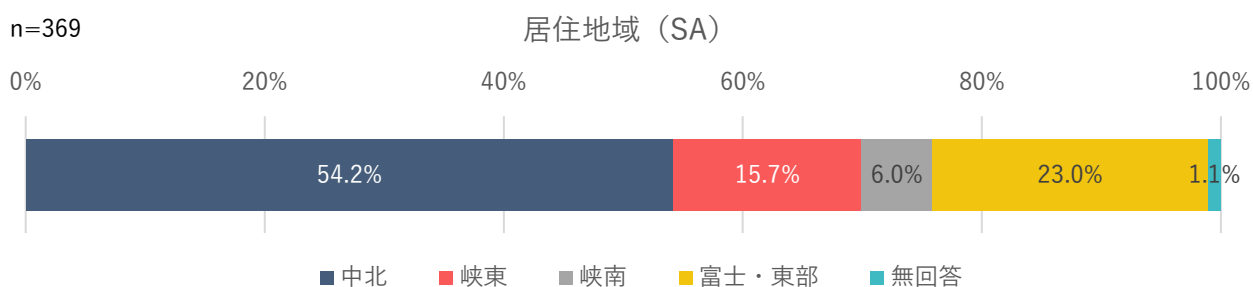
回答者の世帯人数について、2人世帯が33.1%と最も高く、次いで4人世帯が22.5%となっている。



	n	%
1人世帯	25	6.8%
2人世帯	122	33.1%
3人世帯	77	20.9%
4人世帯	83	22.5%
5人世帯	33	8.9%
6人世帯	12	3.3%
7人世帯	3	0.8%
8人世帯	2	0.5%
無回答	12	3.3%

問4 居住地域を教えてください。

回答者の居住地域について、中北地域が54.2%と最も高く、次いで富士・東部地域が23.0%となっている。



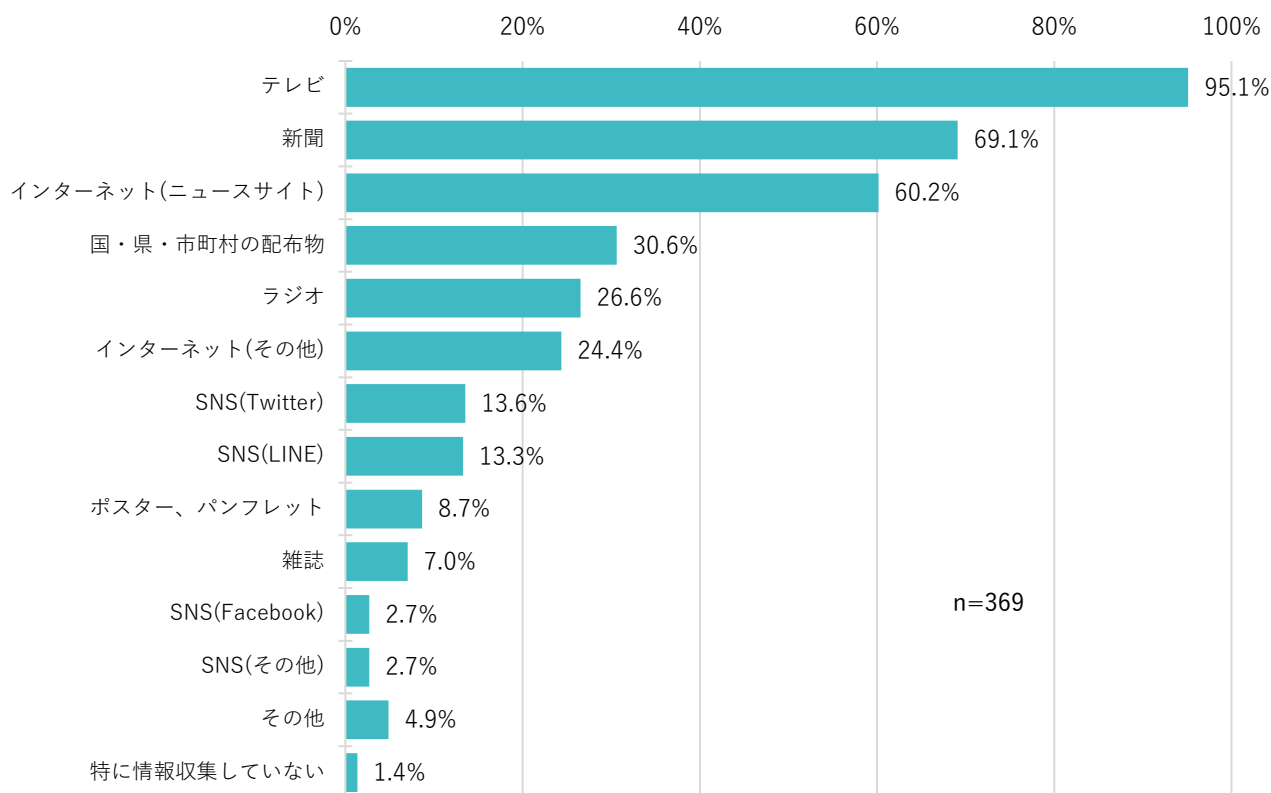
	n	%
中北	200	54.2%
峡東	58	15.7%
峡南	22	6.0%
富士・東部	85	23.0%
無回答	4	1.1%

問5 新型コロナに関し、あなたが情報収集に用いている媒体をいくつか選んでください。

情報収集に用いている媒体については、「テレビ」が95.1%と最も高くなっている。次いで、「新聞」が69.1%、「インターネット（ニュースサイト）」が60.2%となっている。

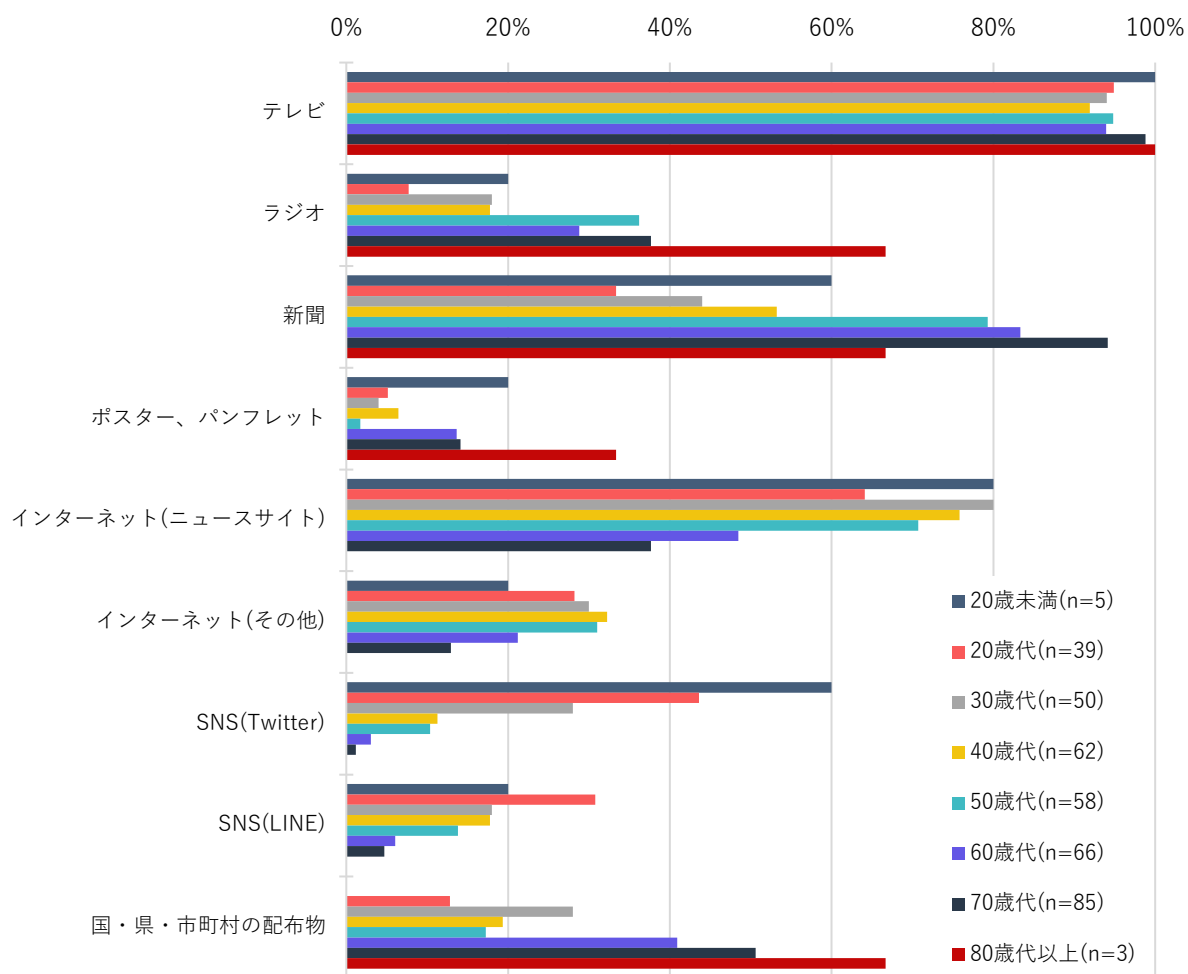
年代別で見ると、「テレビ」はいずれの年代でも最も高くなっているが、「新聞」は年代が高くなるにつれて選ぶ人が多くなる傾向にあり、「インターネット（ニュースサイト）」については、60歳以上で選ぶ人が他の年代に比べかなり少ないことが分かる。

新型コロナに関して、情報収集に用いている媒体（MA）



	n	%
テレビ	351	95.1%
新聞	255	69.1%
インターネット(ニュースサイト)	222	60.2%
国・県・市町村の配布物	113	30.6%
ラジオ	98	26.6%
インターネット(その他)	90	24.4%
SNS(Twitter)	50	13.6%
SNS(LINE)	49	13.3%
ポスター、パンフレット	32	8.7%
雑誌	26	7.0%
SNS(Facebook)	10	2.7%
SNS(その他)	10	2.7%
その他	18	4.9%
特に情報収集していない	5	1.4%

年代×情報収集に用いている媒体

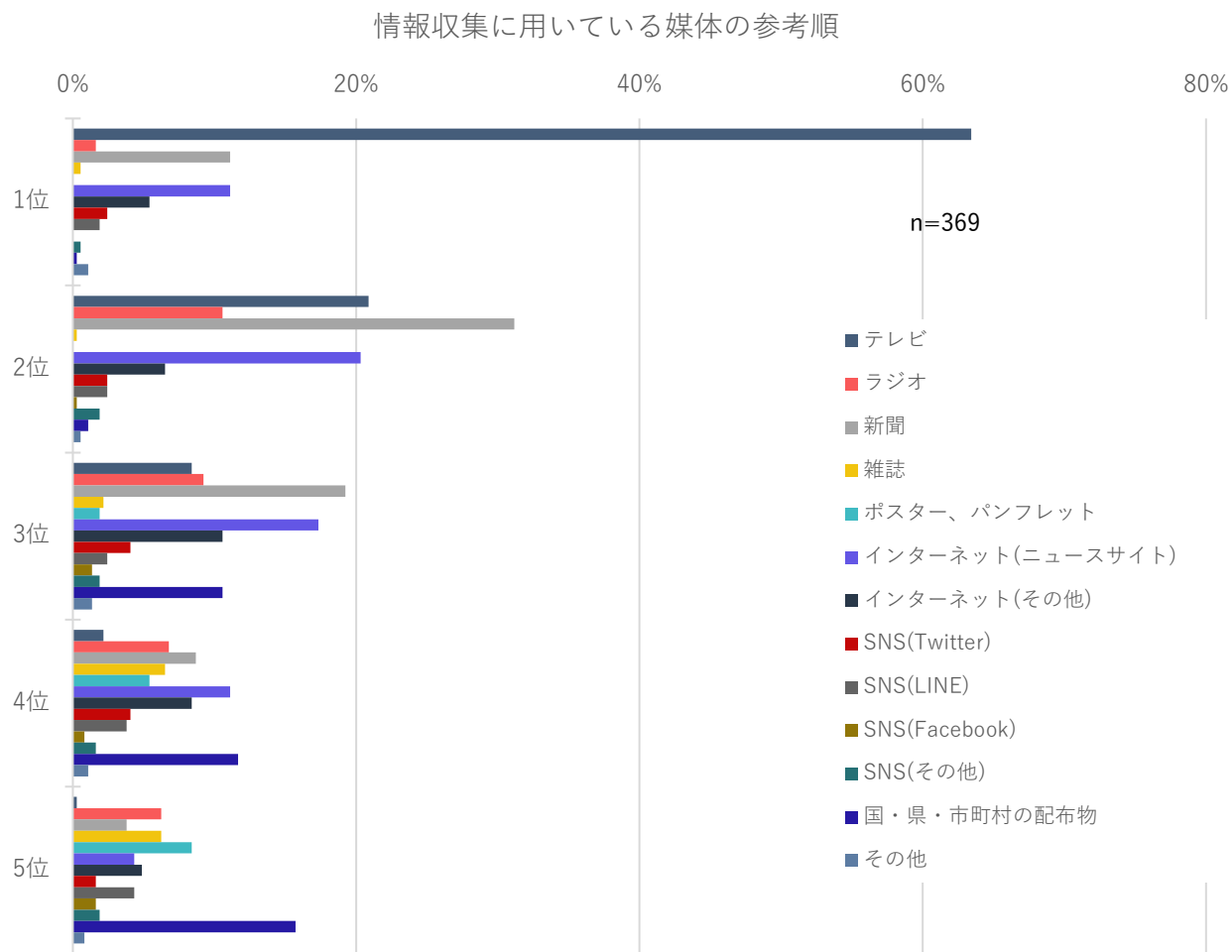


※全体で上位9位までの項目

	テレビ	ラジオ	新聞	雑誌	ポスター、パンフレット	インターネット(ニュースサイト)	インターネット(その他)	SNS(Twitter)	SNS(LINE)	SNS(Facebook)	SNS(その他)	国・県・市町村の配布物	特に情報収集していない	その他
20歳未満(n=5)	100.0%	20.0%	60.0%	0.0%	20.0%	80.0%	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20歳代(n=39)	94.9%	7.7%	33.3%	2.6%	5.1%	64.1%	28.2%	43.6%	30.8%	2.6%	7.7%	12.8%	2.6%	7.7%
30歳代(n=50)	94.0%	18.0%	44.0%	0.0%	4.0%	80.0%	30.0%	28.0%	18.0%	0.0%	6.0%	28.0%	2.0%	4.0%
40歳代(n=62)	91.9%	17.7%	53.2%	4.8%	6.5%	75.8%	32.3%	11.3%	17.7%	3.2%	1.6%	19.4%	0.0%	1.6%
50歳代(n=58)	94.8%	36.2%	79.3%	3.4%	1.7%	70.7%	31.0%	10.3%	13.8%	3.4%	3.4%	17.2%	0.0%	1.7%
60歳代(n=66)	93.9%	28.8%	83.3%	12.1%	13.6%	48.5%	21.2%	3.0%	6.1%	4.5%	0.0%	40.9%	1.5%	6.1%
70歳代(n=85)	98.8%	37.6%	94.1%	14.1%	14.1%	37.6%	12.9%	1.2%	4.7%	2.4%	1.2%	50.6%	2.4%	8.2%
80歳代以上(n=3)	100.0%	66.7%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%

問6 あなたが情報収集に用いている媒体のうち、参考にしている順に5つ選んでください。

情報収集に用いている媒体の参考順について、1位に選ばれた媒体の中で最も割合が高かったのは「テレビ」で、63.4%と過半数を占めた。



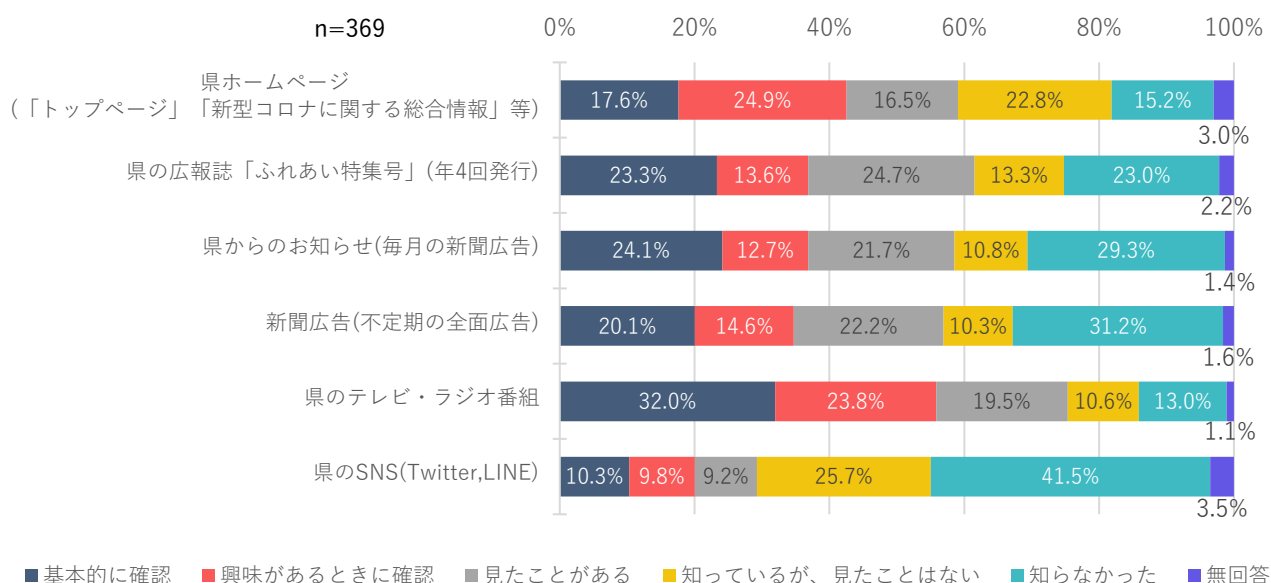
	1位	2位	3位	4位	5位
テレビ	63.4%	20.9%	8.4%	2.2%	0.3%
ラジオ	1.6%	10.6%	9.2%	6.8%	6.2%
新聞	11.1%	31.2%	19.2%	8.7%	3.8%
雑誌	0.5%	0.3%	2.2%	6.5%	6.2%
ポスター、パンフレット	0.0%	0.0%	1.9%	5.4%	8.4%
インターネット(ニュースサイト)	11.1%	20.3%	17.3%	11.1%	4.3%
インターネット(その他)	5.4%	6.5%	10.6%	8.4%	4.9%
SNS(Twitter)	2.4%	2.4%	4.1%	4.1%	1.6%
SNS(LINE)	1.9%	2.4%	2.4%	3.8%	4.3%
SNS(Facebook)	0.0%	0.3%	1.4%	0.8%	1.6%
SNS(その他)	0.5%	1.9%	1.9%	1.6%	1.9%
国・県・市町村の配布物	0.3%	1.1%	10.6%	11.7%	15.7%
その他	1.1%	0.5%	1.4%	1.1%	0.8%

問7 以下の媒体で県が発信している新型コロナの情報を、どの程度ご覧になっていますか。

県が発信している新型コロナの情報について、県のテレビ・ラジオ番組は、「基本的に確認」が32.0%、「興味があるときに確認」が23.8%と接触頻度が高くなっているが、県政広報番組の「前進！やまなし」や「いいトコ山梨」では新型コロナの情報についてはほとんど発信していないため、アンケートの回答者が県政広報番組と一般のニュース番組を混同している可能性がある。

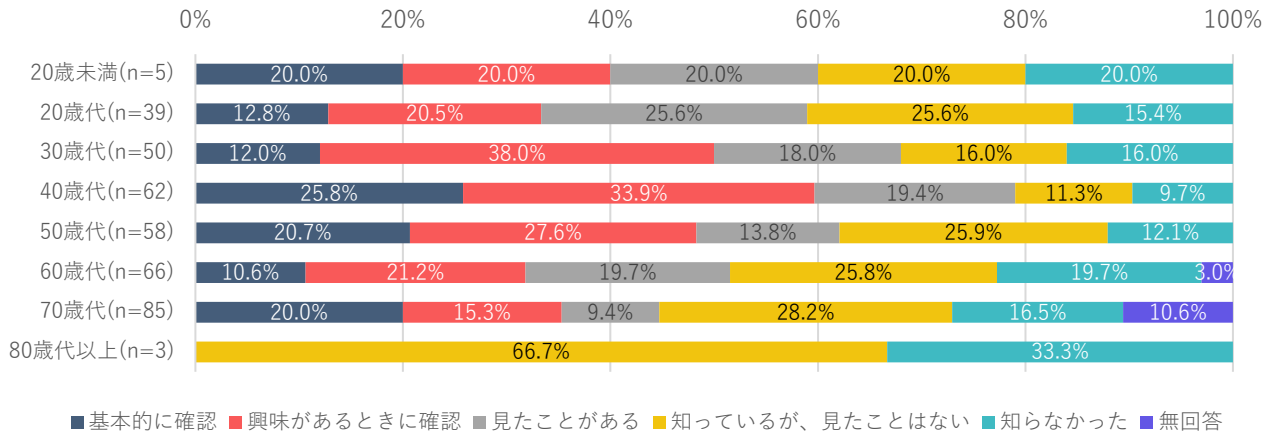
その他の媒体については、「知っているが、見たことはない」、「知らなかった」の割合が高くなっており、接触頻度や認知度が低い状況にあることが分かる。

県が発信している新型コロナの情報を、どの程度見ているか (SA)

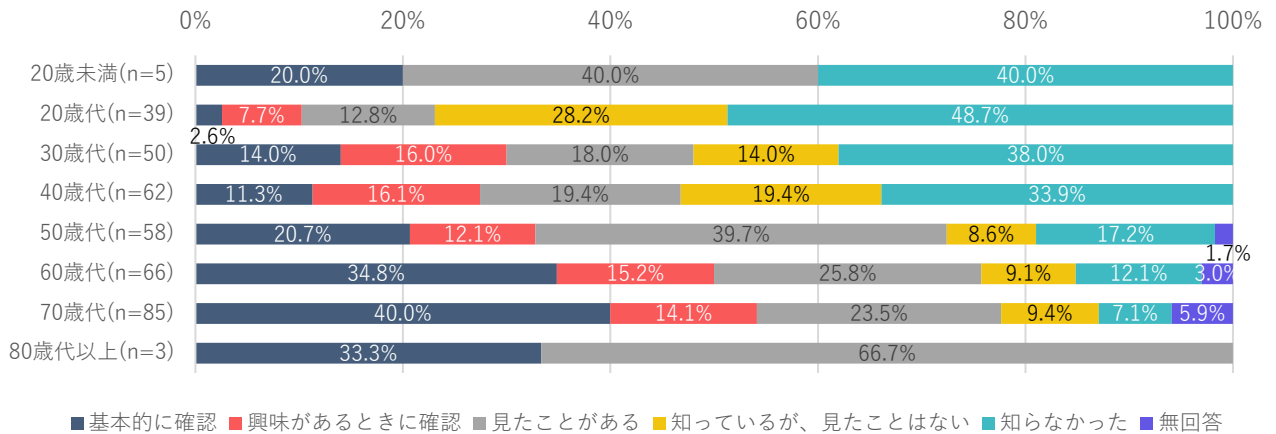


	基本的に確認		興味があるときに確認		見たことがある		知っているが、見たことはない		知らなかった		無回答	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
県ホームページ (「トップページ」「新型コロナに関する総合情報」等)	65	17.6%	92	24.9%	61	16.5%	84	22.8%	56	15.2%	11	3.0%
県の広報誌「ふれあい特集号」 (年4回発行)	86	23.3%	50	13.6%	91	24.7%	49	13.3%	85	23.0%	8	2.2%
県からのお知らせ(毎月の新聞広告)	89	24.1%	47	12.7%	80	21.7%	40	10.8%	108	29.3%	5	1.4%
新聞広告(不定期の全面広告)	74	20.1%	54	14.6%	82	22.2%	38	10.3%	115	31.2%	6	1.6%
県のテレビ・ラジオ番組	118	32.0%	88	23.8%	72	19.5%	39	10.6%	48	13.0%	4	1.1%
県のSNS(Twitter,LINE)	38	10.3%	36	9.8%	34	9.2%	95	25.7%	153	41.5%	13	3.5%

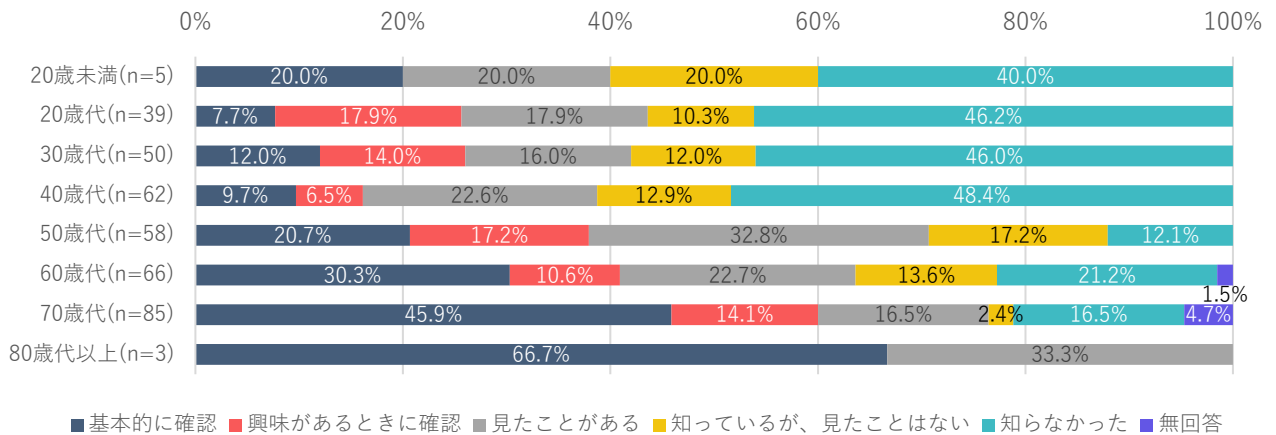
年代×接触頻度（県ホームページ）



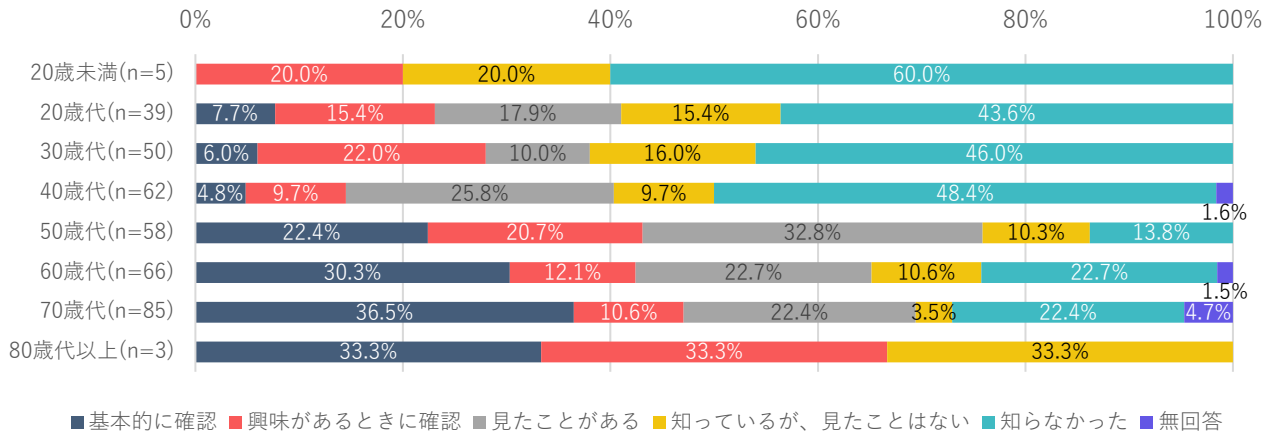
年代×接触頻度（ふれあい特集号）



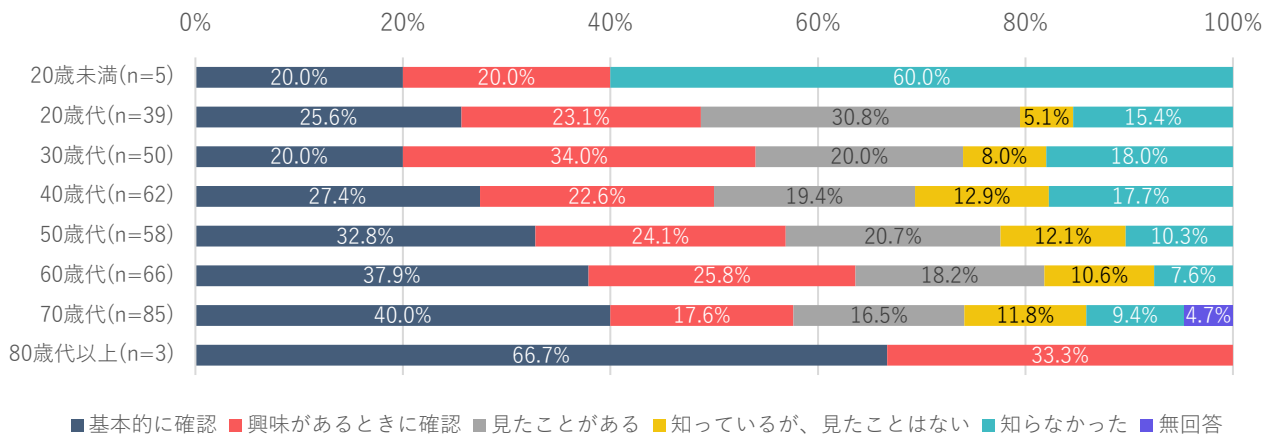
年代×接触頻度（毎月の新聞広告）



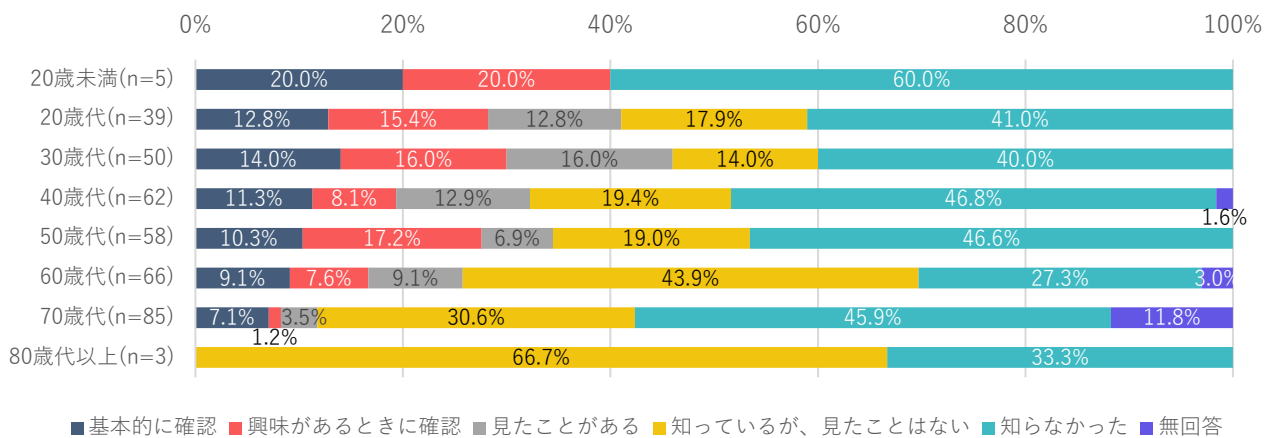
年代×接触頻度（不定期の新聞広告）



年代×接触頻度（県のテレビ・ラジオ番組）



年代×接触頻度（県のSNS(Twitter,LINE)）

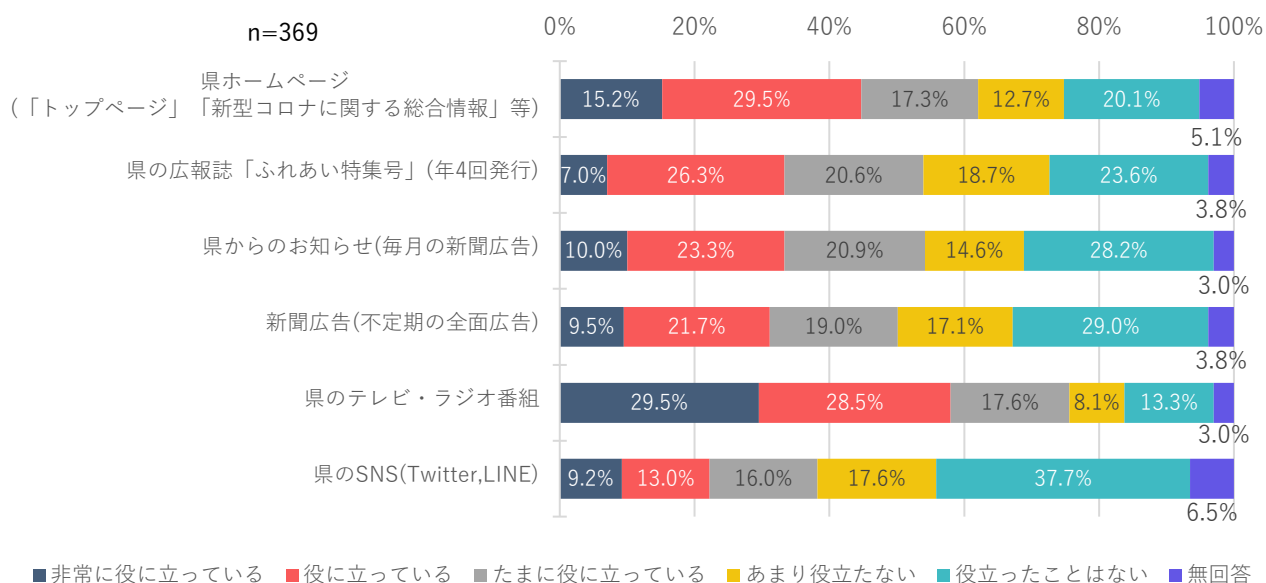


問 8 以下の媒体で県が発信している新型コロナの情報は、感染予防にどの程度役立っていますか。

県が発信している新型コロナの情報について、県のテレビ・ラジオ番組では「非常に役に立っている」、「役に立っている」、「たまに役に立っている」を合わせた『役に立っている』が7割を超えているが、問7と同様にアンケート回答者が県政広報番組と一般のニュース番組を混同している可能性がある。

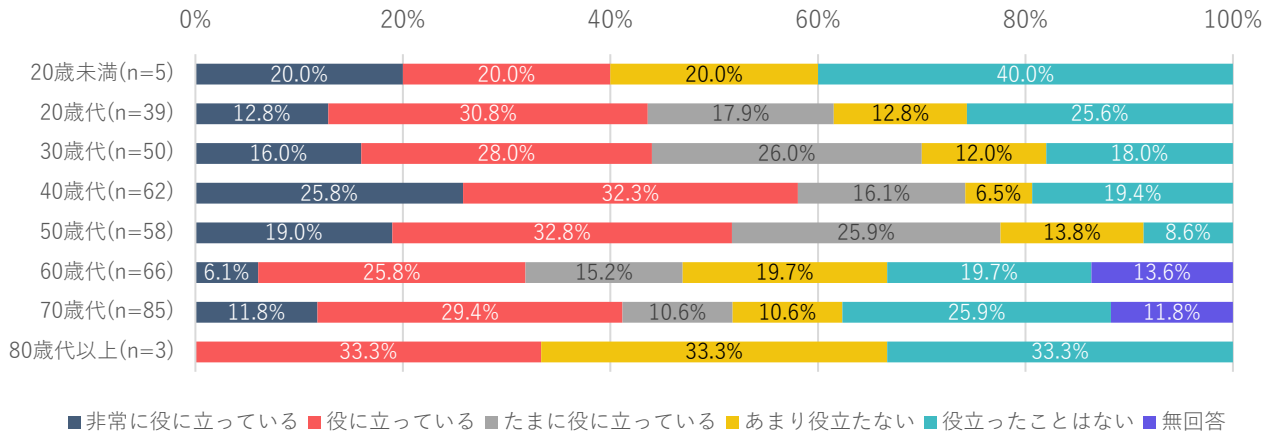
また、県ホームページは『役に立っている』が6割を超えているが、その他の媒体については、「あまり役立たない」、「役立ったことはない」が半数近くまたは半数以上となっている。

県が発信している新型コロナの情報は、
感染予防にどの程度役に立っているか (SA)

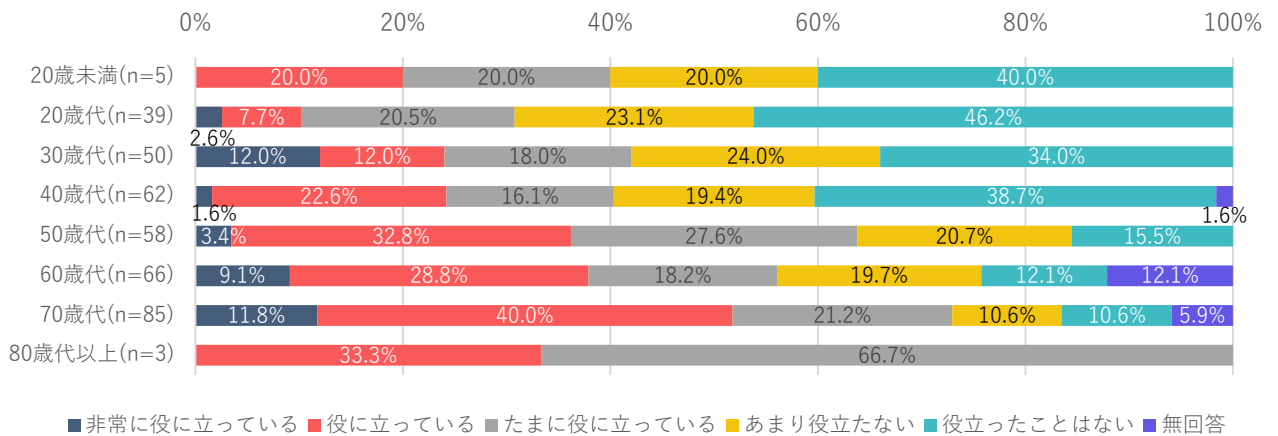


	非常に役に立っている		役に立っている		たまに役に立っている		あまり役立たない		役立ったことはない		無回答	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
県ホームページ (「トップページ」「新型コロナに関する総合情報」等)	56	15.2%	109	29.5%	64	17.3%	47	12.7%	74	20.1%	19	5.1%
県の広報誌「ふれあい特集号」 (年4回発行)	26	7.0%	97	26.3%	76	20.6%	69	18.7%	87	23.6%	14	3.8%
県からのお知らせ(毎月の新聞広告)	37	10.0%	86	23.3%	77	20.9%	54	14.6%	104	28.2%	11	3.0%
新聞広告(不定期の全面広告)	35	9.5%	80	21.7%	70	19.0%	63	17.1%	107	29.0%	14	3.8%
県のテレビ・ラジオ番組	109	29.5%	105	28.5%	65	17.6%	30	8.1%	49	13.3%	11	3.0%
県のSNS(Twitter,LINE)	34	9.2%	48	13.0%	59	16.0%	65	17.6%	139	37.7%	24	6.5%

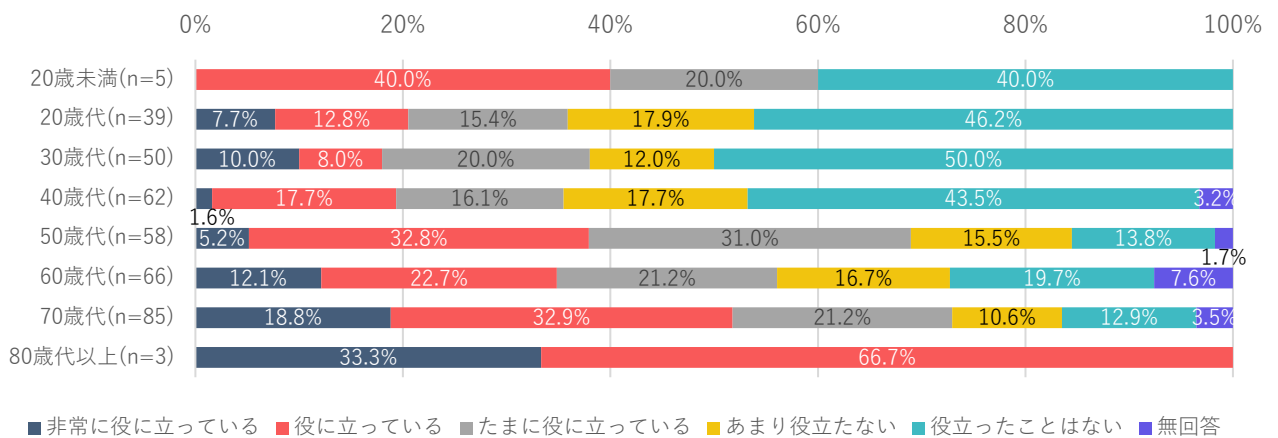
年代×役に立っているか（県ホームページ）



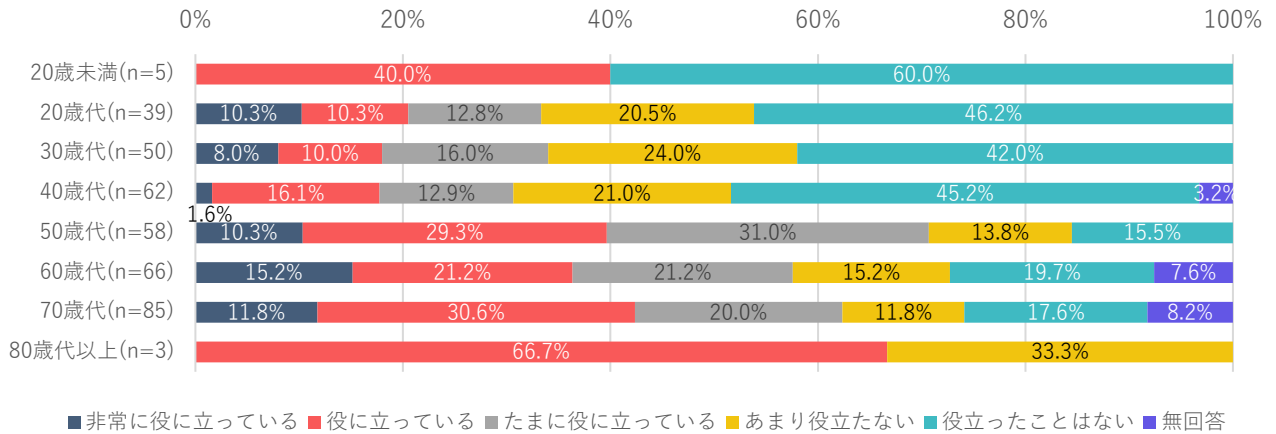
年代×役に立っているか（ふれあい特集号）



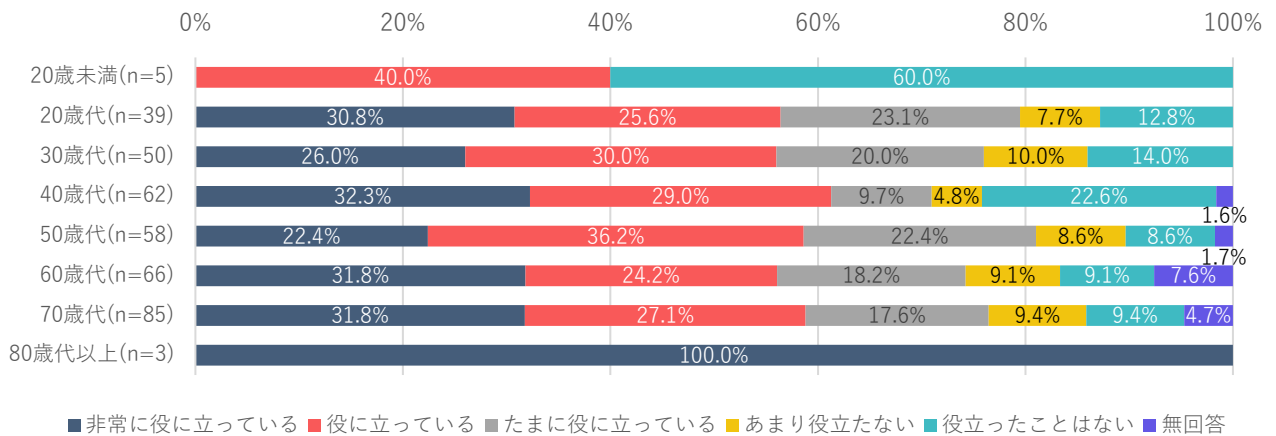
年代×役に立っているか（毎月の新聞広告）



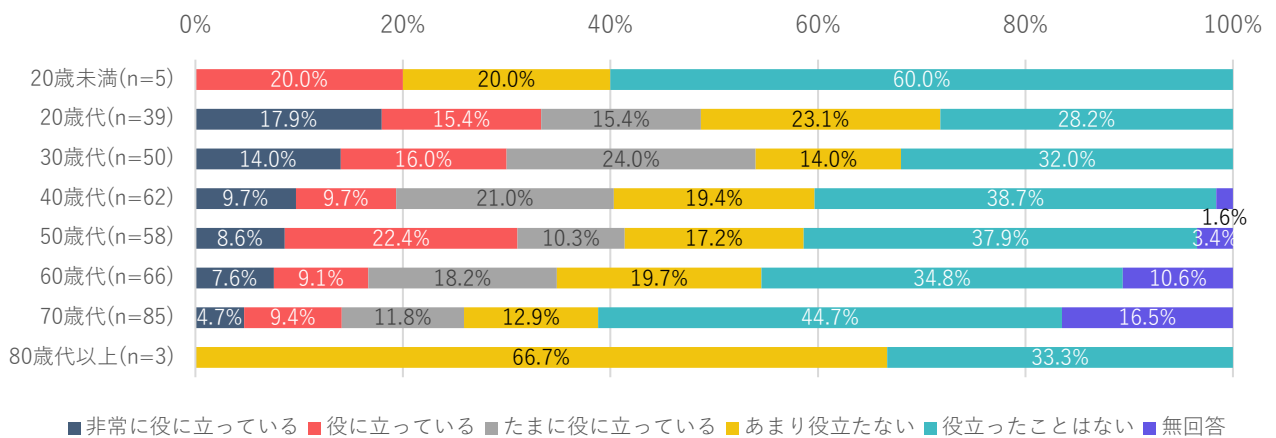
年代×役に立っているか（不定期の新聞広告）



年代×役に立っているか（県のテレビ・ラジオ番組）

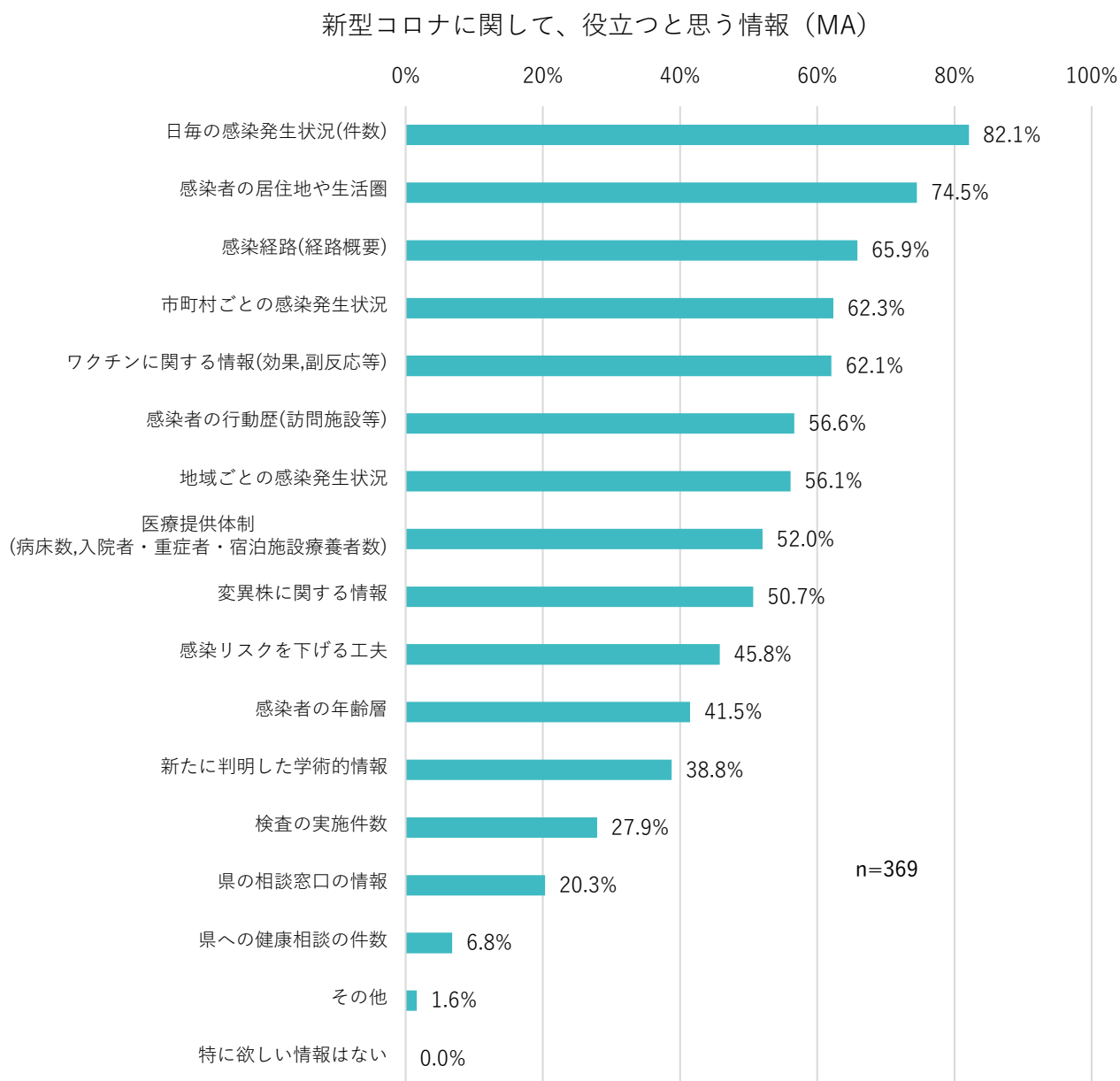


年代×役に立っているか（県のSNS(Twitter,LINE)）



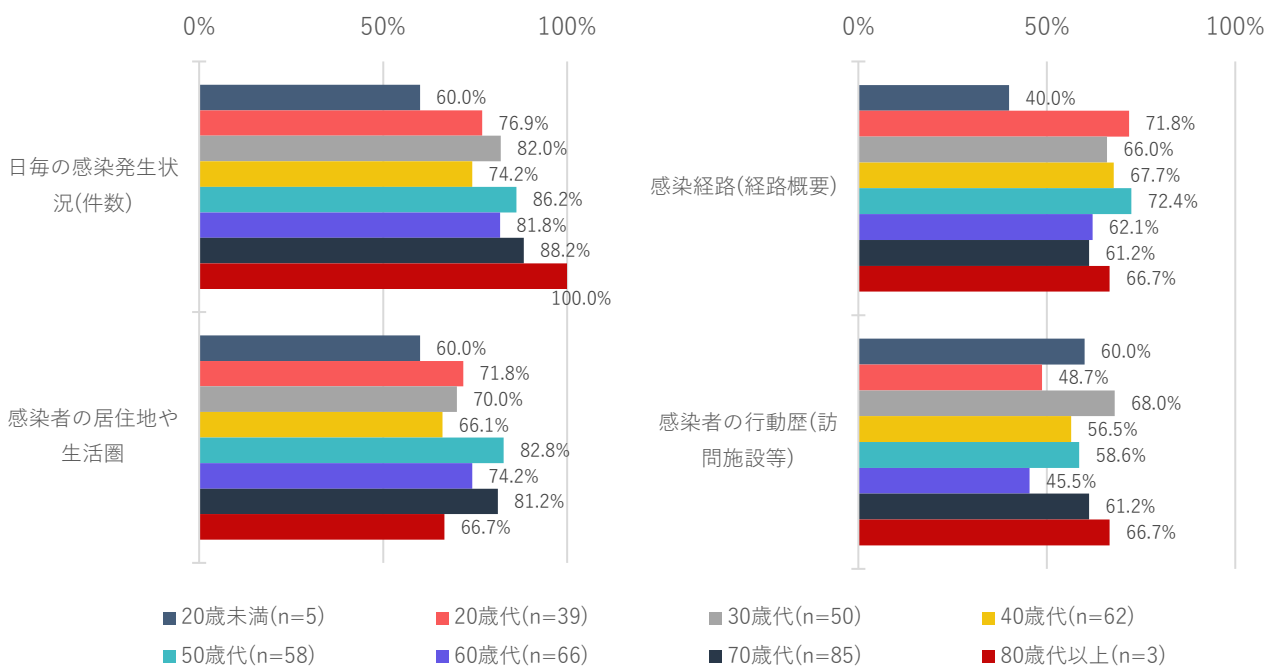
問9 新型コロナに関して、あなたが役立つと思う情報をいくつでも選んでください。

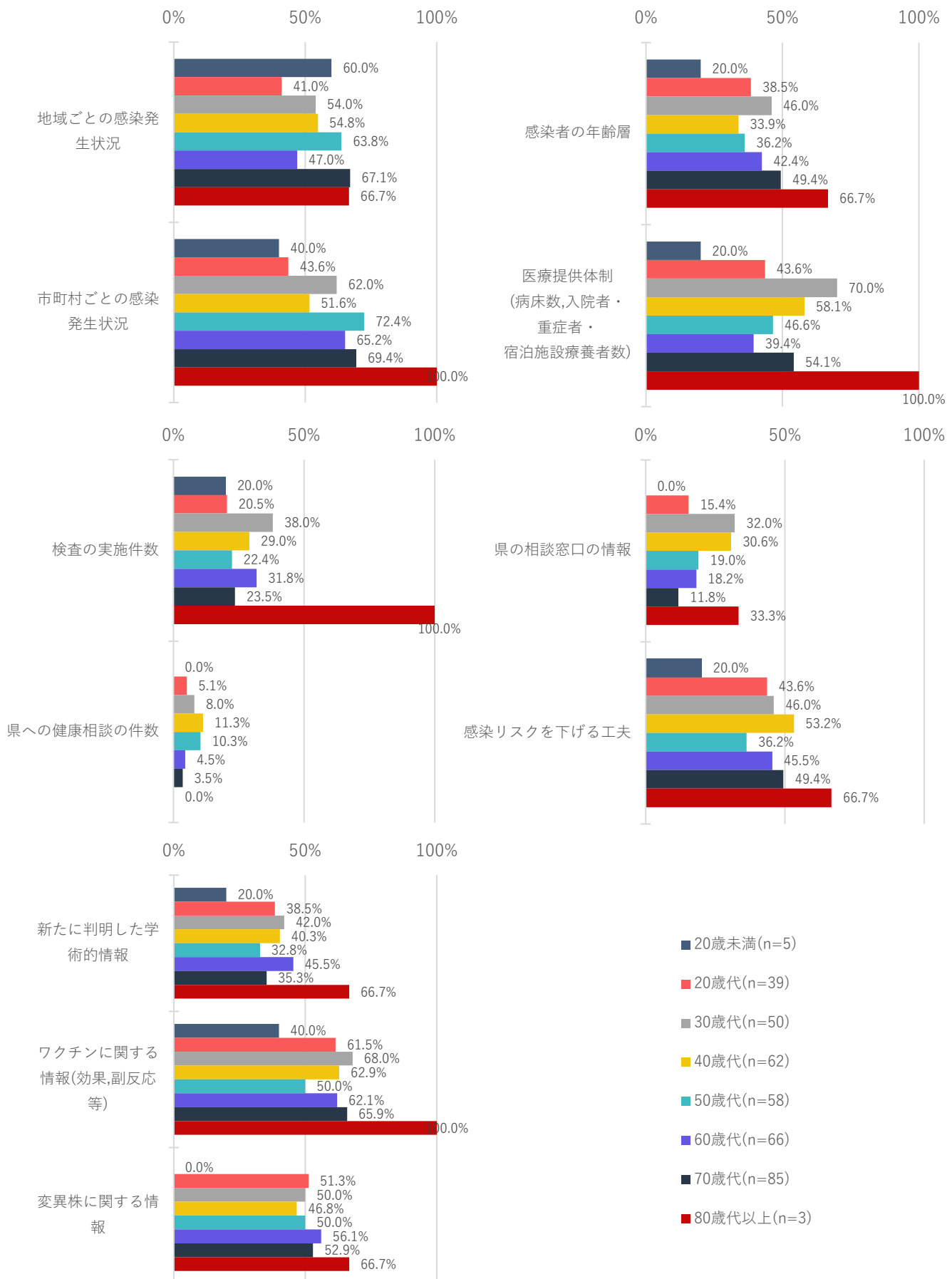
新型コロナに関して役立つと思う情報については、「日毎の感染発生状況（件数）」が82.1%と最も高く、次いで「感染者の居住地や生活圏」が74.5%、「感染経路（経路概要）」が65.9%となっている。



	n	%
日毎の感染発生状況(件数)	303	82.1%
感染者の居住地や生活圏	275	74.5%
感染経路(経路概要)	243	65.9%
市町村ごとの感染発生状況	230	62.3%
ワクチンに関する情報(効果,副反応等)	229	62.1%
感染者の行動歴(訪問施設等)	209	56.6%
地域ごとの感染発生状況	207	56.1%
医療提供体制 (病床数,入院者・重症者・宿泊施設療養者数)	192	52.0%
変異株に関する情報	187	50.7%
感染リスクを下げる工夫	169	45.8%
感染者の年齢層	153	41.5%
新たに判明した学術的情報	143	38.8%
検査の実施件数	103	27.9%
県の相談窓口の情報	75	20.3%
県への健康相談の件数	25	6.8%
その他	6	1.6%
特に欲しい情報はない	0	0.0%

年代×役立つと思う情報

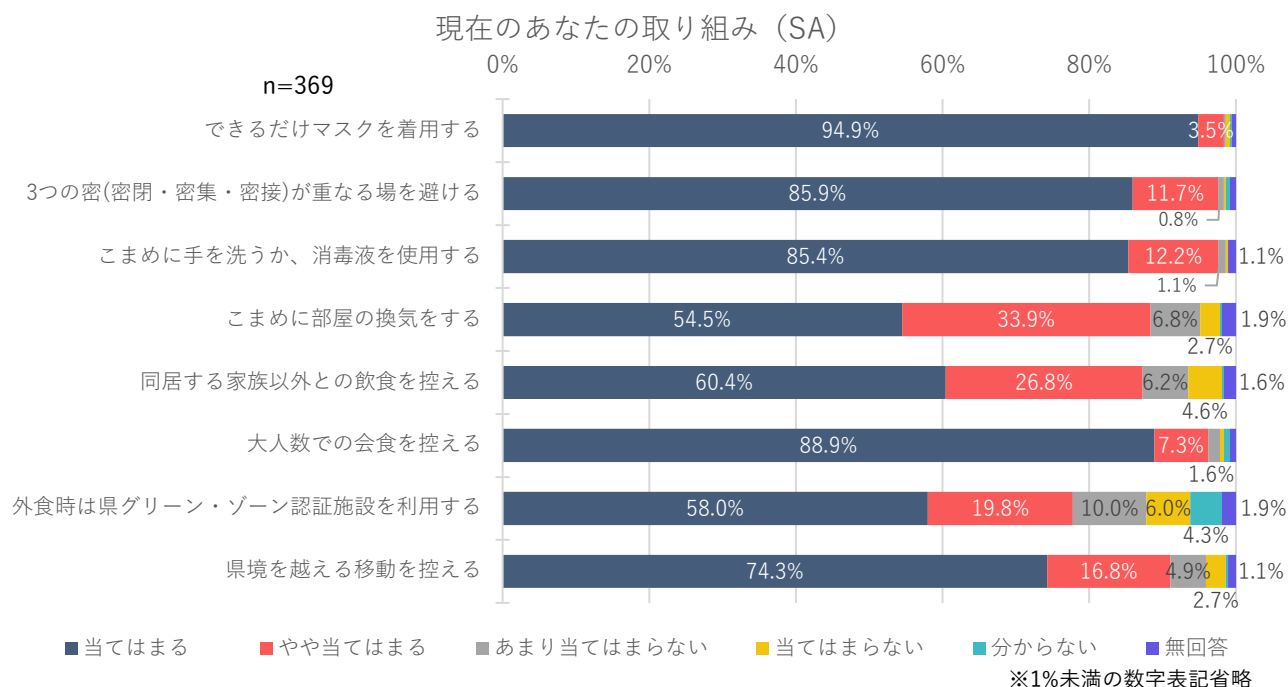




問 10 現在のあなたの取り組みとして、当てはまるものを教えてください。

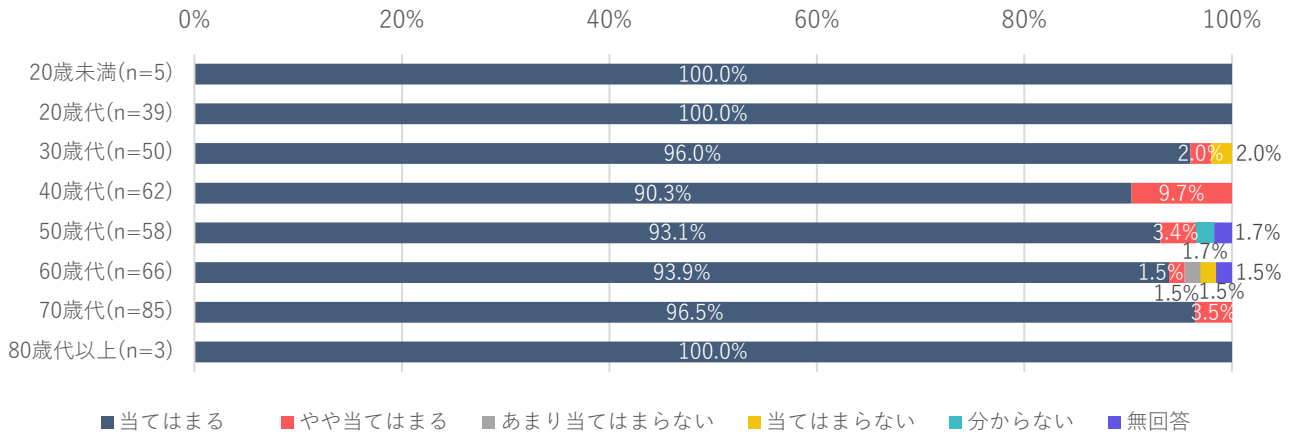
現在の取り組みについては、いずれの項目も「当てはまる」、「やや当てはまる」を合わせた『当てはまる』が7割を超えている。特に、“できるだけマスクを着用する”、“3つの密(密閉・密集・密接)が重なる場を避ける”、“こまめに手を洗うか、消毒液を使用する”の3項目で『当てはまる』が95%以上となっており、基本的な対策が徹底されていることが窺える。

一方で、年代別にみると、“同居する家族以外との飲食を控える”では、「あまり当てはまらない」と「当てはまらない」を合わせた『当てはまらない』が20代で2割超となっている。

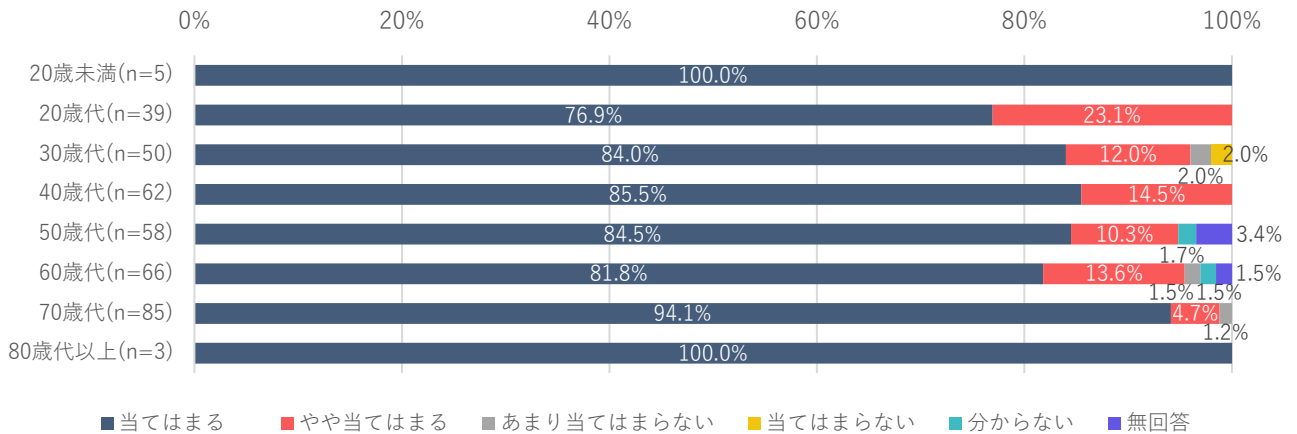


	当てはまる		やや当てはまる		あまり当てはまらない		当てはまらない		分からない		無回答	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
できるだけマスクを着用する	350	94.9%	13	3.5%	1	0.3%	2	0.5%	1	0.3%	2	0.5%
3つの密(密閉・密集・密接)が重なる場を避ける	317	85.9%	43	11.7%	3	0.8%	1	0.3%	2	0.5%	3	0.8%
こまめに手を洗うか、消毒液を使用する	315	85.4%	45	12.2%	4	1.1%	1	0.3%	0	0.0%	4	1.1%
こまめに部屋の換気をする	201	54.5%	125	33.9%	25	6.8%	10	2.7%	1	0.3%	7	1.9%
同居する家族以外との飲食を控える	223	60.4%	99	26.8%	23	6.2%	17	4.6%	1	0.3%	6	1.6%
大人数での会食を控える	328	88.9%	27	7.3%	6	1.6%	2	0.5%	3	0.8%	3	0.8%
外出時は県グリーン・ゾーン認証施設を利用する	214	58.0%	73	19.8%	37	10.0%	22	6.0%	16	4.3%	7	1.9%
県境を越える移動を控える	274	74.3%	62	16.8%	18	4.9%	10	2.7%	1	0.3%	4	1.1%

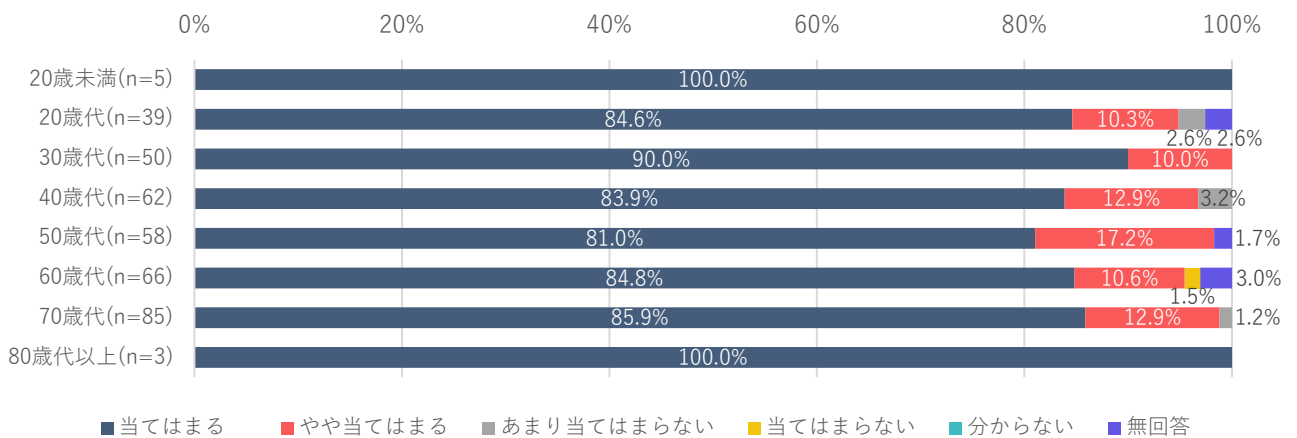
年代×取り組み（マスクの着用）



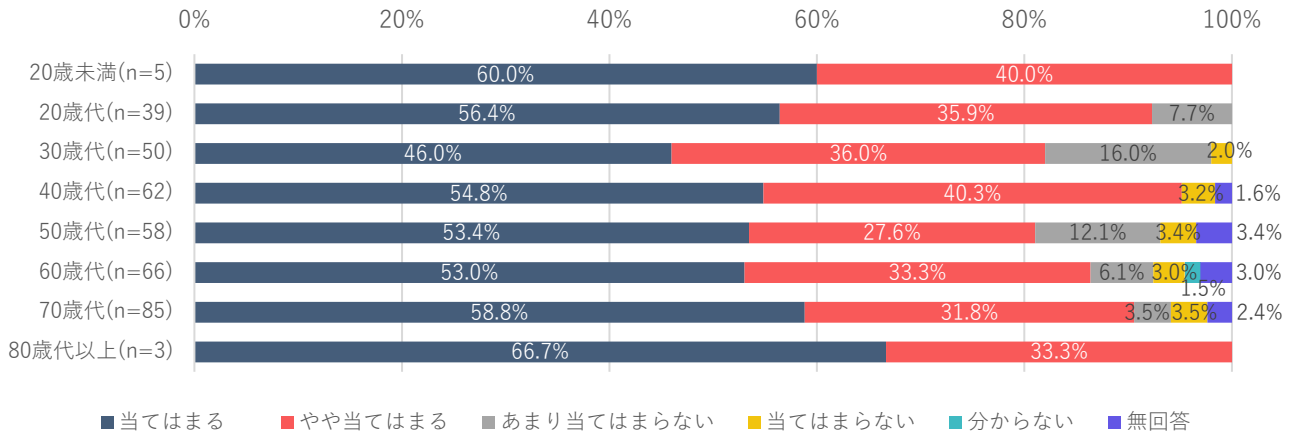
年代×取り組み（3つの密を避ける）



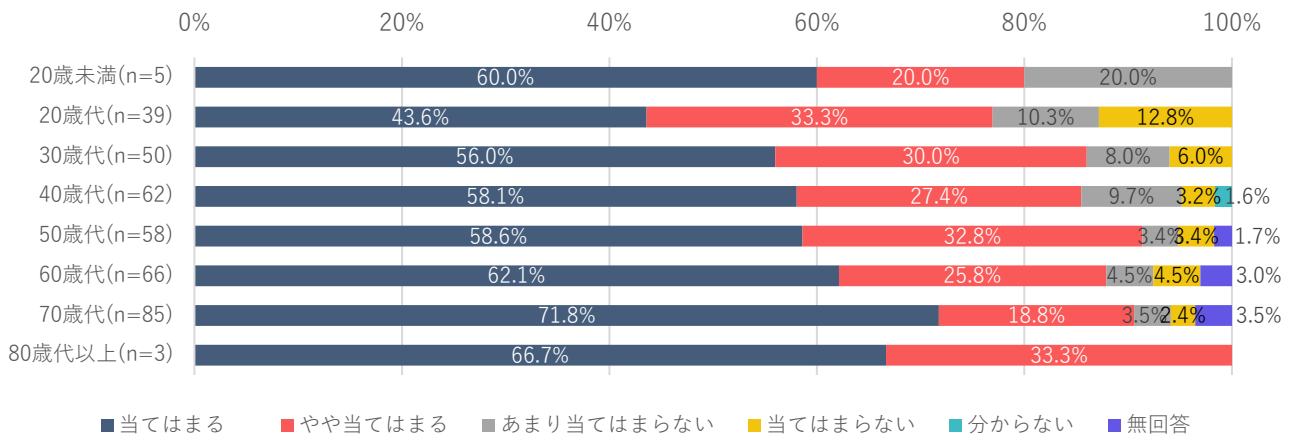
年代×取り組み（こまめな手洗い・消毒）



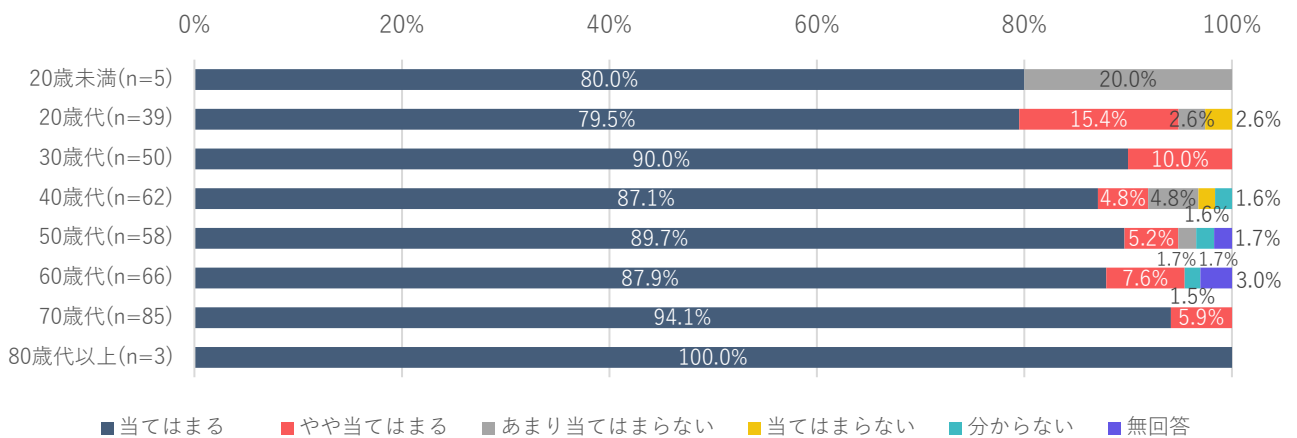
年代×取り組み（こまめな換気）



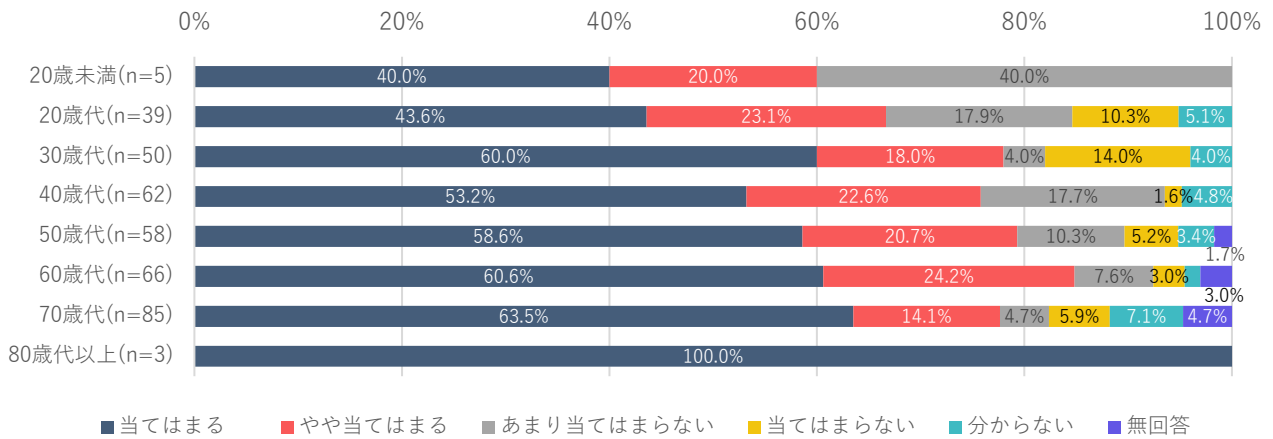
年代×取り組み（同居家族以外との飲食を控える）



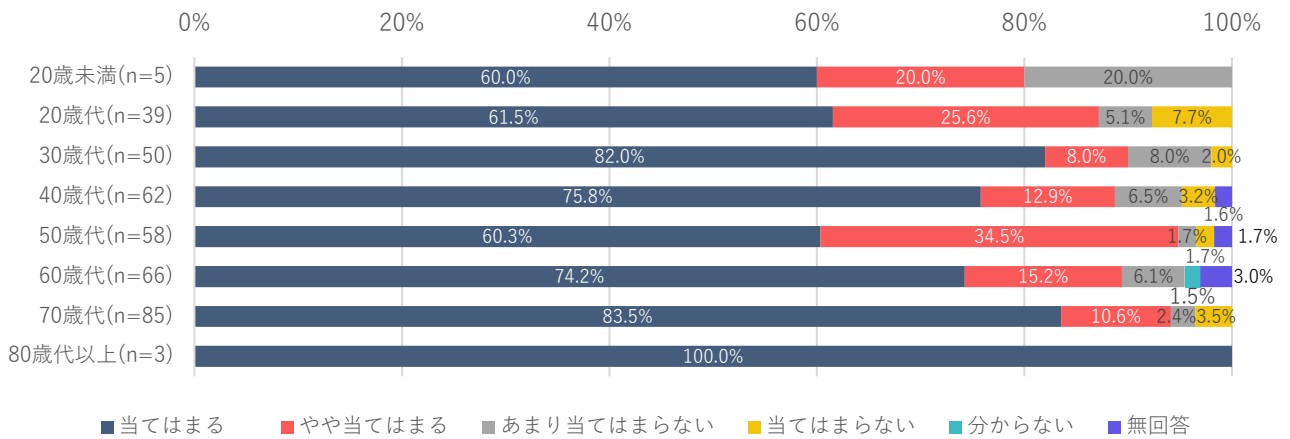
年代×取り組み（大人数での会食を控える）



年代×取り組み（グリーンゾーン認証施設の利用）



年代×取り組み（県境を越えた移動を控える）

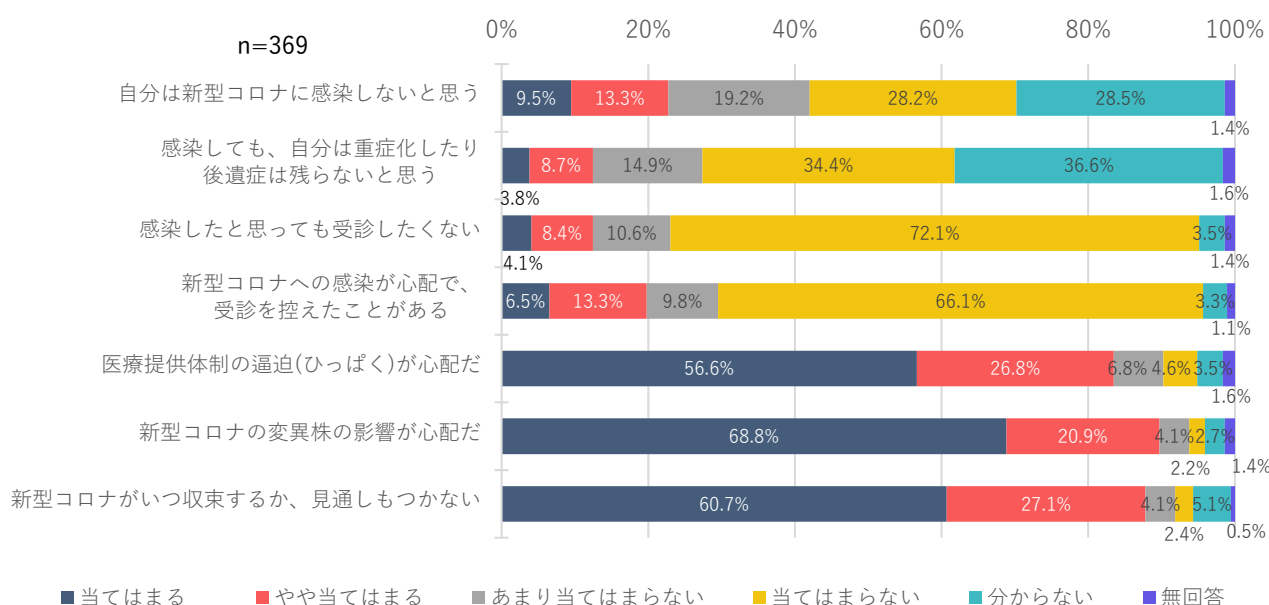


問 11 新型コロナに関してあなたの気持ちや経験に当てはまるものを教えてください。

新型コロナに関する気持ちや経験について、“自分は新型コロナに感染しないと思う”では「当てはまる」と「やや当てはまる」を合わせた『当てはまる』が 2 割を超えており、感染しないという考えを持っている人が一定程度いることが分かる。年代別では 20 代と 50~70 代以上で 2 割を超えており、特に 70 代では 3 割を超えている。

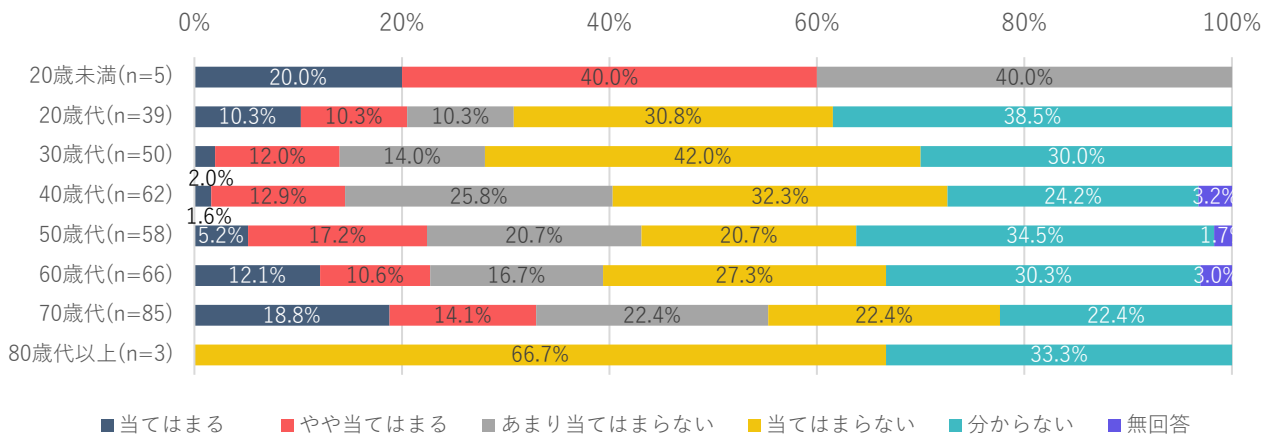
“感染したと思っても受診したくない”では、『当てはまる』が全体で 1 割超となっており、年代別では 20~40 代において約 2 割となっている。また、“新型コロナへの感染が心配で、受診を控えたことがある”では『当てはまる』が全体で約 2 割となっており、年代別では 30~40 代、60~70 代で約 2 割となっている。これらのことから、コロナ禍において医療機関の受診を控える層がいることが窺える。

新型コロナに関する気持ち・経験 (SA)

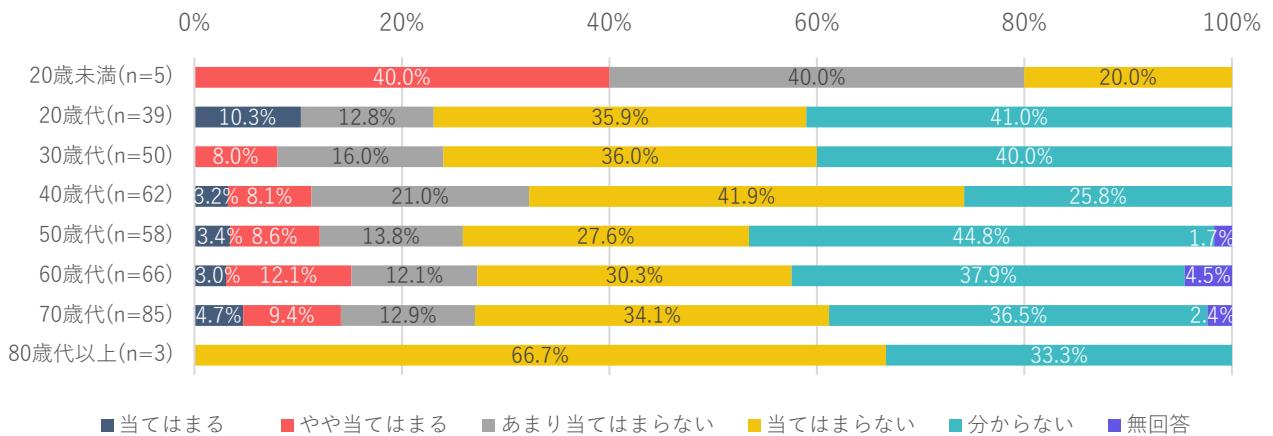


	当てはまる		やや当てはまる		あまり当てはまらない		当てはまらない		分からない		無回答	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
自分は新型コロナに感染しないと思う	35	9.5%	49	13.3%	71	19.2%	104	28.2%	105	28.5%	5	1.4%
感染しても、自分は重症化したり後遺症は残らないと思う	14	3.8%	32	8.7%	55	14.9%	127	34.4%	135	36.6%	6	1.6%
感染したと思っても受診したくない	15	4.1%	31	8.4%	39	10.6%	266	72.1%	13	3.5%	5	1.4%
新型コロナへの感染が心配で、受診を控えたことがある	24	6.5%	49	13.3%	36	9.8%	244	66.1%	12	3.3%	4	1.1%
医療提供体制の逼迫(ひっばく)が心配だ	209	56.6%	99	26.8%	25	6.8%	17	4.6%	13	3.5%	6	1.6%
新型コロナの変異株の影響が心配だ	254	68.8%	77	20.9%	15	4.1%	8	2.2%	10	2.7%	5	1.4%
新型コロナがいつ収束するか、見通しもつかない	224	60.7%	100	27.1%	15	4.1%	9	2.4%	19	5.1%	2	0.5%

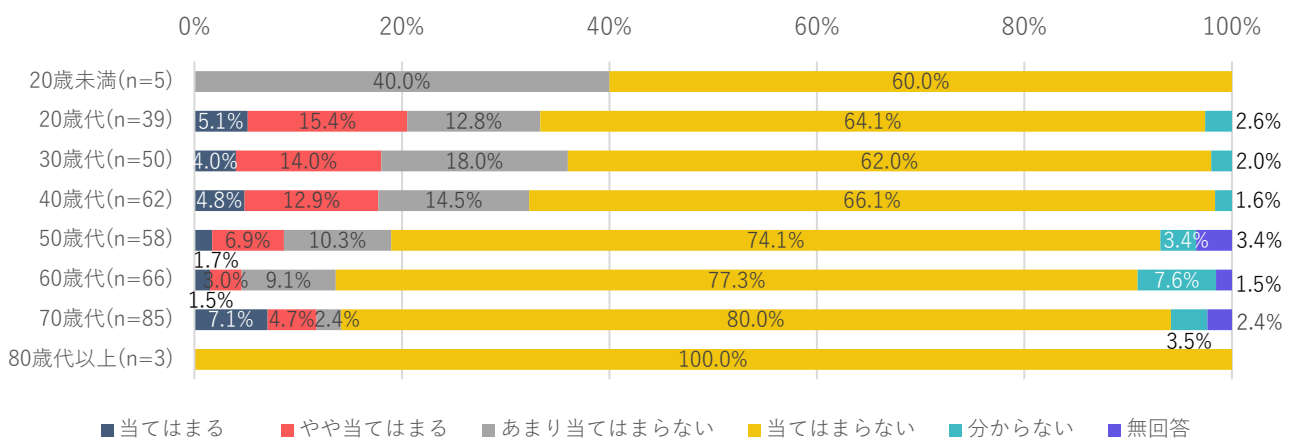
年代×気持ち・経験（感染しないと思う）



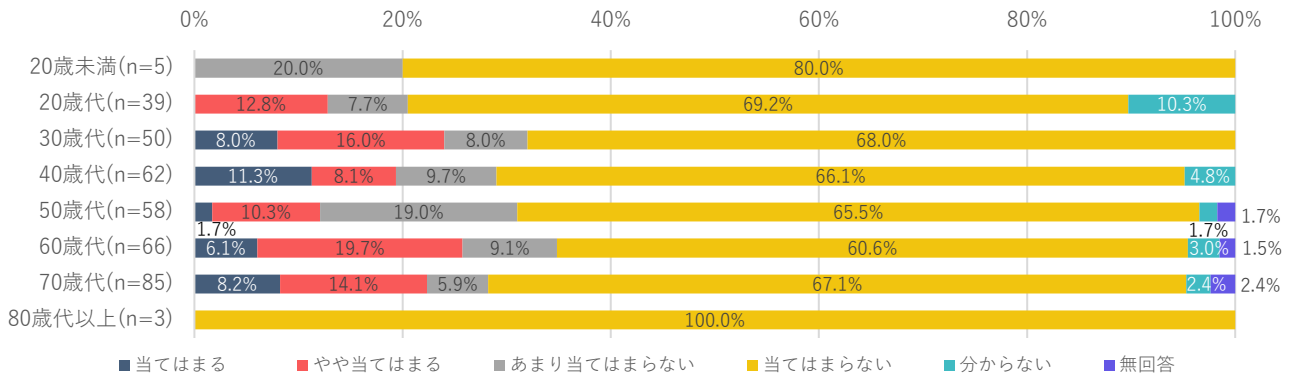
年代×気持ち・経験（重症化や後遺症はないと思う）



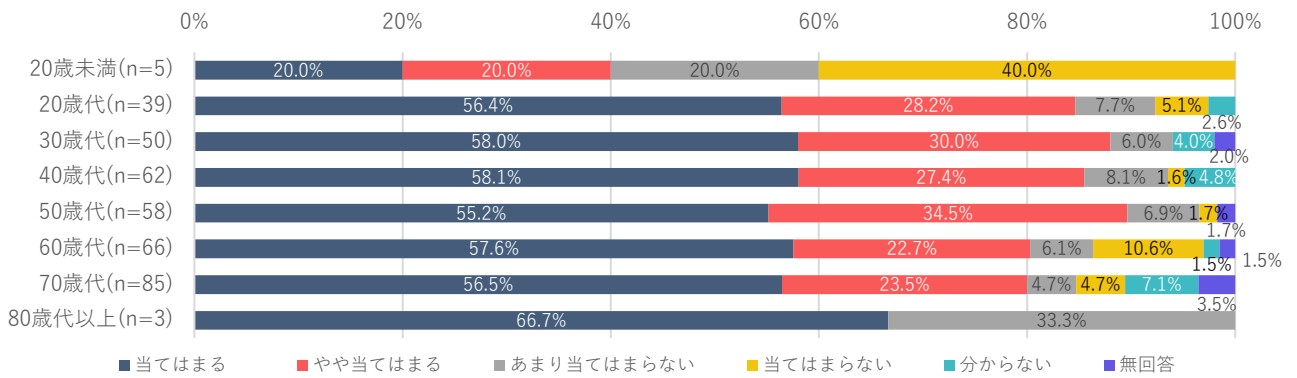
年代×気持ち・経験（感染したと思っても受診したくない）



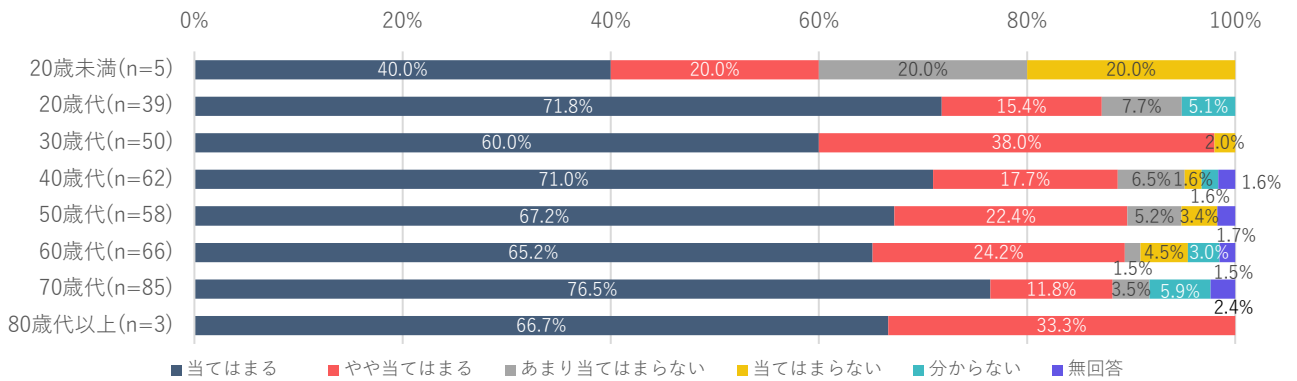
年代×気持ち・経験（受診を控えたことがある）



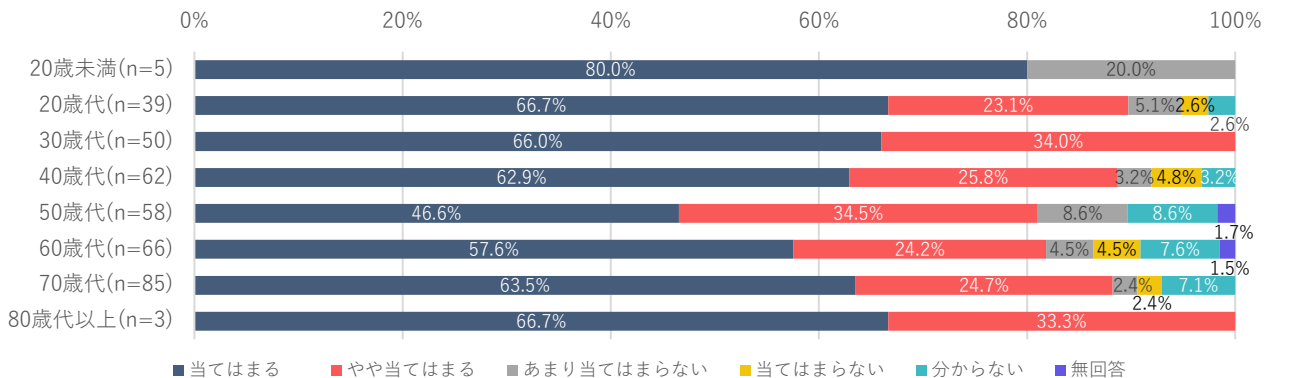
年代×気持ち・経験（医療の逼迫が心配）



年代×気持ち・経験（変異株の影響が心配）



年代×気持ち・経験（収束の見通しが見えない）



問 12 最後に、新型コロナに関連して、県への要望や困っていること等、ご自由にご記入ください。

自由記述について、以下のような意見があった。

●発信されている情報の内容について

- ・ プライバシー保護との関連が有るかとは思いますが、新型コロナ感染者の生活圏内の情報が有れば、と思っています。又、<県衛生環境研究所及び県内医療機関における検査状況><新型コロナウイルス感染症受診・相談センター>などで、推移を一覧表で表しているデータがありますがグラフ表示の方が把握しやすいです。(男性/70代)
- ・ 感染者が1日10人程度出ている場合は、保健所ごとの大まかな発表ではなく、市町村ごとの人数を教えてほしい。保健所ごとだと範囲が広すぎて注意のしようがない。過度にびくつく必要はないがある程度の注意は出来るようになると思う。県内で市中感染したのか、県外に行って感染したのかも知りたい。(女性/50代)
- ・ 感染者の地域情報が広範囲(たとえば富士東部)のため、せめて市町村レベルで発信して欲しい。(個人特定という意味ではなく、市町村に発生したかどうかで、自分の対策レベルを上げたい為)(女性/50代)
- ・ コロナウイルスの感染者が特定されるような報道は控えてほしい。また、感染者をバッシングするような風潮には乗らないように県でも啓蒙してほしい。(女性/60代)
- ・ 県内感染者の情報をLINE、HPで確認しているが、事例の羅列で状況の把握が難しい。一覧表で示したり傾向把握のためのグラフを示すなどを要望する。(既にどこかに掲載されているのかも知れませんが・・・)(男性/50代)

●感染対策について

- ・ コロナの収束がいつになるか解らない中で不安はあるが山梨県は比較的県民の意識レベルが高いように思います。グリーンゾーン認証施設など不安はゼロにはならないが安心できるような県の取り組みも有り助かります。最近では県外の人達が多く、経済を回す為には必要な事だとは分かりつつ怖い部分もあります。(女性/20代)
- ・ グリーン・ゾーン認証施設に関してですが、個々の店舗でコロナ対策にかなり差があると感じます。どのような基準を満たせば、認証されるのかを、県民一人ひとりが正確に知ったうえで、県民が認証するぐらいの意識で取り組む必要があると思います。(女性/60代)
- ・ グリーンゾーン認証施設も許可をしたらそのままということではなく、一部は実施しているようであるが検査時の許可条件が守られているかどうかを定期的に調査する必要がある。(男性/70代)
- ・ 観光地に住んでいるので、買い物に行っても公園に行っても県外の車(主に東京)が多く見受けられ、昨今の北海道や沖縄などの状況を知れば知るほど、コロナに感染したらどうしようという気持ちになる。経済をまわさなければならないのは理解できるのですが、やはりマスクだけで、感染はおさえられるのか、不安はぬぐえません。特に10代でも感染するとなると子供達が心配です。(女性/50代)

●ワクチンの接種状況について

- ・ ワクチンの接種状況がどのようになっているか具体的に知りたいです。年齢だけではなく職業によって早めに接種が進めるよう接種券だけでも配布して欲しいです。(女性/60代)
- ・ 現在、ワクチンを各自治体で行っているが、電話やインターネットで予約が取れない状況が多い。各自治体にどの程度ワクチンが入ってきているのかなど全く分からない状況なので電話なども、またどうせ無理とってしまうかもしれない。ワクチンの数の公表もあっていいのではないかと思います。(女性/50代)
- ・ ワクチン接種に関する情報を、具体的に提供して貰いたい。集団接種、大規模接種の見通しや、個別接種の具体的な見通し、予定など情報提供してもらいたい。(90歳代の親がおり、自身にも基礎疾患があるため)(男性/60代)
- ・ ワクチンの副反応等の情報を明確にしてほしい。(男性/40代)
- ・ 現在ワクチン接種が進められており、接種直後あるいは数日間の副反応の発生率は公表されていますが、一部の医師からの中長期的な人体への影響は未知数とのワクチン接種への警告もあります。また県内で発生した副反応情報は個人の特定を避けるため公表しないとされましたが、個人が特定されない方法を検討したうえで、せめて年代別の発生状況の公表が必要と思います。新型コロナワクチンは人類史上初のタイプのワクチンと聞きます。ワクチン接種は個人が選択するものである以上、国内と県内における副反応の発生状況や、現時点で考えうる中長期的な人体、健康への影響などについて、ワクチン接種を受けるか否か個人の選択に役立つ適切な情報提供が必要ではないかと思います。(女性/60代)

3.WEB アンケート

1.1.アンケートの概要

新型コロナウイルスに関する情報の入手方法や県からの情報発信の認知度やその効果を調査し、情報発信に関する課題について把握するため、山梨県内在住のリサーチモニターを対象としてアンケートを行った。

調査実施者	山梨県
調査対象	山梨県在住の 15～59 歳
回収数	525 人
調査期間	令和 3 年 7 月 28 日～7 月 31 日
調査方法	スマートフォンリサーチ

1.2.本報告書中の記号等について

(S A)・・・単一回答(Single Answer)の略。選択回答は 1 項目のみ。

(M A)・・・複数回答(Multi Answer)の略。回答する選択肢の数に制限を設けている場合がある。

(F A)・・・自由回答(Free Answer)の略。回答者の考えを自由に記入するもの。

n・・・回答者数 (number) を表す。「n =100」は、回答者数が 100 人ということ。

※アンケート結果の数値は小数点第 2 位を四捨五入しており、単一回答であっても合計が 100%にならない場合がある。

※複数回答の場合は合計値が 100%にならない場合がある。

1.3.アンケート結果の概要

①新型コロナウイルスに関する情報収集について

- ・新型コロナウイルスに関する情報収集について、「ニュースやネット、新聞記事などを積極的に確認している」の割合が最も高く、次いで「テレビや新聞、SNS などで見かければ確認する」がとなっている。また、年代が高くなるにつれて「ニュースやネット、新聞記事などを積極的に確認している」の割合が高くなり、年代が低くなるにつれて「テレビや新聞、SNS などで見かければ確認する」の割合が高くなる傾向にあることから、年代が高い方が情報収集に積極的であることが窺える。
- ・新型コロナウイルスに関する情報で最も重視することについて、「信頼度の高い情報が得られること」が47.6%と約半数を占めている。年代別では、20代と50代の割合が高くなった。

②新型コロナウイルスに関する情報源について

- ・新型コロナウイルスに関する情報を集める際の情報源については、「テレビ」と「インターネット・アプリのニュース記事」が7割前後、その他の媒体は3割未満となっている。年代別にみると、「インターネット・アプリのニュース記事」は年代が高くなるにつれて割合が高くなっており、また、「SNS (Twitter)」と「SNS (LINE)」は20代の割合が他の年代に比べかなり高くなっている。
- ・新型コロナウイルスに関して信頼している情報源は、「テレビ」が6割弱と最も高く、次いで「インターネット・アプリのニュース記事」が3割超、「新聞記事」、「国・県・市町村など行政機関のHP」が3割弱となっている。また、「信頼している情報源はない」が1割弱となった。年代別にみると、「インターネット・アプリのニュース記事」では年代が高くなるにつれて割合が高くなっている。一方で、「SNS (Twitter)」と「SNS (LINE)」において、20代と他の年代との差はほとんどみられない。
- ・新型コロナウイルスに関する情報収集で「信頼度の高い情報が得られること」を重視する人においては、信頼している情報源として「テレビ」に次ぎ、「国・県・市町村など行政機関のHP」の割合が高くなっており、行政機関に対する一定程度の信頼が窺える。

③新型コロナウイルスに関して知りたい情報と情報を集める理由

- ・新型コロナウイルスに関して知りたい情報については、「毎日の感染者数」が5割弱と最も高く、次いで「感染者の居住地や生活圏」、「感染者の行動歴や感染経路」となっている。
- ・新型コロナウイルスに関する情報を集める理由について、「感染対策などの参考にするため」が3割超と最も高く、次いで「身近な感染状況を知りたいから」、「自分が感染しないか不安だから」となっている。また、年代別でみると、「外出時の行き先などの参考にするため」において、20代の割合が高くなっている。

④新型コロナウイルスの情報を得たことによる行動変容

- ・新型コロナウイルスに関する情報を得たことをきっかけに行動がどう変わったかについて、「マスク着用や3密回避などの基本的な対策を徹底するようになった」が8割を超え、次いで

「不要不急の外出を控えるようになった」、「大人数での宴会・飲み会を控えるようになった」となっている。年代別にみると、「不要不急の外出を控えるようになった」において、10代と20代の割合が低くなっている。

⑤コロナ禍における不安や恐れ、気持ち

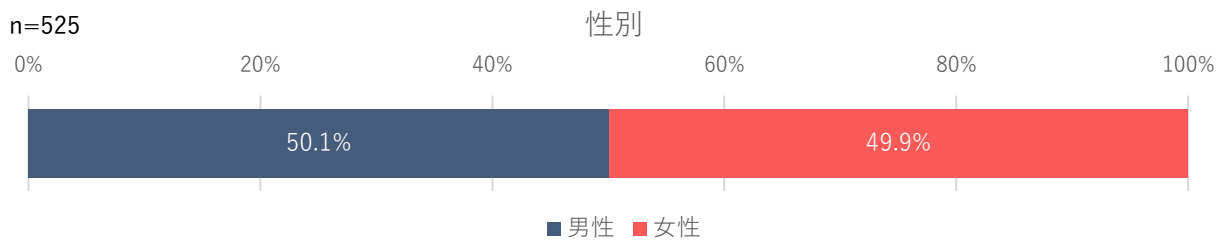
- ・ 新型コロナウイルスに関する不安や恐れについて、「コロナ禍がいつまで続くか分からず不安だ」が59.0%と最も高く、次いで「家族、友人、職場への迷惑は避けたい」が41.1%、「何が正しい情報なのか分からない」が34.5%となっている。年代別でみると、「家族、友人、職場への迷惑は避けたい」において、40代の割合が高くなっている。
- ・ 現状のコロナ禍における気持ちについて、「不安を感じている」が55.0%と最も高くなっている。次いで「うんざりしている」が39.6%、「疲れている」が30.9%となった。年代別でみると、「不安を感じている」において、50代の割合が高くなっている。

⑥山梨県が発信している新型コロナウイルスの情報について

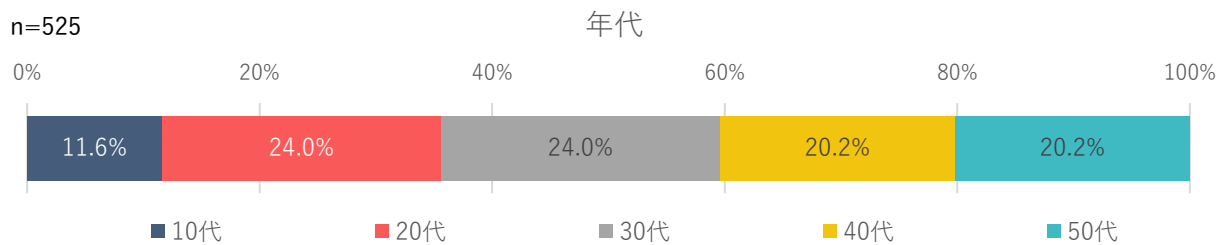
- ・ 県が発信している新型コロナウイルスに関する情報をどの媒体で見たことがあるかについて、「山梨県のホームページ」が49.0%と最も高く、次いで「県のテレビ・ラジオ番組」が26.5%、「見たことがない」が23.4%となった。年代別で見ると、50代において「県のSNS (LINE)」が他の年代に比べ割合が高くなっている。また、年代が低くなるにつれて、「見たことがない」の割合が高くなっている。
- ・ 県が発信している新型コロナウイルスに関する情報がどの程度役に立っているかについて、「非常に役立っている」、「役立っている」、「たまに役立っている」を合わせた『役立っている』が7割を超えている。

1.4.回答者の属性

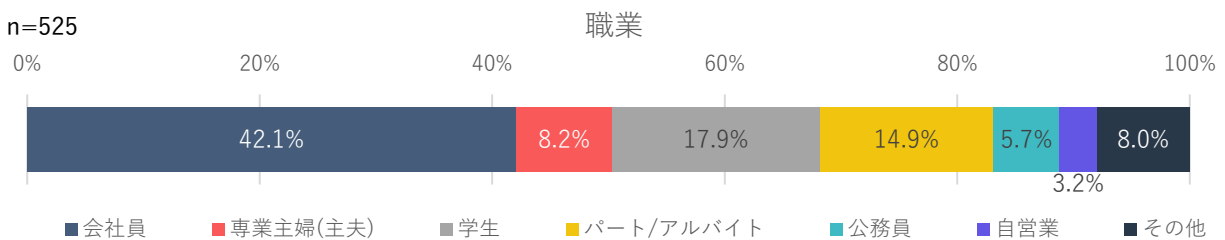
本アンケートにおける回答者の属性は以下のとおりとなっている。



	n	%
男性	263	50.1%
女性	262	49.9%



カテゴリ	実数	%
10代	61	11.6%
20代	126	24.0%
30代	126	24.0%
40代	106	20.2%
50代	106	20.2%



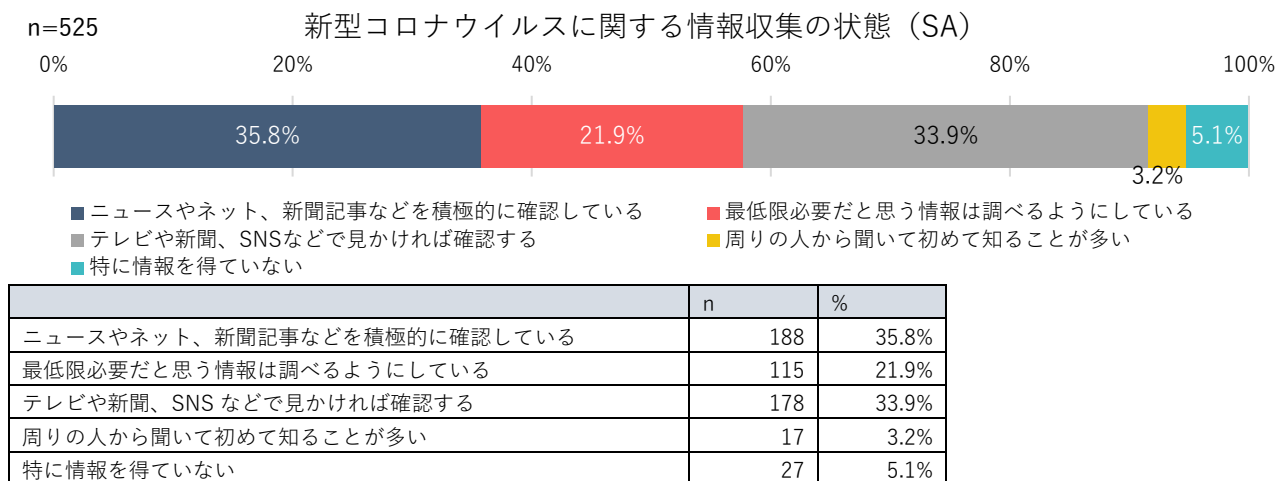
カテゴリ	実数	%
会社員	221	42.1%
専業主婦(主夫)	43	8.2%
学生	94	17.9%
パート/アルバイト	78	14.9%
公務員	30	5.7%
自営業	17	3.2%
その他	42	8.0%

1.5.アンケート結果

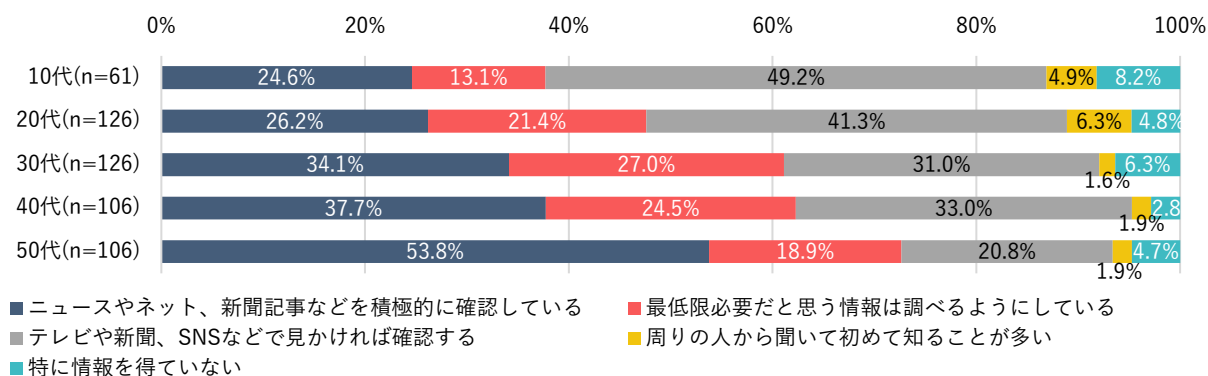
問 1 新型コロナウイルスに関する情報収集について、現在のあなたの状態に最もあてはまるものはどれですか。

新型コロナウイルスに関する情報収集について、「ニュースやネット、新聞記事などを積極的に確認している」が35.8%と最も高く、次いで「テレビや新聞、SNSなどで見かければ確認する」が33.9%となっている。

年代別で見ると、年代が高くなるにつれて「ニュースやネット、新聞記事などを積極的に確認している」の割合が高くなり、年代が低くなるにつれて「テレビや新聞、SNSなどで見かければ確認する」の割合が高くなっている、このことから年代が高い方が情報収集に積極的であることが窺える。



年代×情報収集の状態



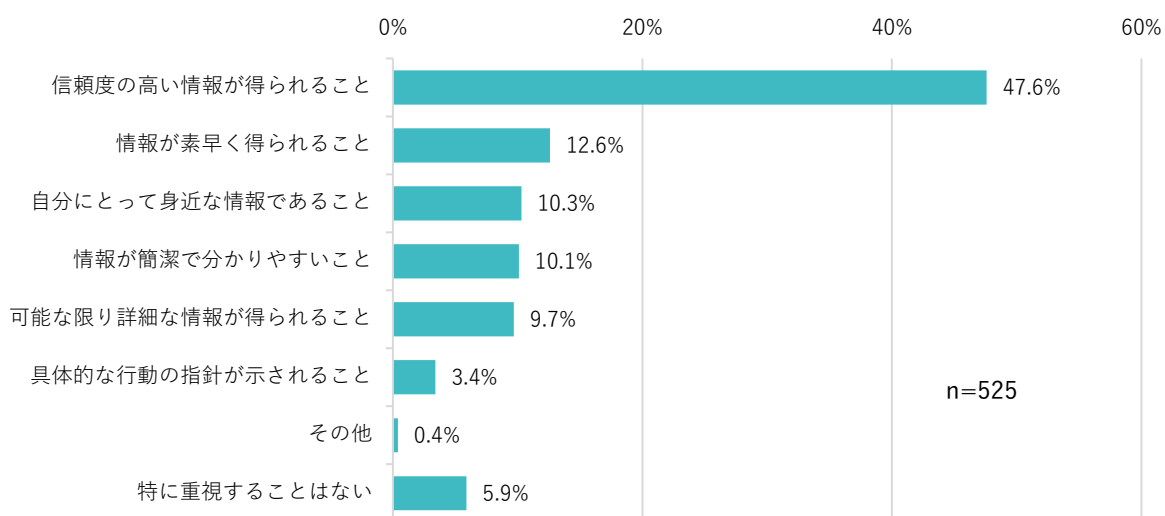
	ニュースやネット、新聞記事などを積極的に確認している		最低限必要だと思う情報は調べるようにしている		テレビや新聞、SNSなどで見かければ確認する		周りの人から聞いて初めて知ることが多い		特に情報を得ていない	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代(n=61)	15	24.6%	8	13.1%	30	49.2%	3	4.9%	5	8.2%
20代(n=126)	33	26.2%	27	21.4%	52	41.3%	8	6.3%	6	4.8%
30代(n=126)	43	34.1%	34	27.0%	39	31.0%	2	1.6%	8	6.3%
40代(n=106)	40	37.7%	26	24.5%	35	33.0%	2	1.9%	3	2.8%
50代(n=106)	57	53.8%	20	18.9%	22	20.8%	2	1.9%	5	4.7%

問2 新型コロナウイルスに関する情報について、あなたが最も重視することはありますか。

新型コロナウイルスに関する情報で最も重視することについて、「信頼度の高い情報が得られること」が47.6%と約半数を占めている。次いで「情報が素早く得られること」が12.6%、「自分にとって身近な情報であること」が10.3%となっている。

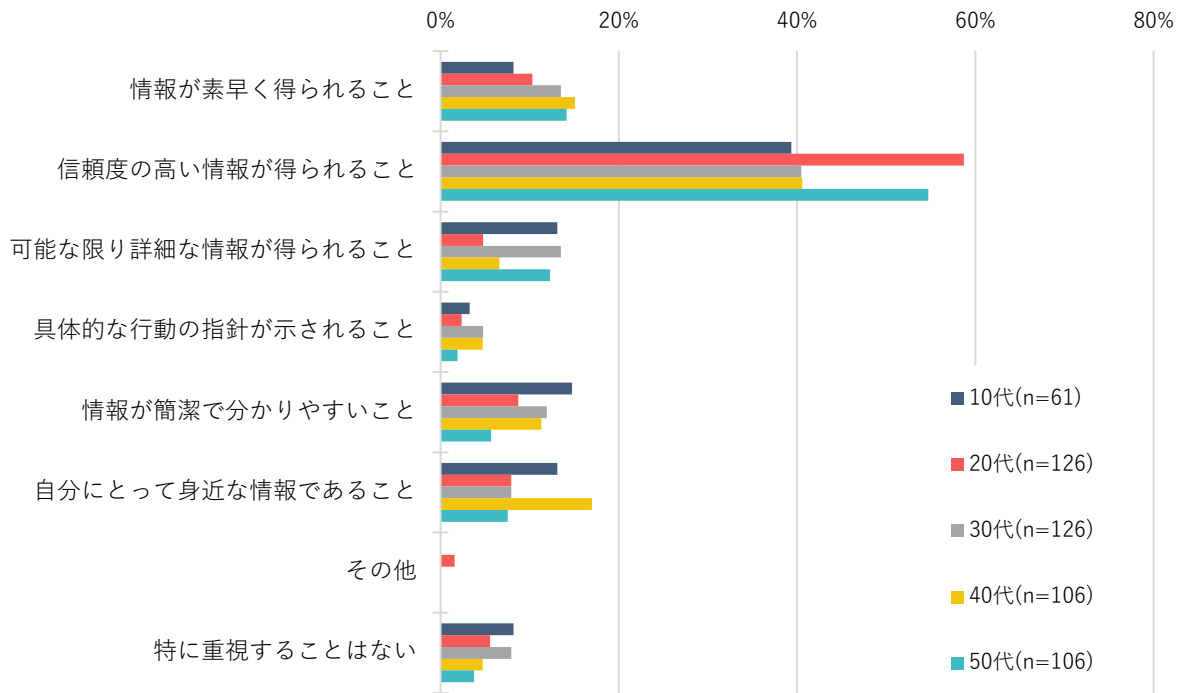
年代別でみると、「信頼度の高い情報が得られること」において20代と50代の割合が高くなっている。

新型コロナウイルスに関する情報について、最も重視すること (SA)



	n	%
信頼度の高い情報が得られること	250	47.6%
情報が素早く得られること	66	12.6%
自分にとって身近な情報であること	54	10.3%
情報が簡潔で分かりやすいこと	53	10.1%
可能な限り詳細な情報が得られること	51	9.7%
具体的な行動の指針が示されること	18	3.4%
その他	2	0.4%
特に重視することはない	31	5.9%

年代×重視すること



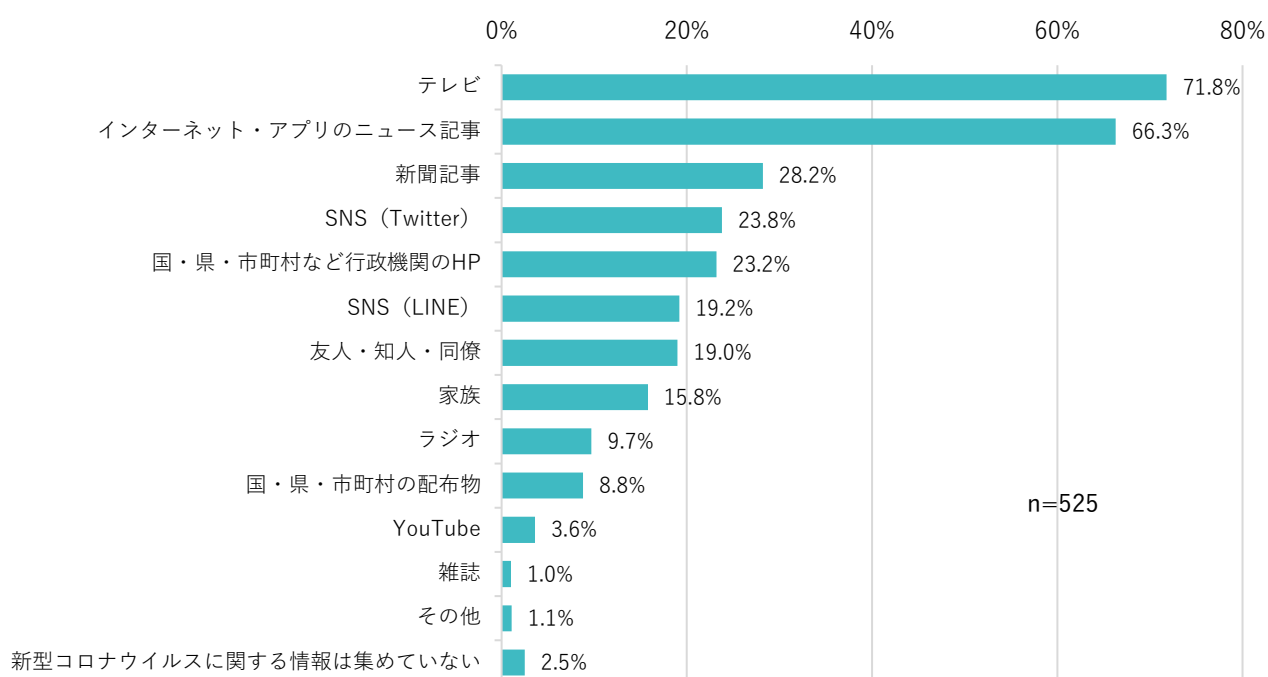
	情報が素早く得られること		信頼度の高い情報が得られること		可能な限り詳細な情報が得られること		具体的な行動の指針が示されること		情報が簡潔で分かりやすいこと		自分にとって身近な情報であること		その他		特に重視することはない	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代 (n=61)	5	8.2%	24	39.3%	8	13.1%	2	3.3%	9	14.8%	8	13.1%	0	0.0%	5	8.2%
20代 (n=126)	13	10.3%	74	58.7%	6	4.8%	3	2.4%	11	8.7%	10	7.9%	2	1.6%	7	5.6%
30代 (n=126)	17	13.5%	51	40.5%	17	13.5%	6	4.8%	15	11.9%	10	7.9%	0	0.0%	10	7.9%
40代 (n=106)	16	15.1%	43	40.6%	7	6.6%	5	4.7%	12	11.3%	18	17.0%	0	0.0%	5	4.7%
50代 (n=106)	15	14.2%	58	54.7%	13	12.3%	2	1.9%	6	5.7%	8	7.5%	0	0.0%	4	3.8%

問3 普段、新型コロナウイルスに関する情報を集めるとき、情報源にしているものは何ですか。

新型コロナウイルスに関する情報を集める際の情報源については、「テレビ」が71.8%と最も高く、次いで「インターネット・アプリのニュース記事」が66.3%となっている。調査方法がスマートフォンリサーチであったこともあり、県政モニターアンケートで7割弱だった「新聞」は、この調査結果では3割弱となった。

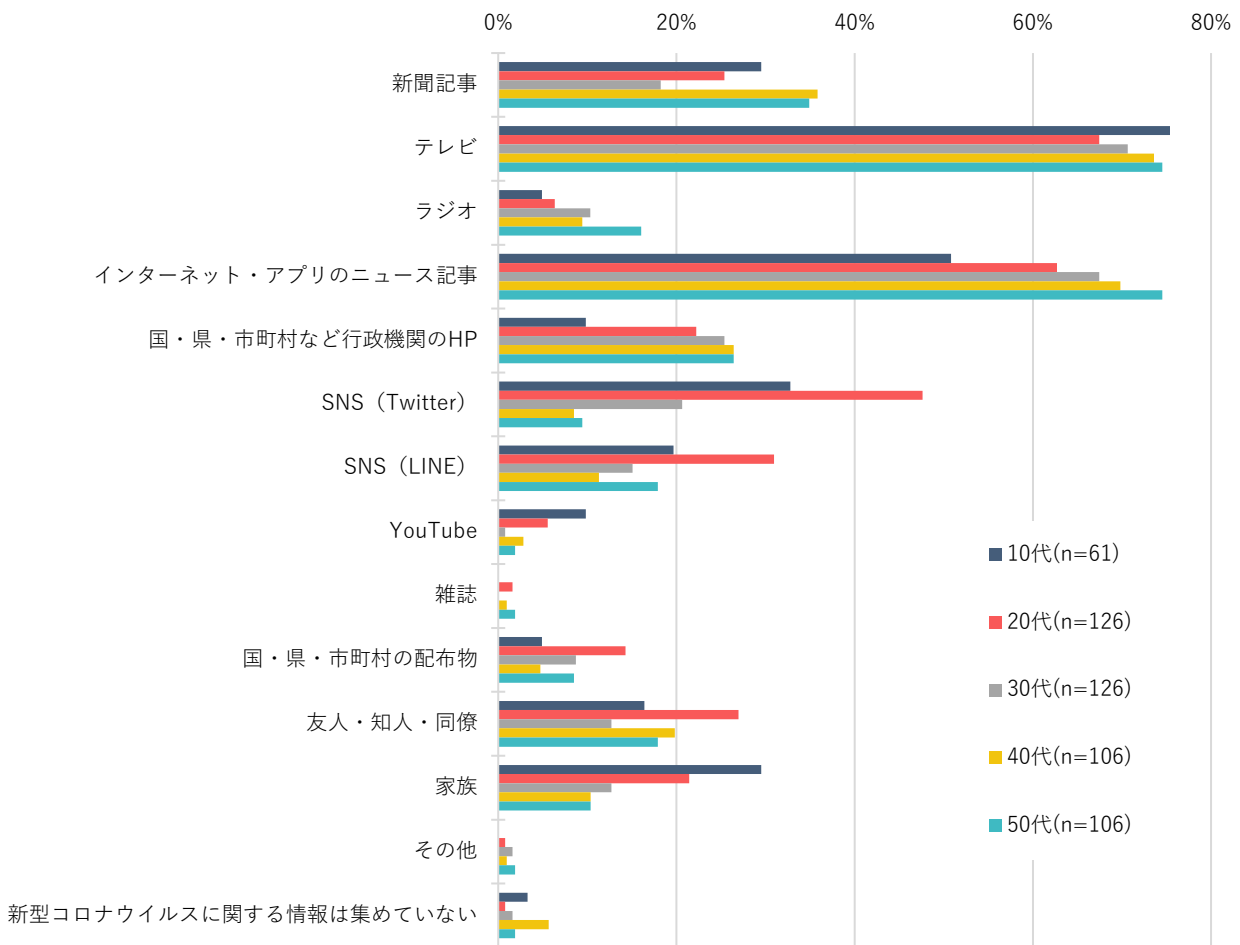
年代別で見ると、「インターネット・アプリのニュース記事」では年代が高くなるにつれて割合が高くなっている。また、「SNS (Twitter)」、「SNS (LINE)」においては20代の割合が他の年代に比べかなり高く、「家族」では10代の割合が高くなっている。

新型コロナウイルスに関する情報源 (MA)



	n	%
テレビ	377	71.8%
インターネット・アプリのニュース記事	348	66.3%
新聞記事	148	28.2%
SNS (Twitter)	125	23.8%
国・県・市町村など行政機関のHP	122	23.2%
SNS (LINE)	101	19.2%
友人・知人・同僚	100	19.0%
家族	83	15.8%
ラジオ	51	9.7%
国・県・市町村の配布物	46	8.8%
YouTube	19	3.6%
雑誌	5	1.0%
その他	6	1.1%
新型コロナウイルスに関する情報は集めていない	13	2.5%

年代×情報源



	新聞記事		テレビ		ラジオ		インターネット・アプリのニュース記事		国・県・市町村など行政機関のHP		SNS (Twitter)		SNS (LINE)	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代(n=61)	18	29.5%	46	75.4%	3	4.9%	31	50.8%	6	9.8%	20	32.8%	12	19.7%
20代(n=126)	32	25.4%	85	67.5%	8	6.3%	79	62.7%	28	22.2%	60	47.6%	39	31.0%
30代(n=126)	23	18.3%	89	70.6%	13	10.3%	85	67.5%	32	25.4%	26	20.6%	19	15.1%
40代(n=106)	38	35.8%	78	73.6%	10	9.4%	74	69.8%	28	26.4%	9	8.5%	12	11.3%
50代(n=106)	37	34.9%	79	74.5%	17	16.0%	79	74.5%	28	26.4%	10	9.4%	19	17.9%

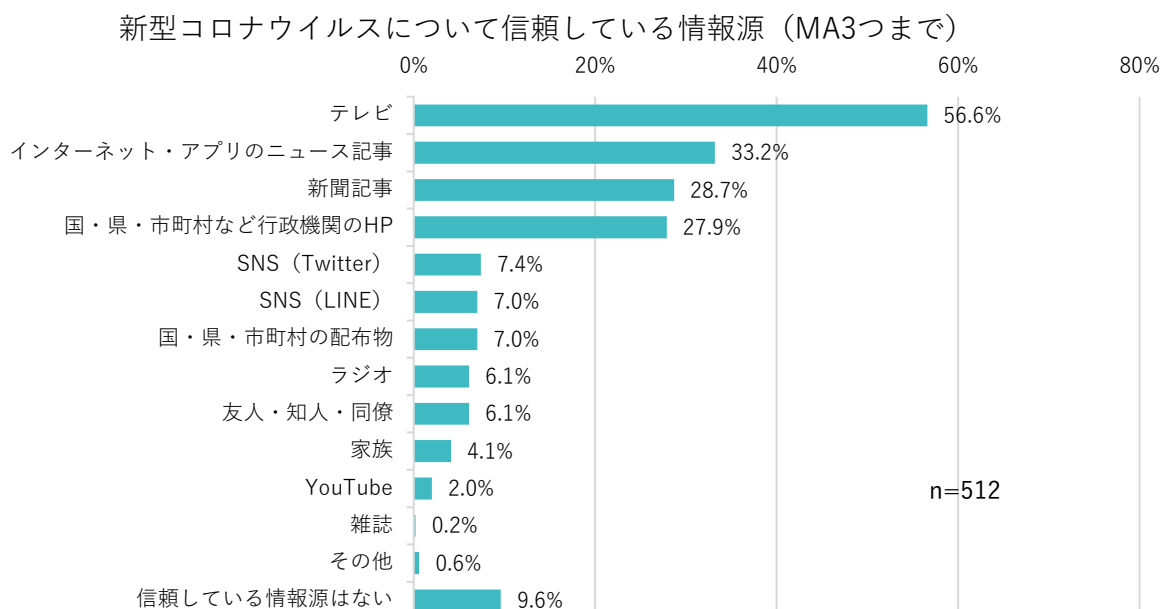
	YouTube		雑誌		国・県・市町村の配布物		友人・知人・同僚		家族		その他		新型コロナウイルスに関する情報は集めていない	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代(n=61)	6	9.8%	0	0.0%	3	4.9%	10	16.4%	18	29.5%	0	0.0%	2	3.3%
20代(n=126)	7	5.6%	2	1.6%	18	14.3%	34	27.0%	27	21.4%	1	0.8%	1	0.8%
30代(n=126)	1	0.8%	0	0.0%	11	8.7%	16	12.7%	16	12.7%	2	1.6%	2	1.6%
40代(n=106)	3	2.8%	1	0.9%	5	4.7%	21	19.8%	11	10.4%	1	0.9%	6	5.7%
50代(n=106)	2	1.9%	2	1.9%	9	8.5%	19	17.9%	11	10.4%	2	1.9%	2	1.9%

問4 新型コロナウイルスに関する情報について、信頼している情報源は何ですか。

新型コロナウイルスに関して信頼している情報源については、「テレビ」が56.6%と最も高く、次いで「インターネット・アプリのニュース記事」が33.2%、「新聞記事」が28.7%、「国・県・市町村など行政機関のHP」が27.9%となっている。また、「信頼している情報源はない」が9.6%と、5番目に高い割合となった。

年代別で見ると、問3と同様に「インターネット・アプリのニュース記事」では年代が高くなるにつれて割合が高くなっている。一方で、「SNS (Twitter)」と「SNS (LINE)」においては20代の割合が他の年代とあまり差が無い結果となった。

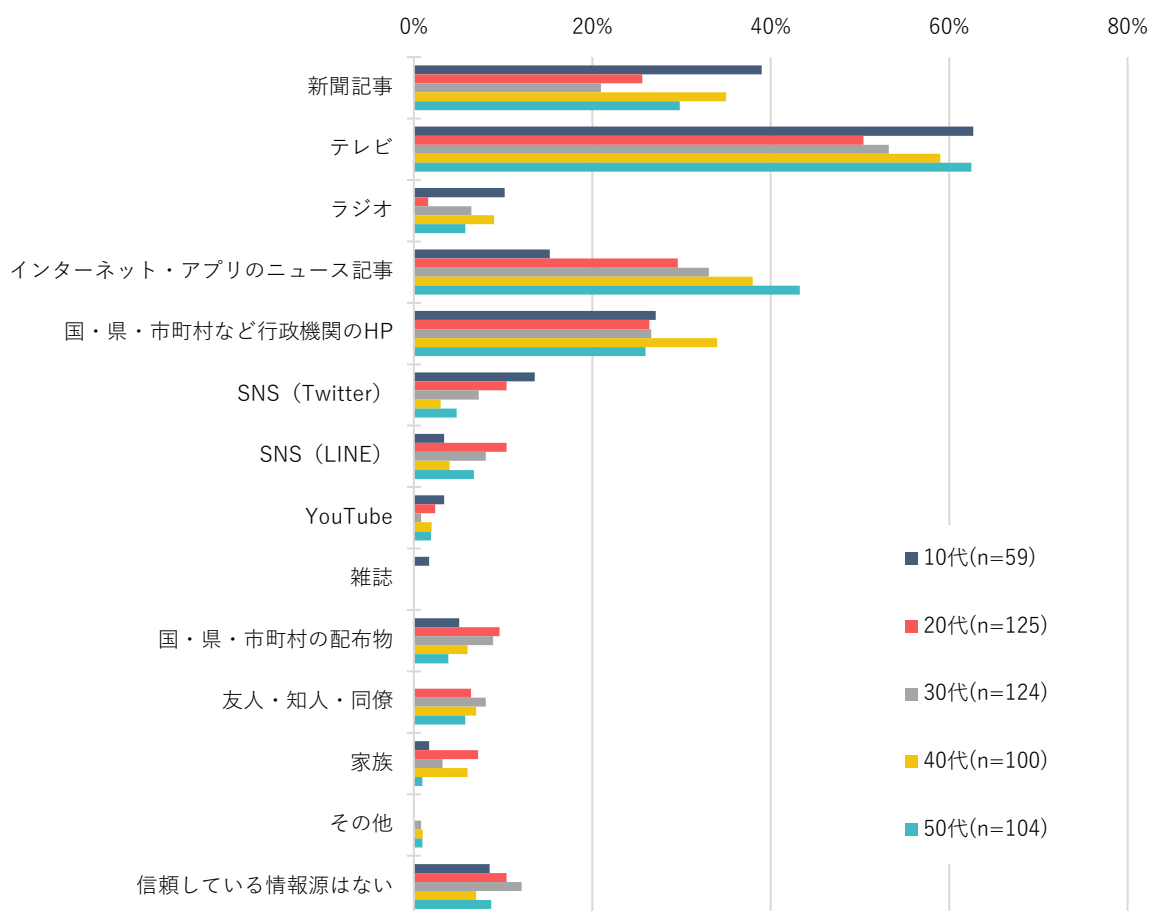
また、問2の回答結果と本設問の回答結果をクロス集計したところ、問2で「信頼度の高い情報が得られること」を選択した人においては、信頼している情報源として「テレビ」に次いで「国・県・市町村など行政機関のHP」の割合が高くなっている。



※問3において、「新型コロナウイルスに関する情報は集めていない」と回答した人を除く。

	n	%
テレビ	290	56.6%
インターネット・アプリのニュース記事	170	33.2%
新聞記事	147	28.7%
国・県・市町村など行政機関のHP	143	27.9%
SNS (Twitter)	38	7.4%
SNS (LINE)	36	7.0%
国・県・市町村の配布物	36	7.0%
ラジオ	31	6.1%
友人・知人・同僚	31	6.1%
家族	21	4.1%
YouTube	10	2.0%
雑誌	1	0.2%
その他	3	0.6%
信頼している情報源はない	49	9.6%

年代×信頼している情報源

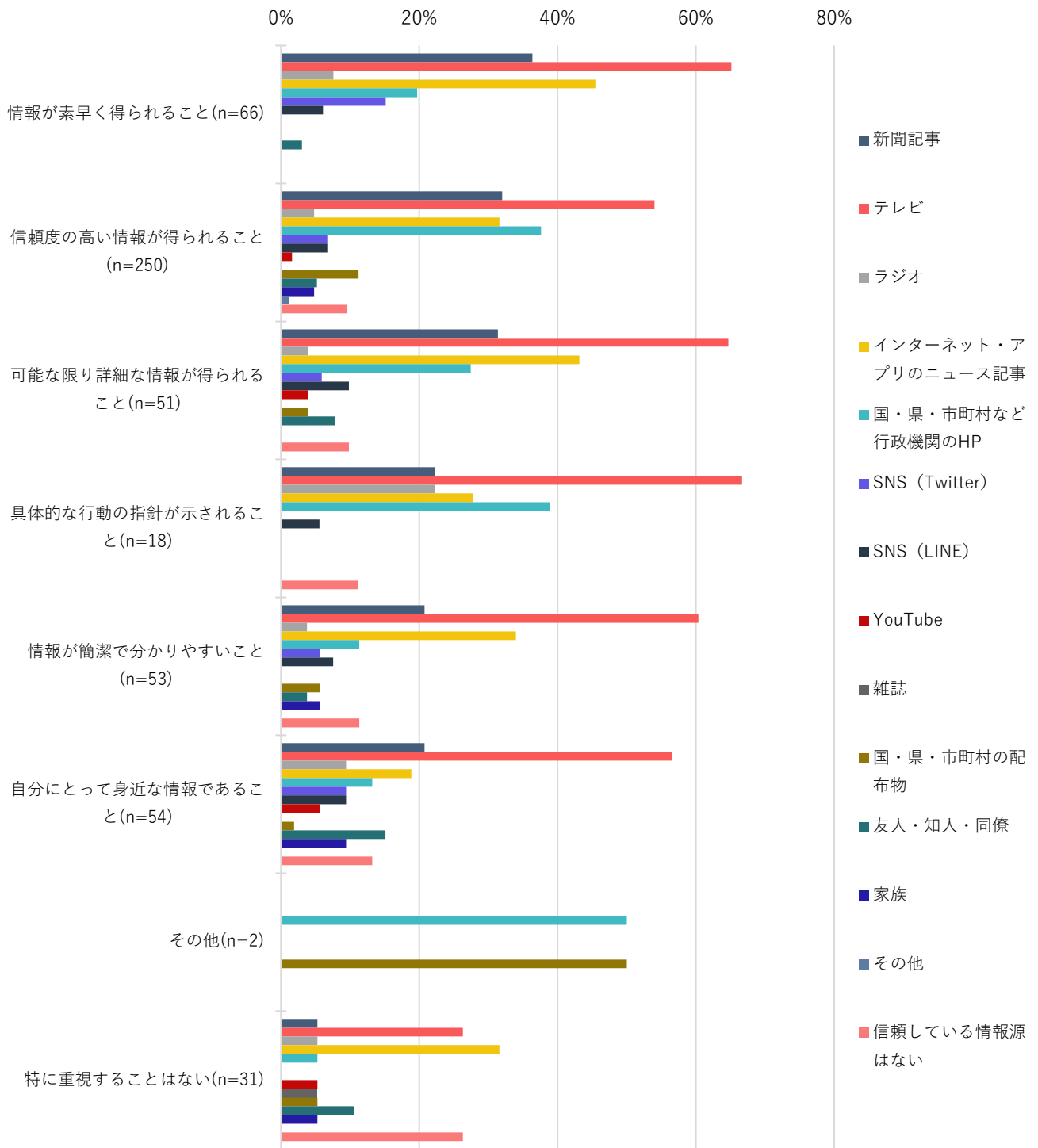


※問3において、「新型コロナウイルスに関する情報は集めていない」と回答した人を除く。

	新聞記事		テレビ		ラジオ		インターネット・アプリのニュース記事		国・県・市町村など行政機関のHP		SNS (Twitter)		SNS (LINE)	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代(n=59)	23	39.0%	37	62.7%	6	10.2%	9	15.3%	16	27.1%	8	13.6%	2	3.4%
20代(n=125)	32	25.6%	63	50.4%	2	1.6%	37	29.6%	33	26.4%	13	10.4%	13	10.4%
30代(n=124)	26	21.0%	66	53.2%	8	6.5%	41	33.1%	33	26.6%	9	7.3%	10	8.1%
40代(n=100)	35	35.0%	59	59.0%	9	9.0%	38	38.0%	34	34.0%	3	3.0%	4	4.0%
50代(n=104)	31	29.8%	65	62.5%	6	5.8%	45	43.3%	27	26.0%	5	4.8%	7	6.7%

	YouTube		雑誌		国・県・市町村の配布物		友人・知人・同僚		家族		その他		信頼している情報源はない	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代(n=59)	2	3.4%	1	1.7%	3	5.1%	0	0.0%	1	1.7%	0	0.0%	5	8.5%
20代(n=125)	3	2.4%	0	0.0%	12	9.6%	8	6.4%	9	7.2%	0	0.0%	13	10.4%
30代(n=124)	1	0.8%	0	0.0%	11	8.9%	10	8.1%	4	3.2%	1	0.8%	15	12.1%
40代(n=100)	2	2.0%	0	0.0%	6	6.0%	7	7.0%	6	6.0%	1	1.0%	7	7.0%
50代(n=104)	2	1.9%	0	0.0%	4	3.8%	6	5.8%	1	1.0%	1	1.0%	9	8.7%

重視すること×信頼している情報源



※問3において、「新型コロナウイルスに関する情報は集めていない」と回答した人を除く。

	新聞記事		テレビ		ラジオ		インターネット・アプリのニュース記事		国・県・市町村など行政機関のHP		SNS (Twitter)		SNS (LINE)	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
情報が素早く得られること(n=66)	24	36.4%	43	65.2%	5	7.6%	30	45.5%	13	19.7%	10	15.2%	4	6.1%
信頼度の高い情報が得られること(n=250)	80	32.0%	135	54.0%	12	4.8%	79	31.6%	94	37.6%	17	6.8%	17	6.8%
可能な限り詳細な情報が得られること(n=51)	16	31.4%	33	64.7%	2	3.9%	22	43.1%	14	27.5%	3	5.9%	5	9.8%
具体的な行動の指針が示されること(n=18)	4	22.2%	12	66.7%	4	22.2%	5	27.8%	7	38.9%	0	0.0%	1	5.6%
情報が簡潔で分かりやすいこと(n=53)	11	20.8%	32	60.4%	2	3.8%	18	34.0%	6	11.3%	3	5.7%	4	7.5%
自分にとって身近な情報であること(n=54)	11	20.8%	30	56.6%	5	9.4%	10	18.9%	7	13.2%	5	9.4%	5	9.4%
その他(n=2)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%
特に重視することはない(n=31)	1	5.3%	5	26.3%	1	5.3%	6	31.6%	1	5.3%	0	0.0%	0	0.0%

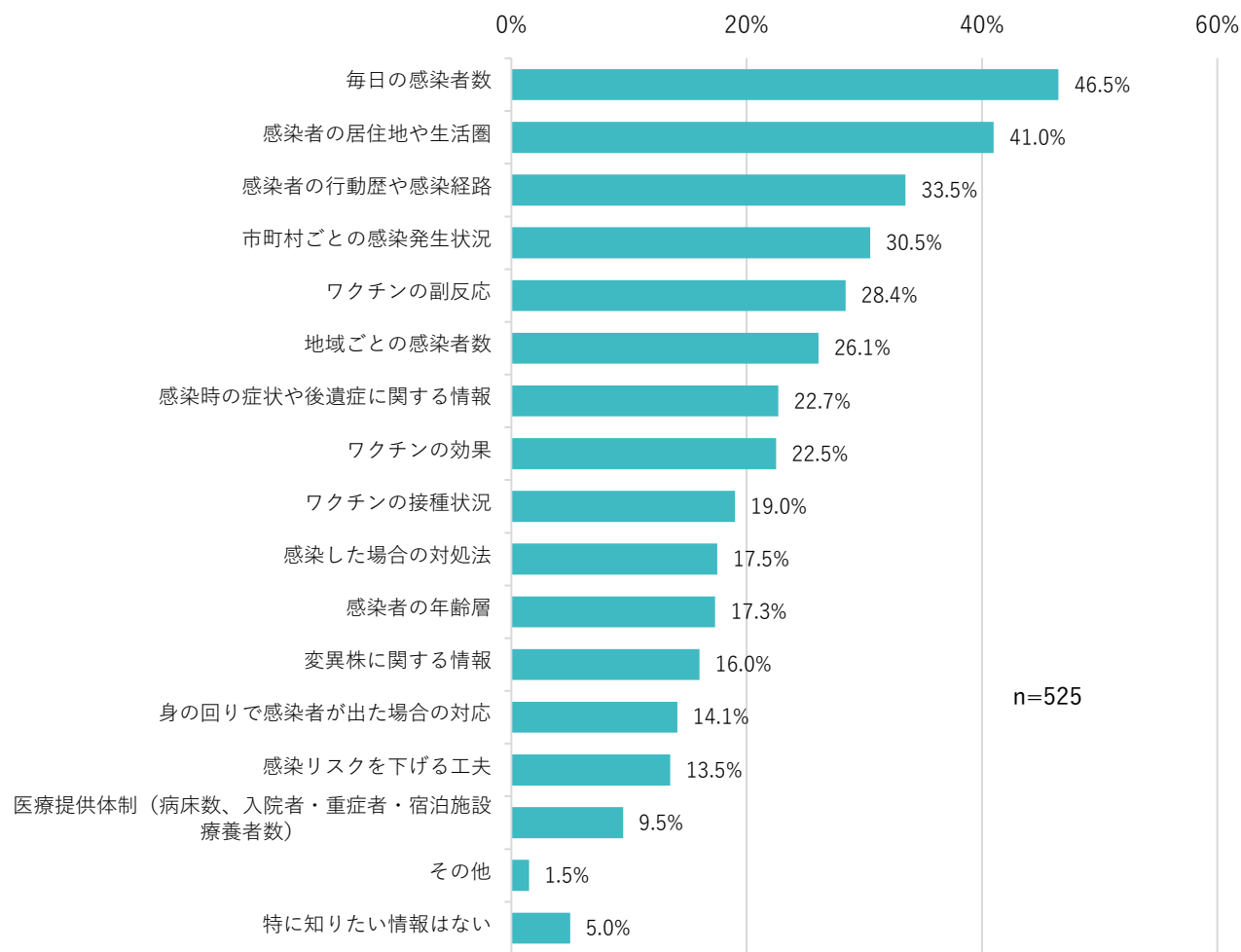
	YouTube		雑誌		国・県・市町村の配布物		友人・知人・同僚		家族		その他		信頼している情報源はない	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
情報が素早く得られること(n=66)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	3.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
信頼度の高い情報が得られること(n=250)	4	1.6%	0	0.0%	28	11.2%	13	5.2%	12	4.8%	3	1.2%	24	9.6%
可能な限り詳細な情報が得られること(n=51)	2	3.9%	0	0.0%	2	3.9%	4	7.8%	0	0.0%	0	0.0%	5	9.8%
具体的な行動の指針が示されること(n=18)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	11.1%
情報が簡潔で分かりやすいこと(n=53)	0	0.0%	0	0.0%	3	5.7%	2	3.8%	3	5.7%	0	0.0%	6	11.3%
自分にとって身近な情報であること(n=54)	3	5.7%	0	0.0%	1	1.9%	8	15.1%	5	9.4%	0	0.0%	7	13.2%
その他(n=2)	0	0.0%	0	0.0%	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
特に重視することはない(n=31)	1	5.3%	1	5.3%	1	5.3%	2	10.5%	1	5.3%	0	0.0%	5	26.3%

問5 新型コロナウイルスに関して、あなたが知りたい情報はどんなことですか。

新型コロナウイルスに関して知りたい情報については、「毎日の感染者数」が46.5%と最も高く、次いで「感染者の居住地や生活圏」が41.0%、「感染者の行動歴や感染経路」が33.5%となっている。

年代別で見ると、「感染者の居住地や生活圏」で40代の割合がかなり高くなっている。また、「ワクチンの接種状況」では10代の割合がかなり高くなっている。

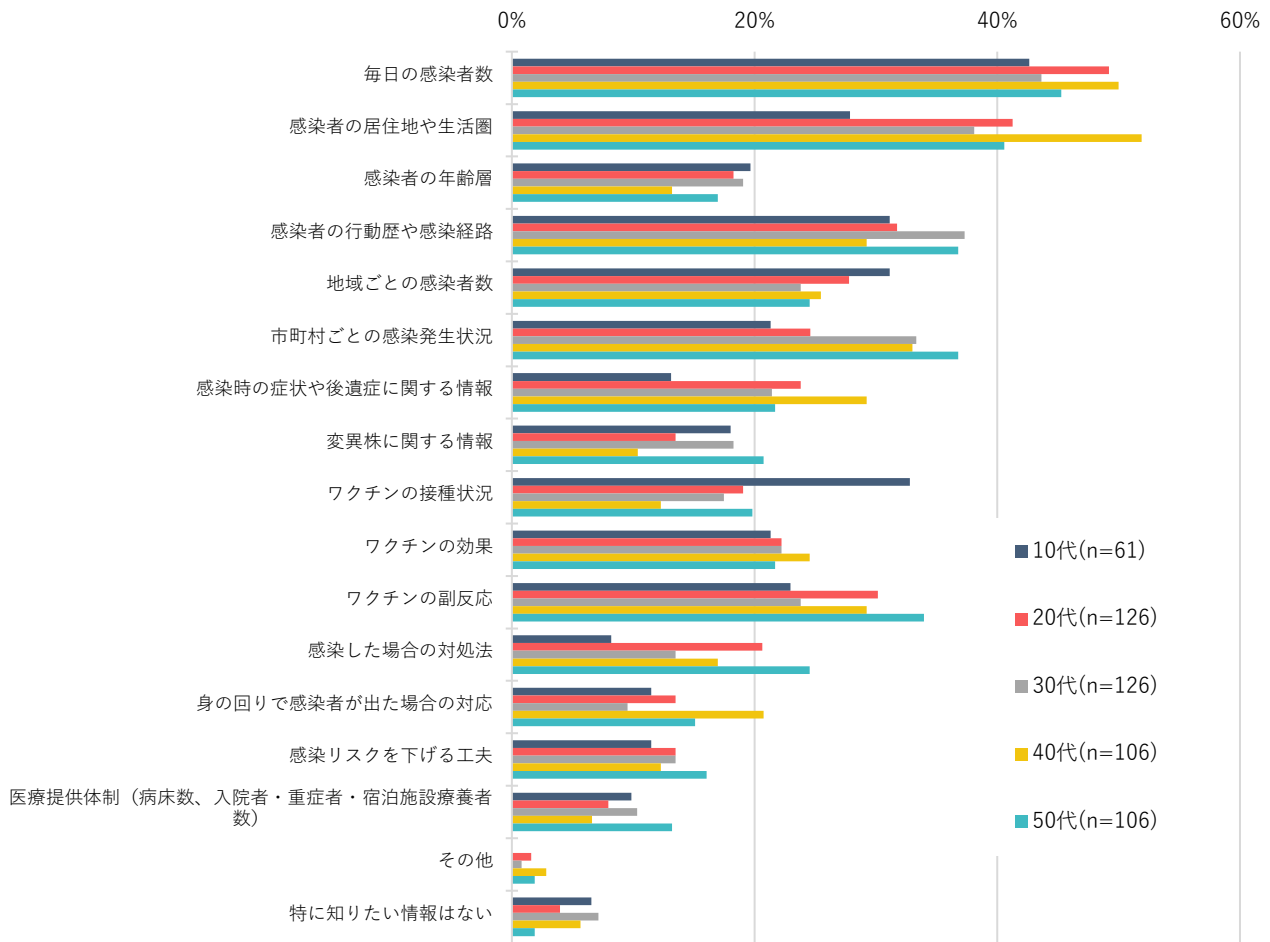
新型コロナウイルスに関して、知りたい情報（MA5つまで）



	n	%
毎日の感染者数	244	46.5%
感染者の居住地や生活圏	215	41.0%
感染者の行動歴や感染経路	176	33.5%
市町村ごとの感染発生状況	160	30.5%
ワクチンの副反応	149	28.4%
地域ごとの感染者数	137	26.1%
感染時の症状や後遺症に関する情報	119	22.7%
ワクチンの効果	118	22.5%
ワクチンの接種状況	100	19.0%

	n	%
感染した場合の対処法	92	17.5%
感染者の年齢層	91	17.3%
変異株に関する情報	84	16.0%
身の回りで感染者が出た場合の対応	74	14.1%
感染リスクを下げる工夫	71	13.5%
医療提供体制（病床数、入院者・重症者・宿泊施設療養者数）	50	9.5%
その他	8	1.5%
特に知りたい情報はない	26	5.0%

年代×知りたい情報



	毎日の感染者数		感染者の居住地や生活圏		感染者の年齢層		感染者の行動歴や感染経路		地域ごとの感染者数		市町村ごとの感染発生状況		感染時の症状や後遺症に関する情報	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代(n=61)	26	42.6%	17	27.9%	12	19.7%	19	31.1%	19	31.1%	13	21.3%	8	13.1%
20代(n=126)	62	49.2%	52	41.3%	23	18.3%	40	31.7%	35	27.8%	31	24.6%	30	23.8%
30代(n=126)	55	43.7%	48	38.1%	24	19.0%	47	37.3%	30	23.8%	42	33.3%	27	21.4%
40代(n=106)	53	50.0%	55	51.9%	14	13.2%	31	29.2%	27	25.5%	35	33.0%	31	29.2%
50代(n=106)	48	45.3%	43	40.6%	18	17.0%	39	36.8%	26	24.5%	39	36.8%	23	21.7%

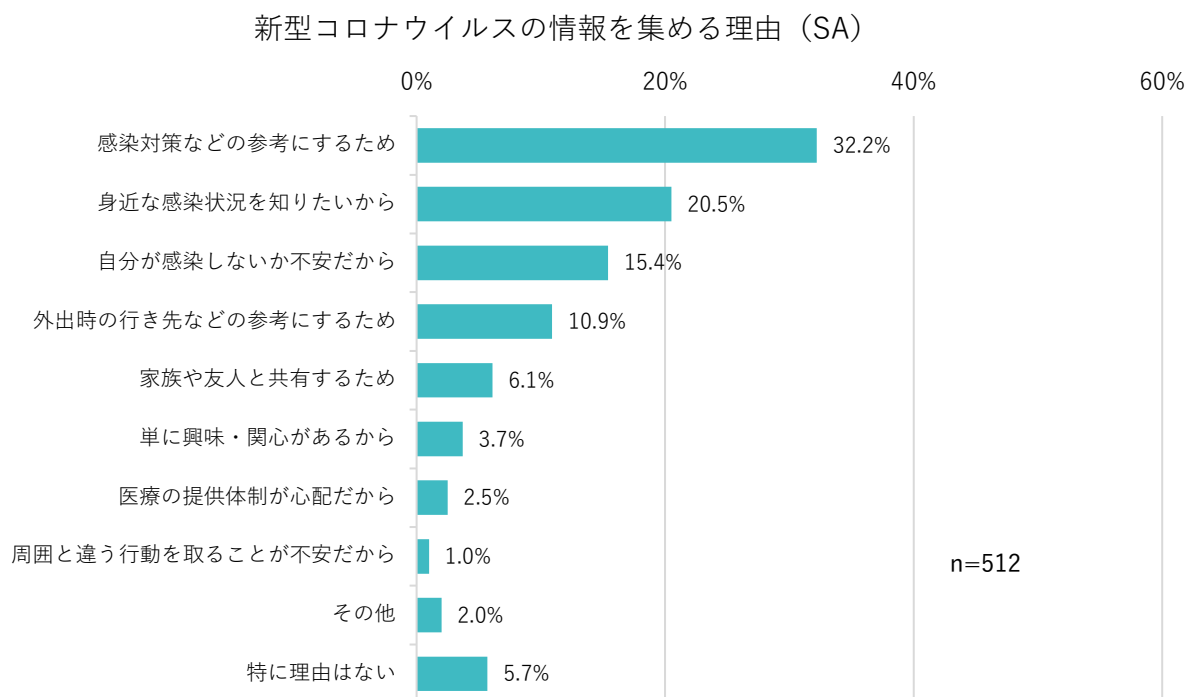
	変異株に関する情報		ワクチンの接種状況		ワクチンの効果		ワクチンの副反応		感染した場合の対処法		身の回りで感染者が出た場合の対応		感染リスクを下げる工夫	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代(n=61)	11	18.0%	20	32.8%	13	21.3%	14	23.0%	5	8.2%	7	11.5%	7	11.5%
20代(n=126)	17	13.5%	24	19.0%	28	22.2%	38	30.2%	26	20.6%	17	13.5%	17	13.5%
30代(n=126)	23	18.3%	22	17.5%	28	22.2%	30	23.8%	17	13.5%	12	9.5%	17	13.5%
40代(n=106)	11	10.4%	13	12.3%	26	24.5%	31	29.2%	18	17.0%	22	20.8%	13	12.3%
50代(n=106)	22	20.8%	21	19.8%	23	21.7%	36	34.0%	26	24.5%	16	15.1%	17	16.0%

	医療提供体制 (病床数、入院者・重症者・宿泊施設療養者数)		その他		特に知りたい情報はない	
	n	%	n	%	n	%
10代(n=61)	6	9.8%	0	0.0%	4	6.6%
20代(n=126)	10	7.9%	2	1.6%	5	4.0%
30代(n=126)	13	10.3%	1	0.8%	9	7.1%
40代(n=106)	7	6.6%	3	2.8%	6	5.7%
50代(n=106)	14	13.2%	2	1.9%	2	1.9%

問6 あなたが新型コロナウイルスの情報を集める理由として、最も当てはまるものはどれですか。

新型コロナウイルスに関する情報を集める理由について、「感染対策などの参考にするため」が32.2%と最も高くなっている。次いで「身近な感染状況を知りたいから」が20.5%、「自分が感染しないか不安だから」が15.4%となった。

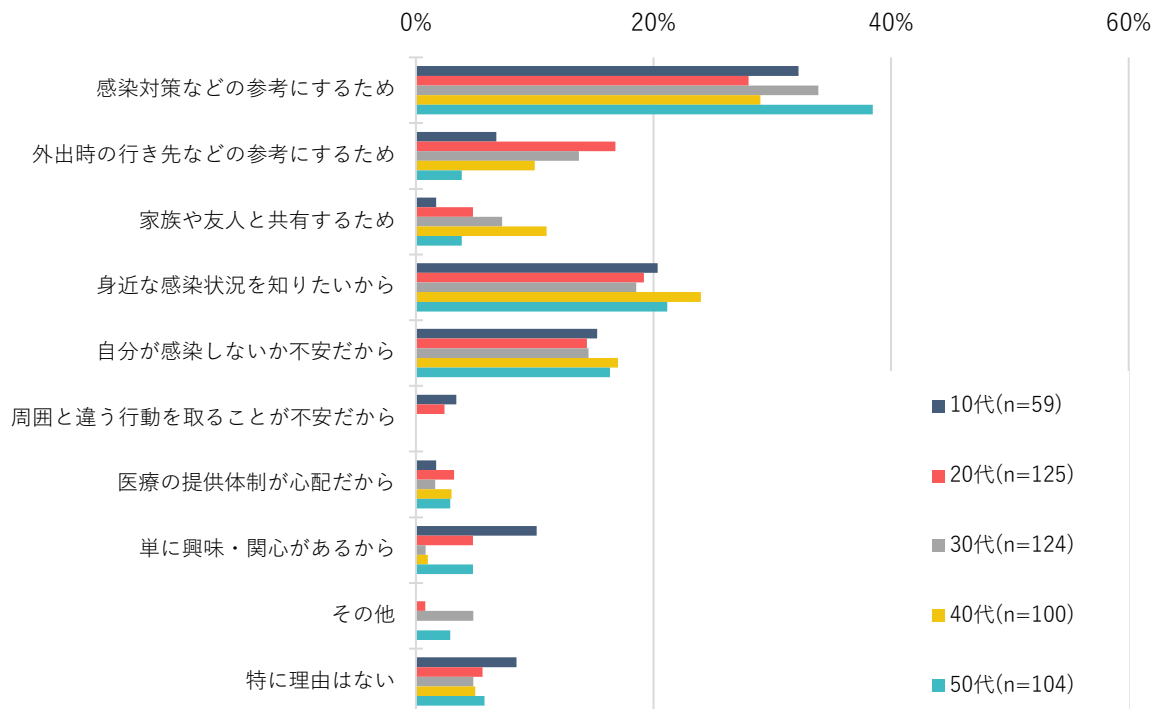
年代別でみると、「外出時の行き先などの参考にするため」において、20代の割合が高くなっている。



※問3において、「新型コロナウイルスに関する情報は集めていない」と回答した人を除く。

	n	%
感染対策などの参考にするため	165	32.2%
身近な感染状況を知りたいから	105	20.5%
自分が感染しないか不安だから	79	15.4%
外出時の行き先などの参考にするため	56	10.9%
家族や友人と共有するため	31	6.1%
単に興味・関心があるから	19	3.7%
医療の提供体制が心配だから	13	2.5%
周囲と違う行動を取ることが不安だから	5	1.0%
その他	10	2.0%
特に理由はない	29	5.7%

年代×情報を集める理由



※問3において、「新型コロナウイルスに関する情報は集めていない」と回答した人を除く。

	感染対策などの参考に するため		外出時の行き先など の参考にするため		家族や友人と共有す るため		身近な感染状況を 知りたいから		自分が感染しないか 不安だから	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代(n=59)	19	32.2%	4	6.8%	1	1.7%	12	20.3%	9	15.3%
20代(n=125)	35	28.0%	21	16.8%	6	4.8%	24	19.2%	18	14.4%
30代(n=124)	42	33.9%	17	13.7%	9	7.3%	23	18.5%	18	14.5%
40代(n=100)	29	29.0%	10	10.0%	11	11.0%	24	24.0%	17	17.0%
50代(n=104)	40	38.5%	4	3.8%	4	3.8%	22	21.2%	17	16.3%

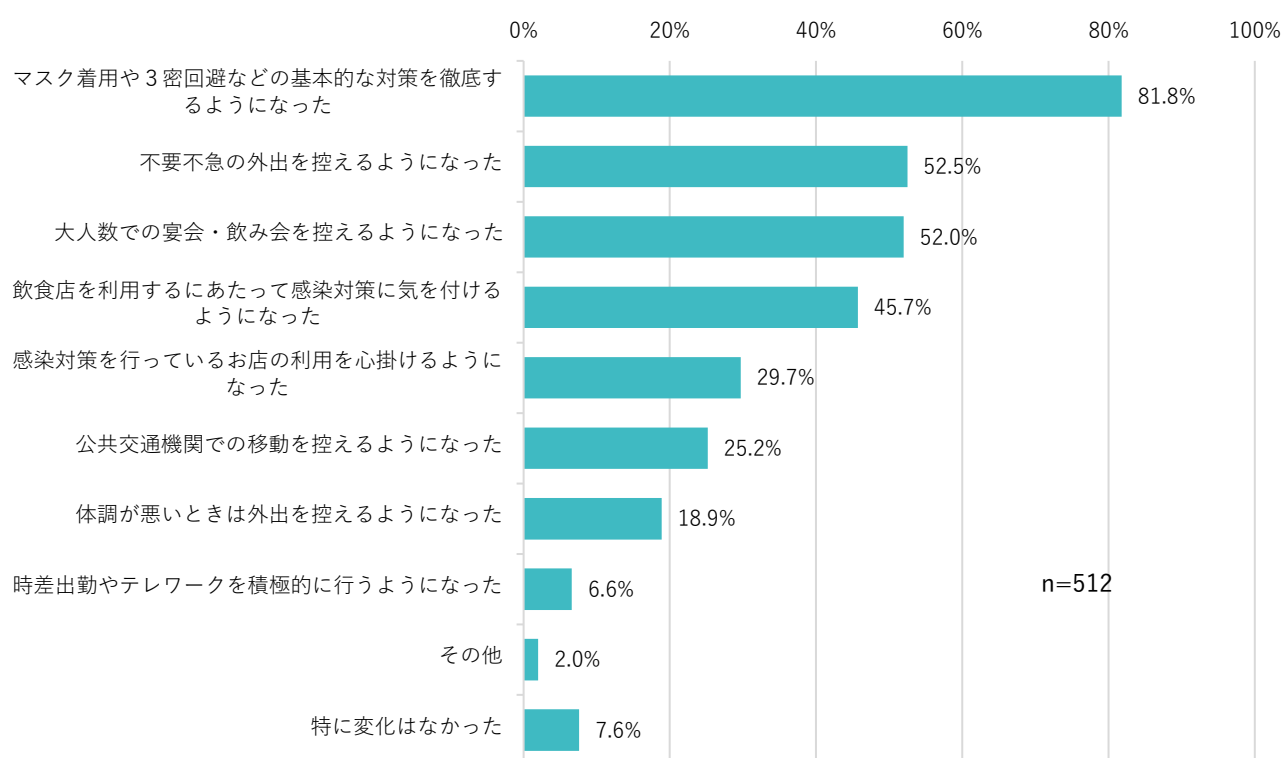
	周囲と違う行動を取 ることが不安だから		医療の提供体制が心 配だから		単に興味・関心があ るから		その他		特に理由はない	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代(n=59)	2	3.4%	1	1.7%	6	10.2%	0	0.0%	5	8.5%
20代(n=125)	3	2.4%	4	3.2%	6	4.8%	1	0.8%	7	5.6%
30代(n=124)	0	0.0%	2	1.6%	1	0.8%	6	4.8%	6	4.8%
40代(n=100)	0	0.0%	3	3.0%	1	1.0%	0	0.0%	5	5.0%
50代(n=104)	0	0.0%	3	2.9%	5	4.8%	3	2.9%	6	5.8%

問 7 新型コロナウイルスに関する情報を得たことをきっかけに、あなたの行動はどう変わりましたか。

新型コロナウイルスに関する情報を得たことをきっかけに行動がどう変わったかについて、「マスク着用や3密回避などの基本的な対策を徹底するようになった」が81.8%と最も高く、次いで「不要不急の外出を控えるようになった」が52.5%、「大人数での宴会・飲み会を控えるようになった」が52.0%となっている。

年代別にみると、「不要不急の外出を控えるようになった」において、10代と20代の割合が低くなっている。また、「大人数での宴会・飲み会を控えるようになった」では、40代の割合が高くなっている。

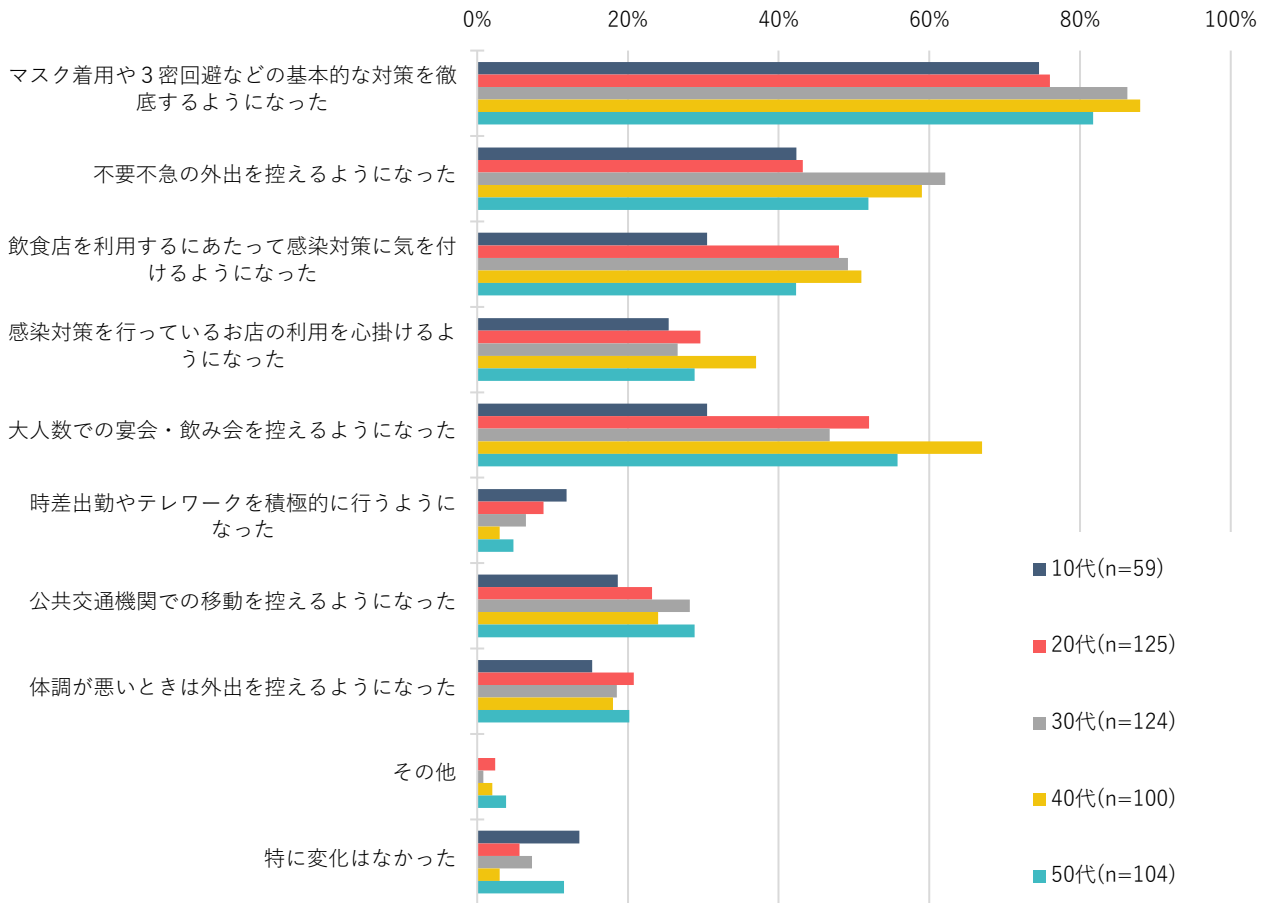
新型コロナウイルスの情報を得たことで、行動はどう変わったか (MA)



※問3において、「新型コロナウイルスに関する情報は集めていない」と回答した人を除く。

	n	%
マスク着用や3密回避などの基本的な対策を徹底するようになった	419	81.8%
不要不急の外出を控えるようになった	269	52.5%
大人数での宴会・飲み会を控えるようになった	266	52.0%
飲食店を利用するにあたって感染対策に気を付けるようになった	234	45.7%
感染対策を行っているお店の利用を心掛けるようになった	152	29.7%
公共交通機関での移動を控えるようになった	129	25.2%
体調が悪いときは外出を控えるようになった	97	18.9%
時差出勤やテレワークを積極的に行うようになった	34	6.6%
その他	10	2.0%
特に変化はなかった	39	7.6%

年代×行動変容



※問3において、「新型コロナウイルスに関する情報は集めていない」と回答した人を除く。

	マスク着用や3密回避などの基本的な対策を徹底するようになった		不要不急の外出を控えるようになった		飲食店を利用するにあたって感染対策に気を付けるようになった		感染対策を行っているお店の利用を心掛けるようになった		大人数での宴会・飲み会を控えるようになった	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代(n=59)	44	74.6%	25	42.4%	18	30.5%	15	25.4%	18	30.5%
20代(n=125)	95	76.0%	54	43.2%	60	48.0%	37	29.6%	65	52.0%
30代(n=124)	107	86.3%	77	62.1%	61	49.2%	33	26.6%	58	46.8%
40代(n=100)	88	88.0%	59	59.0%	51	51.0%	37	37.0%	67	67.0%
50代(n=104)	85	81.7%	54	51.9%	44	42.3%	30	28.8%	58	55.8%

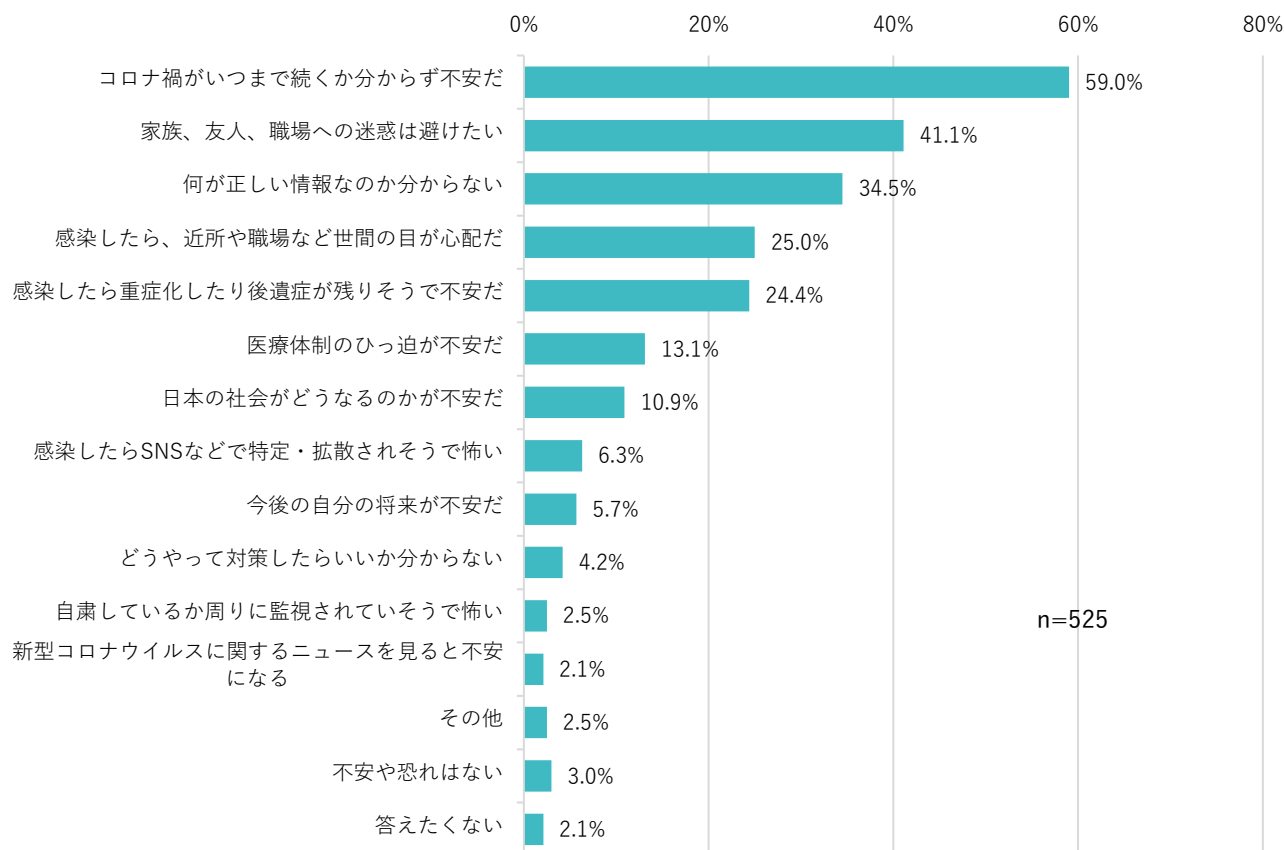
	時差出勤やテレワークを積極的に行うようになった		公共交通機関での移動を控えるようになった		体調が悪いときは外出を控えるようになった		その他		特に変化はなかった	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代(n=59)	7	11.9%	11	18.6%	9	15.3%	0	0.0%	8	13.6%
20代(n=125)	11	8.8%	29	23.2%	26	20.8%	3	2.4%	7	5.6%
30代(n=124)	8	6.5%	35	28.2%	23	18.5%	1	0.8%	9	7.3%
40代(n=100)	3	3.0%	24	24.0%	18	18.0%	2	2.0%	3	3.0%
50代(n=104)	5	4.8%	30	28.8%	21	20.2%	4	3.8%	12	11.5%

問 8 新型コロナウイルスに関して、あなたの不安や恐れに当てはまるものを選んでください。

新型コロナウイルスに関する不安や恐れについて、「コロナ禍がいつまで続くか分からず不安だ」が 59.0%と最も高く、次いで「家族、友人、職場への迷惑は避けたい」が 41.1%、「何が正しい情報なのか分からない」が 34.5%となっている。

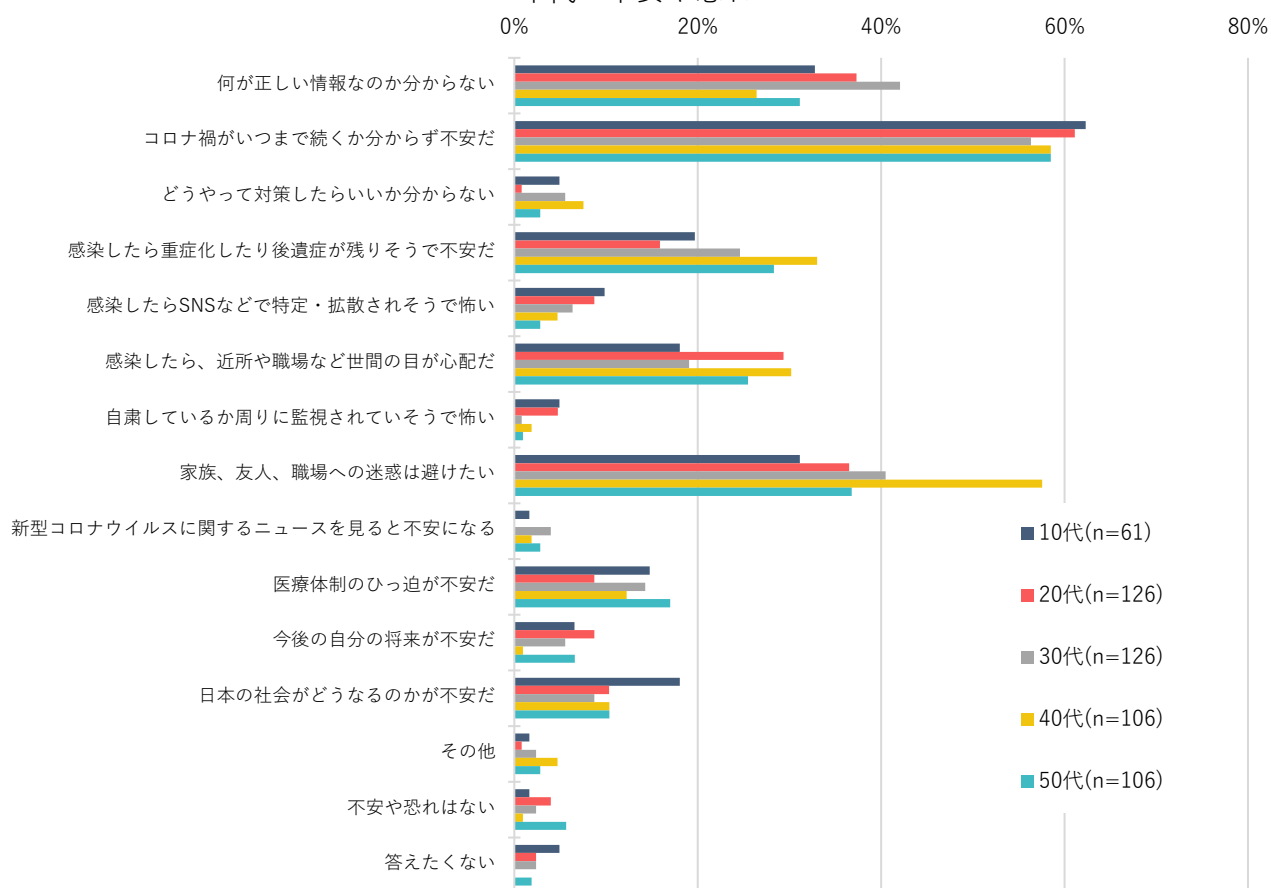
年代別でみると、「家族、友人、職場への迷惑は避けたい」において、40 代の割合が高くなっている。

新型コロナウイルスに関する不安や恐れ (MA3つまで)



	n	%
コロナ禍がいつまで続くか分からず不安だ	310	59.0%
家族、友人、職場への迷惑は避けたい	216	41.1%
何が正しい情報なのか分からない	181	34.5%
感染したら、近所や職場など世間の目が心配だ	131	25.0%
感染したら重症化したり後遺症が残りそうで不安だ	128	24.4%
医療体制のひっ迫が不安だ	69	13.1%
日本の社会がどうなるのが不安だ	57	10.9%
感染したらSNSなどで特定・拡散されそうで怖い	33	6.3%
今後の自分の将来が不安だ	30	5.7%
どうやって対策したらいいか分からない	22	4.2%
自粛しているか周りに監視されていそうで怖い	13	2.5%
新型コロナウイルスに関するニュースを見ると不安になる	11	2.1%
その他	13	2.5%
不安や恐れはない	16	3.0%
答えたくない	11	2.1%

年代×不安や恐れ



	何が正しい情報なのか分からない		コロナ禍がいつまで続くか分からず不安だ		どうやって対策したらいいか分からない		感染したら重症化したり後遺症が残りそうで不安だ		感染したら SNSなどで特定・拡散されそうで怖い	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代(n=61)	20	32.8%	38	62.3%	3	4.9%	12	19.7%	6	9.8%
20代(n=126)	47	37.3%	77	61.1%	1	0.8%	20	15.9%	11	8.7%
30代(n=126)	53	42.1%	71	56.3%	7	5.6%	31	24.6%	8	6.3%
40代(n=106)	28	26.4%	62	58.5%	8	7.5%	35	33.0%	5	4.7%
50代(n=106)	33	31.1%	62	58.5%	3	2.8%	30	28.3%	3	2.8%

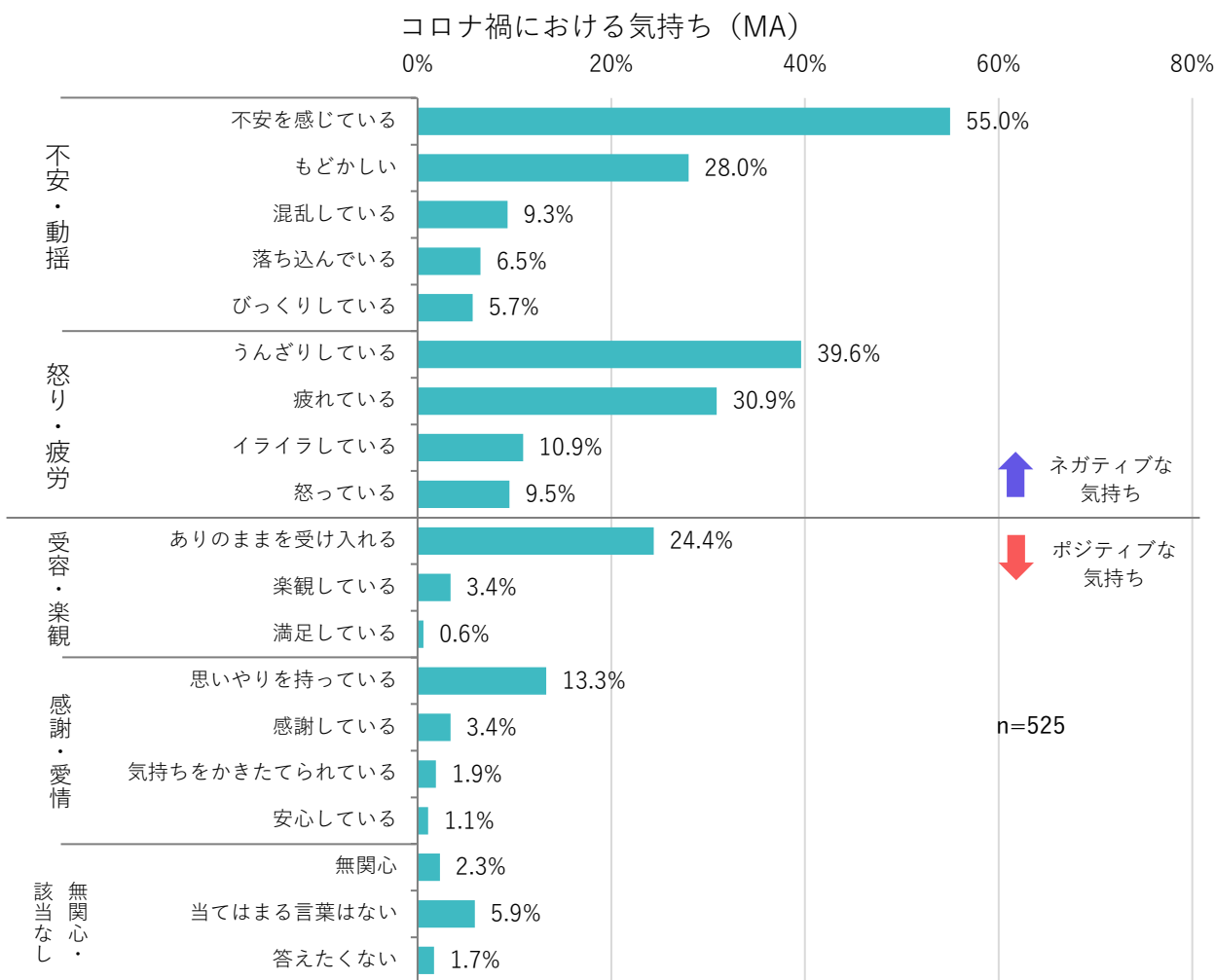
	感染したら、近所や職場など世間の目が心配だ		自粛しているか周りに監視されていそうで怖い		家族、友人、職場への迷惑は避けたい		新型コロナウイルスに関するニュースを見ると不安になる		医療体制のひっ迫が不安だ	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代(n=61)	11	18.0%	3	4.9%	19	31.1%	1	1.6%	9	14.8%
20代(n=126)	37	29.4%	6	4.8%	46	36.5%	0	0.0%	11	8.7%
30代(n=126)	24	19.0%	1	0.8%	51	40.5%	5	4.0%	18	14.3%
40代(n=106)	32	30.2%	2	1.9%	61	57.5%	2	1.9%	13	12.3%
50代(n=106)	27	25.5%	1	0.9%	39	36.8%	3	2.8%	18	17.0%

	今後の自分の将来が不安だ		日本の社会がどうなるのが不安だ		その他		不安や恐れはない		答えたくない	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代(n=61)	4	6.6%	11	18.0%	1	1.6%	1	1.6%	3	4.9%
20代(n=126)	11	8.7%	13	10.3%	1	0.8%	5	4.0%	3	2.4%
30代(n=126)	7	5.6%	11	8.7%	3	2.4%	3	2.4%	3	2.4%
40代(n=106)	1	0.9%	11	10.4%	5	4.7%	1	0.9%	0	0.0%
50代(n=106)	7	6.6%	11	10.4%	3	2.8%	6	5.7%	2	1.9%

問9 現状のコロナ禍において、あなたの気持ちに当てはまる言葉は次のうちどれですか。

現状のコロナ禍における気持ちについて、「不安を感じている」が55.0%と最も高くなっており、次いで「うんざりしている」が39.6%、「疲れている」が30.9%となった。全体的にみると、不安や疲労といったネガティブな気持ちの割合が高くなっている。ポジティブな気持ちでは、「ありのままを受け入れる」という現状を受容する気持ちの割合が比較的高くなっている。

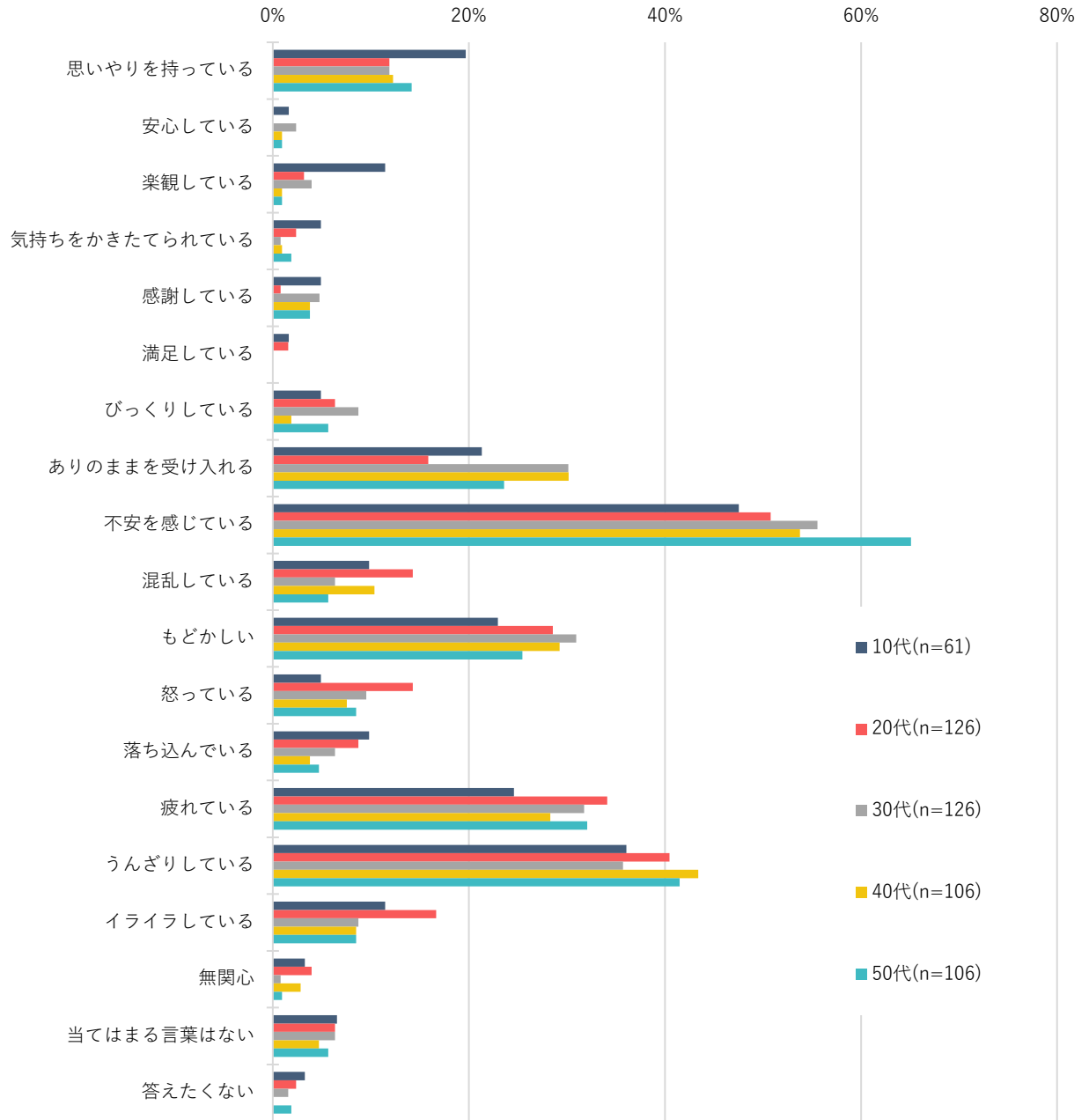
年代別でみると、「不安を感じている」において50代の割合が高くなっている。



		n	%
不安・動揺	不安を感じている	289	55.0%
	もどかしい	147	28.0%
	混乱している	49	9.3%
	落ち込んでいる	34	6.5%
	びっくりしている	30	5.7%
怒り・疲労	うんざりしている	208	39.6%
	疲れている	162	30.9%
	イライラしている	57	10.9%
	怒っている	50	9.5%

		n	%
受容・楽観	ありのままを受け入れる	128	24.4%
	楽観している	18	3.4%
	満足している	3	0.6%
感謝・愛情	思いやりを持っている	70	13.3%
	感謝している	18	3.4%
	気持ちをかきたてられている	10	1.9%
無関心・該当なし	安心している	6	1.1%
	無関心	12	2.3%
	当てはまる言葉はない	31	5.9%
	答えたくない	9	1.7%

年代×コロナ禍における気持ち



	思いやりを持っている		安心している		楽観している		気持ちをかきたてられている		感謝している	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代(n=61)	12	19.7%	1	1.6%	7	11.5%	3	4.9%	3	4.9%
20代(n=126)	15	11.9%	0	0.0%	4	3.2%	3	2.4%	1	0.8%
30代(n=126)	15	11.9%	3	2.4%	5	4.0%	1	0.8%	6	4.8%
40代(n=106)	13	12.3%	1	0.9%	1	0.9%	1	0.9%	4	3.8%
50代(n=106)	15	14.2%	1	0.9%	1	0.9%	2	1.9%	4	3.8%

	満足している		びっくりしている		ありのままを受け入れる		不安を感じている		混乱している	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代(n=61)	1	1.6%	3	4.9%	13	21.3%	29	47.5%	6	9.8%
20代(n=126)	2	1.6%	8	6.3%	20	15.9%	64	50.8%	18	14.3%
30代(n=126)	0	0.0%	11	8.7%	38	30.2%	70	55.6%	8	6.3%
40代(n=106)	0	0.0%	2	1.9%	32	30.2%	57	53.8%	11	10.4%
50代(n=106)	0	0.0%	6	5.7%	25	23.6%	69	65.1%	6	5.7%

	もどかしい		怒っている		落ち込んでいる		疲れている		うんざりしている	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代(n=61)	14	23.0%	3	4.9%	6	9.8%	15	24.6%	22	36.1%
20代(n=126)	36	28.6%	18	14.3%	11	8.7%	43	34.1%	51	40.5%
30代(n=126)	39	31.0%	12	9.5%	8	6.3%	40	31.7%	45	35.7%
40代(n=106)	31	29.2%	8	7.5%	4	3.8%	30	28.3%	46	43.4%
50代(n=106)	27	25.5%	9	8.5%	5	4.7%	34	32.1%	44	41.5%

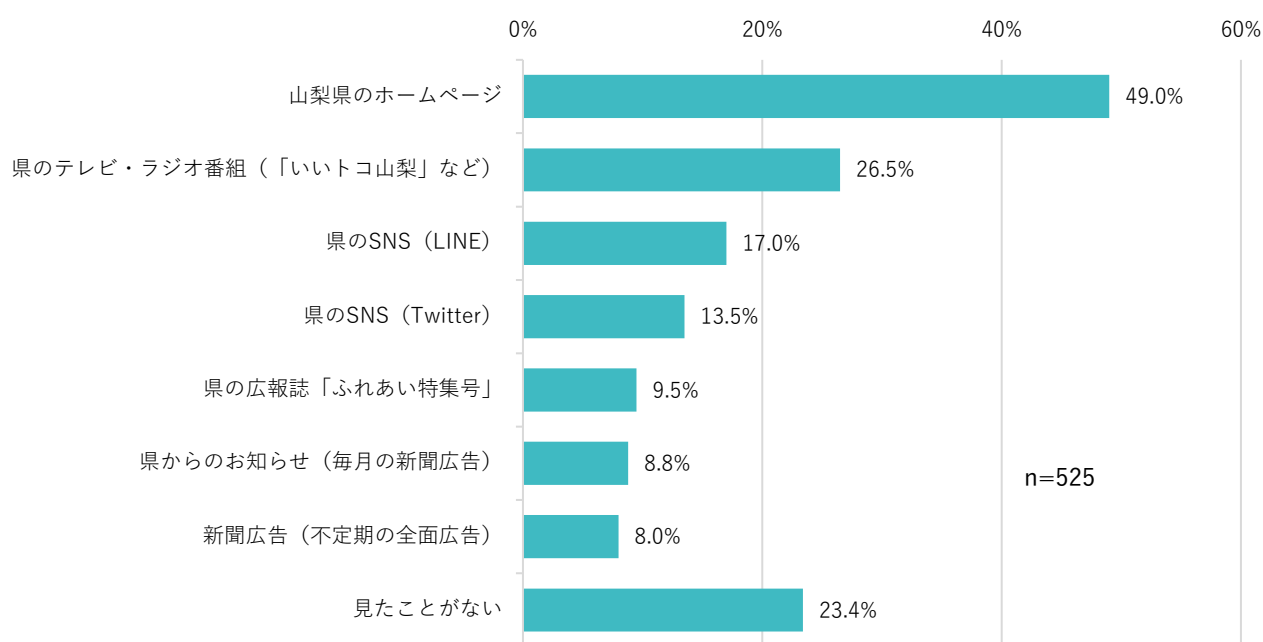
	イライラしている		無関心		当てはまる言葉はない		答えたくない	
	n	%	n	%	n	%	n	%
10代(n=61)	7	11.5%	2	3.3%	4	6.6%	2	3.3%
20代(n=126)	21	16.7%	5	4.0%	8	6.3%	3	2.4%
30代(n=126)	11	8.7%	1	0.8%	8	6.3%	2	1.6%
40代(n=106)	9	8.5%	3	2.8%	5	4.7%	0	0.0%
50代(n=106)	9	8.5%	1	0.9%	6	5.7%	2	1.9%

問 10 山梨県が発信している新型コロナウイルスに関する情報をどの媒体で見たとありますか。

県が発信している新型コロナウイルスに関する情報をどの媒体で見たとあるかについて、「山梨県のホームページ」が 49.0%と最も高く、次いで「県のテレビ・ラジオ番組」が 26.5%、「見たことがない」が 23.4%となった。

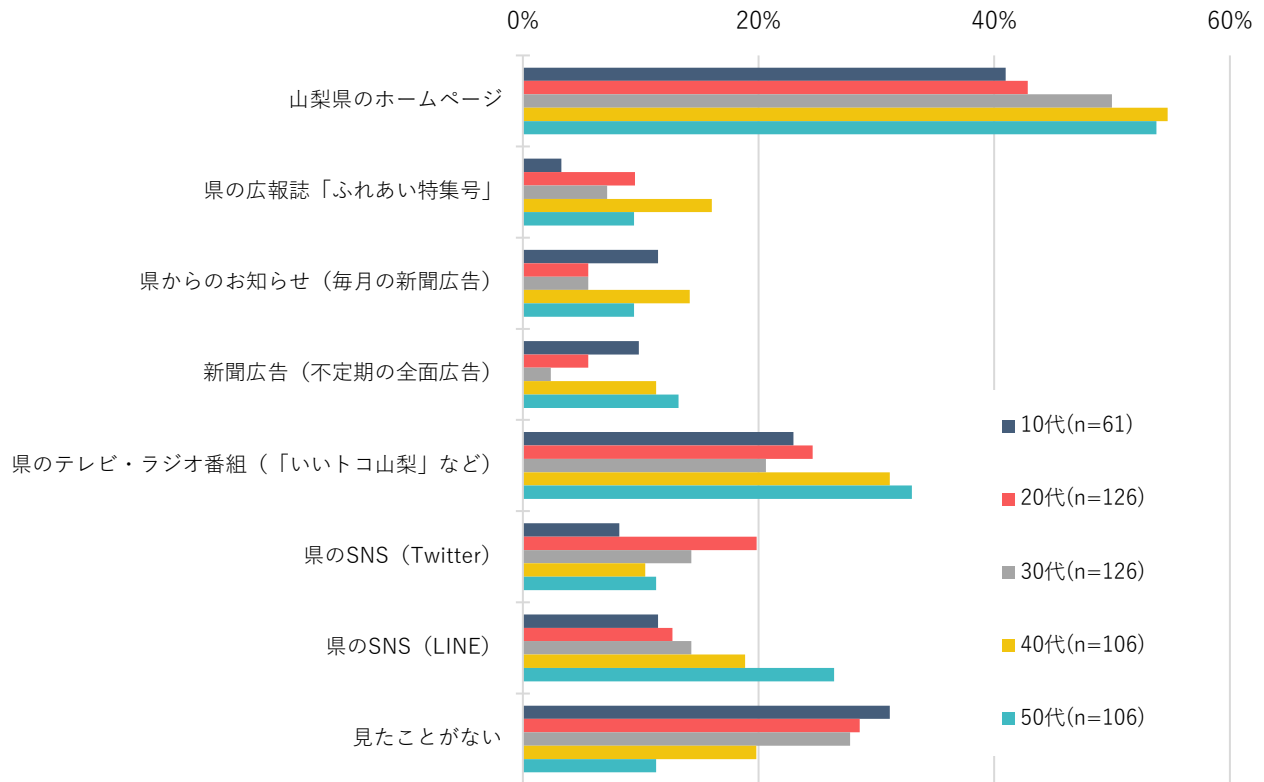
年代別で見ると、「山梨県のホームページ」、「県のテレビ・ラジオ番組（「いいトコ山梨」など）」、「県の SNS（LINE）」において、年代が高くなるにつれて割合が高くなっている。また、年代が低くなるにつれて、「見たことがない」の割合が高くなっている。

県が発信している新型コロナの情報をどの媒体で見たとあるか（MA）



	n	%
山梨県のホームページ	257	49.0%
県のテレビ・ラジオ番組（「いいトコ山梨」など）	139	26.5%
県の SNS（LINE）	89	17.0%
県の SNS（Twitter）	71	13.5%
県の広報誌「ふれあい特集号」	50	9.5%
県からのお知らせ（毎月の新聞広告）	46	8.8%
新聞広告（不定期の全面広告）	42	8.0%
見たことがない	123	23.4%

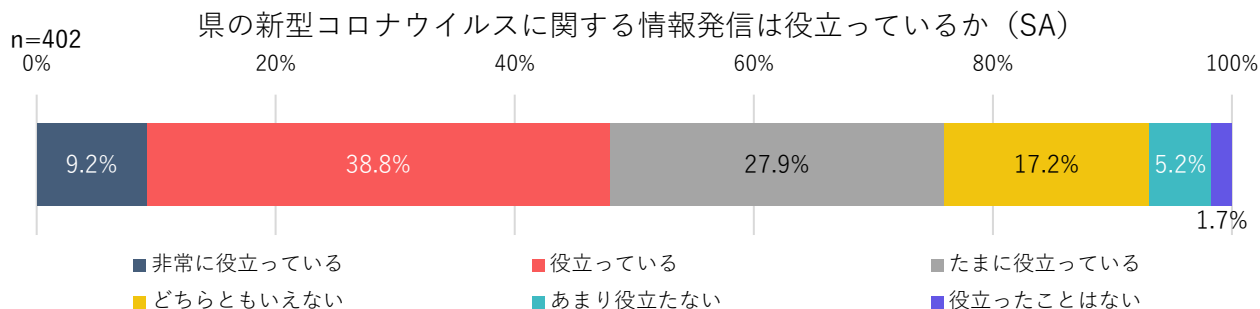
年代×見たことのある県の情報発信媒体



	山梨県のホームページ		県の広報誌「ふれあい特集号」		県からのお知らせ（毎月の新聞広告）		新聞広告（不定期の全面広告）		県のテレビ・ラジオ番組（「いいトコ山梨」など）		県のSNS（Twitter）		県のSNS（LINE）		見たことがない	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代 (n=61)	25	41.0%	2	3.3%	7	11.5%	6	9.8%	14	23.0%	5	8.2%	7	11.5%	19	31.1%
20代 (n=126)	54	42.9%	12	9.5%	7	5.6%	7	5.6%	31	24.6%	25	19.8%	16	12.7%	36	28.6%
30代 (n=126)	63	50.0%	9	7.1%	7	5.6%	3	2.4%	26	20.6%	18	14.3%	18	14.3%	35	27.8%
40代 (n=106)	58	54.7%	17	16.0%	15	14.2%	12	11.3%	33	31.1%	11	10.4%	20	18.9%	21	19.8%
50代 (n=106)	57	53.8%	10	9.4%	10	9.4%	14	13.2%	35	33.0%	12	11.3%	28	26.4%	12	11.3%

問 11 山梨県が発信している新型コロナウイルスに関する情報はどの程度役に立っていますか。

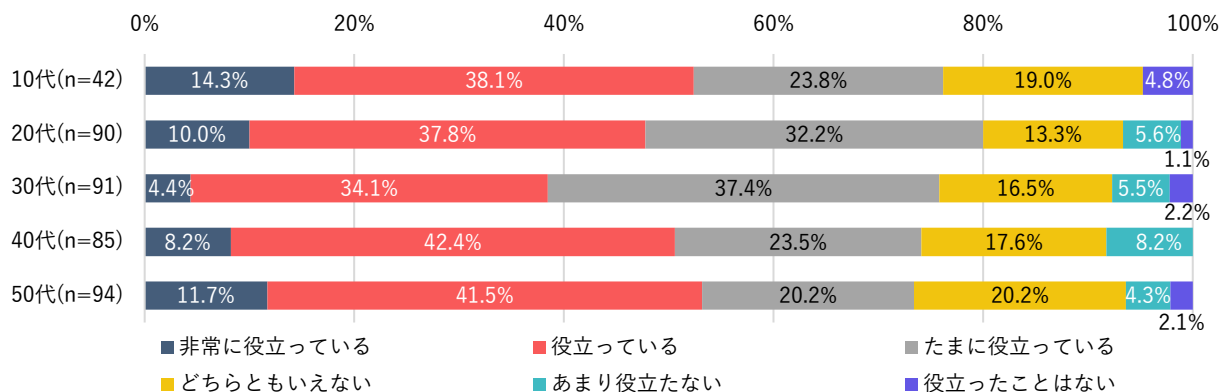
県が発信している新型コロナウイルスに関する情報がどの程度役に立っているかについて、「非常に役に立っている」、「役に立っている」、「たまに役に立っている」を合わせた『役に立っている』が7割を超えている。



※問10において、「見たことがない」と回答した人を除く。

	n	%
非常に役に立っている	37	9.2%
役に立っている	156	38.8%
たまに役に立っている	112	27.9%
どちらともいえない	69	17.2%
あまり役に立たない	21	5.2%
役に立ったことはない	7	1.7%

年代×県の情報発信は役に立っているか



※問10において、「見たことがない」と回答した人を除く。

	非常に役に立っている		役に立っている		たまに役に立っている		どちらともいえない		あまり役に立たない		役に立ったことはない	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代(n=42)	6	14.3%	16	38.1%	10	23.8%	8	19.0%	0	0.0%	2	4.8%
20代(n=90)	9	10.0%	34	37.8%	29	32.2%	12	13.3%	5	5.6%	1	1.1%
30代(n=91)	4	4.4%	31	34.1%	34	37.4%	15	16.5%	5	5.5%	2	2.2%
40代(n=85)	7	8.2%	36	42.4%	20	23.5%	15	17.6%	7	8.2%	0	0.0%
50代(n=94)	11	11.7%	39	41.5%	19	20.2%	19	20.2%	4	4.3%	2	2.1%

問 12 新型コロナウイルスに関する情報発信に関して、ご意見やご要望等ご自由にご記入ください。

自由記述について、以下のような意見があった。

●発信されている情報の内容について

- ・感染者を公表する際に地域ではなく市町村で伝えてほしい（例 東部富士五湖ではなく、大月市や富士河口湖町など）。より具体的に伝えてほしい。（男性／20代）
- ・クラスターが発生した場所を公表するのとならない差は、何なのか知りたい。（女性／30代）
- ・個人情報保護は分かるが、もう少し感染者の詳しい情報が欲しい。（女性／50代）
- ・感染者の感染経路や住んでいる場所、立ち寄った施設・お店等、なるべく詳細に発表して欲しい。詳細を知る事で感染予防対策もより正確に出来るから。（女性／30代）
- ・感染者の行動履歴を公表して欲しい。（男性／50代）
- ・日々の感染者数や政府の対策の問題などの報道ではなく、どうすれば感染が防げるのか、国民が出来ることは何なのかなど、私たちが協力してコロナを防いだり、コロナとうまく付き合いながら生活する術などを知りたい。（女性／30代）
- ・批判的な報道などが多い(若い人の行動など)が、総合的な報道をしてほしい。情報発信としては細かな居住地など知ることができれば自身の感染予防にも役立つと思う。（男性／40代）
- ・ワクチンを受けても、今までの感染予防対策は変わらずに続けることが大切だと、強く訴えて欲しい。（女性／50代）
- ・コロナ対策について詳しく知らせて欲しい。（女性／50代）

●情報発信のあり方について

- ・県のHPはこちらから見に行かなければならないので、LINEによる通知等、自治体から積極的に発信してほしい。（男性／40代）
- ・ニュースなど Web やテレビを見ているが、山梨の情報は他県と比べてもとても遅い。（男性／40代）
- ・山梨県の感染者情報がタイムリーでなく情報が限定的で見にくい。（男性／50代）

●情報の信憑性について

- ・不確定な情報ばかりだ。得体の知れないウイルスが相手なのだから、しょうがない事と思う反面、正しい知識が得られないと、正しい行動も取れないのも事実である。メディアに顔を出すような人が、エセ科学に影響されたようなことを発信しているのは、もう罪だと思う。（女性／50代）
- ・回りが騒いでいて、本当は、何処までが危険なのか、全く分からない。詳しい詳細が早く分かれば、そんなに慌てなくても、良いのではないかと思います。（男性／50代）
- ・デマが発出されないようデマ情報元の公表をするとともに、「この情報はデマである」という注意喚起情報を随時発信して欲しい。（男性／40代）
- ・信憑性の高いものをいち早く発信してほしい。デマが流れている場合、訂正する記事や文がほ

しい。(男性/20代)

●感染対策について

- ・ マスクをしないでお店に入店する人が、老若男女問わず、増えてきている。マスク咳が止まらないのに、出かけている人も結構いる。接客業に携わる者としては、恐怖でしかない。今の時期は暑くて大変だが、特にマスクに関しては入店時に付けないと、入れないくらいに扱えないかと思う。(女性/20代)
- ・ 対策は飲食店じゃなく個人の問題が多いのでそこを発信や対策していただきたい。(男性/30代)
- ・ 県外からの出入りが減らないと山梨も増えるだけだと思う。(女性/30代)

●ワクチンについて

- ・ 大規模接種等ワクチンに関する情報があいまいで、いつ頃受けられるか等知りたい。(女性/40代)
- ・ ワクチンの大規模接種のニュースがあったが、若い世代の接種がずいぶん先になるようです。早めのアナウンスをお願いしたい。(女性/20代)
- ・ 若者世代のワクチン接種によって起こる副反応や将来への影響を少しでも早く正しい情報発信をして欲しい。(女性/20代)
- ・ 後遺症やワクチンの副反応などの情報はなるべく迅速に詳しく教えてほしい。(女性/20代)
- ・ 妊婦の感染リスク、ワクチンを受けるべきか等、わからず悩んでいる。(女性/20代)

4.若年層へのグループインタビュー

1.1.グループインタビューの概要

若年層における新型コロナウイルスに関する情報の入手方法やコロナ禍における意識や気持ち、行動などについて、アンケートなどの定量調査では把握しきれない部分を調査するため、県内の大学生を対象としてグループインタビューを行った。合わせて、県内在住の留学生における情報入手や意識を把握するため、留学生を対象としたグループインタビューを行った。

	グループ1	グループ2	グループ3
日時	令和3年8月4日(水) 午前11:00～午前11:45	令和3年8月6日(金) 午後4:30～午後5:15	令和3年8月10日(火) 午後2:00～午後2:50
大学	山梨大学	山梨県立大学	山梨学院大学
人数	3人	3人	4人
備考			全員が中国人留学生

1.2.グループインタビュー結果の概要

①新型コロナウイルスに関する情報収集について

- ・新型コロナウイルスに関する情報については、テレビやスマートフォン（インターネット）により確認する学生が多かった。自発的・積極的に情報収集するというよりは、テレビやスマートフォンなどで自然と情報が入ってくるということであり、また実家暮らしの学生においては、親などの家族から情報が伝わるがあった。
- ・新型コロナに関する情報として関心があるのは、感染者数の状況やどの地域で感染が発生したか、という意見が多く、その理由としては自分の身近で感染が発生することへの恐怖や不安があるとのことだった。また、自身が新型コロナウイルスに感染した場合にどうしたらいいかわからないため、感染時の対応方法を知りたいという意見もあった。
- ・新型コロナウイルスに関する情報や話題について、SNSで見かけたり拡散されたりということは少ない様子。ただ、インタビュー参加者の友人にはワクチンによる死亡確率の情報を見てワクチン接種をしなかった人もいたという。

②県が発信している情報について

- ・県のHPについては、接触頻度は少なく、知りたい情報を得たいときに確認する程度。
- ・県のSNSについて、LINEの公式アカウント（新型コロナ対策パーソナルサポート）の利用者が数名おり、提供されている情報が有用であるとの意見があった。

③コロナ禍における意識、行動について

- ・グループインタビューに参加した学生たちは自粛への意識が非常に高く、外出や会食等を控えている人が多かった。その一方で、学生たちの友人の一部にはSNSで外出して遊んでいる様子

を投稿している人もいるとのことであった。

- ・ 東京などの県外から観光等で人が来ることに危機感や不安を覚えており、自粛の必要性を訴える学生もいた。

④留学生における新型コロナウイルスに関する情報収集について

- ・ 今回、インタビューに参加した留学生たちにおいては日本のテレビを見ることはほとんど無く、情報収集は専らスマートフォンにより行われている。
- ・ 中国語のニュースメディアも日本語のニュースメディアも両方確認することが多い。日本語で分からない表記については、スマートフォンの翻訳アプリや電子辞書を使ったり、日本人の友人に確認するなどしている。日本語の長文理解は難しいため、ポイントがまとめられている方がよいとのことだった。
- ・ 新型コロナウイルスに関する情報として調べるのは、日本における感染者数や感染の発生場所など。中国の感染状況も確認するとのことだった。
- ・ 山梨県の HP については認知されていなかった。大学から教えてもらえば、見るようになるかもしれないとのことだった。
- ・ 留学生同士のコミュニティがあり、メッセージアプリの WeChat でチャットグループが形成されている。大学の先生も入っており、重要なことを知らせてくれるとのことだった。新型コロナに関する話題も上がり、知りたい情報も聞きやすいようであった。
- ・ SNS の利用はあまり多くないようであった。

⑤留学生におけるコロナ禍での意識、行動について

- ・ 感染状況を非常に気にかけしており、日本の現在の状況を強く危惧している様子だった。
- ・ ワクチンの状況や感染時の対応方法などが不明確であることに不安を感じているとのことだった。
- ・ 県が設置している相談窓口については認知していなかった。本当に困ったら中国大使館を頼ることになるだろうとのことだった。

1.3.グループインタビューの結果

●山梨大学 在学生へのインタビュー

概要	
日時	令和3年8月4日（水）午前 11:00～午前 11:45
対象	山梨大学 4年1名、2年2名
場所	山梨大学 S1 号館 318 教室
調査者	山梨総合研究所 清水、廣瀬

内容			
【対象者情報】			
氏名（仮名）	A さん	B さん	C さん
性別	女性	女性	女性
学年	4 年生	2 年生	2 年生
ワクチン接種	2 回	2 回	2 回
居住状況	アパート（妹同居）	実家（長野県）	実家
【インタビュー内容】			
Q1.新型コロナウイルスに関する情報を見ているか。県の HP や SNS を見たことがあるか。			
A さん	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の一部として、ニュースからコロナの情報が入ってくる。最近は、オリンピックをテレビで見る機会が多いので、その途中にニュースでコロナに関する情報を見かける。 ・部活動のために、感染状況を調べようと県の HP を確認していたことはあった。 ・県の LINE の他、LINE ニュースや世界の感染者数発信などを発信しているアカウントに登録して、状況を確認している。 		
B さん	<ul style="list-style-type: none"> ・親がテレビでニュースを見ているので、自然と情報が入る。一人暮らしの人よりは見ていると思う。 ・県の LINE アカウントに登録している。どの地域に感染者がいるか詳述してあり、知っておくと不安が和らぐとともに警戒心が保てる。 		
Q2. SNS で新型コロナウイルスに関する情報を見ることがあるか。			
A さん	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の感染者について、どこの大学や高校なのか、情報が来ることがある。 ・大学内の感染者発生時、大学から情報は公開されないが、学生の間で噂が出回ることによって把握することが多い。 		
B さん	<ul style="list-style-type: none"> ・田舎に住んでいるが、隣町でクラスターが起きたときに、近所の誰もが詳細を知っていた。SNS で拡散されたわけでもないが、田舎ほど口伝いに伝わるのでは。 		
Q3.日々報道されている新型コロナウイルスに関する情報についてどう思うか。			
A さん	<ul style="list-style-type: none"> ・どこで、何人の感染者が発生したのか確認したい。 		
B さん	<ul style="list-style-type: none"> ・海外に比べれば、日本は桁が少ない気がする。 		

	<ul style="list-style-type: none"> ・“山梨で過去最多”といったニュースを見ると危機感が強くなる。 ・同じ学部の知り合いが感染した時、身近に感染者が出たことで、急に怖くなった。特に家族へ影響が及ぶのを恐れている。
Cさん	<ul style="list-style-type: none"> ・近くで感染者が発生したら怖い。人口が少ない地域に住んでいるので、身近で発生したらより危機感が強くなる。ただ、軽視しているわけではないが、自分の周りに感染者がいないので、実感が少しだけ薄い部分もある。
Q4.友達との飲食や旅行についてどう思うか。	
Bさん	<ul style="list-style-type: none"> ・少し前に家族旅行をしたが、密を避けて、近場の山奥の1日数組限定のペンションや宿に泊まった。東京の感染者が増えると、山梨、長野と流れてくる。旅行客の多い観光地には行かないようにしている。 ・サークルで一人暮らしの人を中心とした飲み会に誘われるが、家族への影響を考えると参加できない。意識のズレを感じ、サークルにも参加しなくなった。
Cさん	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢の祖父母も一緒に住んでいるので、ワクチン接種済みであるとはいえ、自粛を心掛けている。
Q5.ニュースで若い人の感染者が増加していると聞いてどう思うか。	
Bさん	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSで若い人が遊んでいる様子を見ると非常にイライラする。自粛してほしいと強く思う。
Cさん	<ul style="list-style-type: none"> ・増加すると思う。都会に住む知り合いのインスタグラムに大人数で遊んでいる様子が掲載されており、感染しないのか疑問に思う。 ・山梨は、遊ぶところが少ないので、そこまで感染が広がらないとも思う。
Q6.休日はなにをしているか。コロナ禍前と後で違いはあるか。	
Aさん	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍前は、カラオケやイオン、東京にもよく行った。今は全く行かない。 ・家で友達とオンラインゲームをすることが増え、新しい楽しさも発見もできた。
Bさん	<ul style="list-style-type: none"> ・休みの日は家でYOUTUBEや動画サブスクリプションを見ている。 ・昨年の休講明けは、とにかく友達を作るのに必死だった。直接会う機会が限られているので、Twitterで繋がっている人が多く、サークル情報もそこにしか掲載されていないため、Twitterを始め、コミュニティを広げたが、個人情報の側面で怖い部分が多く、最近は友達ができたこともあり、今は利用していない。
Cさん	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年入学時から休講で、GW明けから講義が始まったがオンラインであり、ずっと家にいた。幸い高校の同級生が同じ学部にいたからよかったものの、誰に何を聞けばいいかわからないことばかりだった。
Q7.今のコロナ禍における、正直な気持ちは。	
Aさん	<ul style="list-style-type: none"> ・どうしようもないという気持ち。 ・自粛疲れと言っているが、もうちょっと我慢して欲しい。 ・大学は対面講義がよかった。オンラインだと、画面を非表示にする人が多く、さみしい。対面であれば、会話が弾みやすい。
Bさん	<ul style="list-style-type: none"> ・あきらめの感情が強い。 ・自粛する組としない組で分かれている。自粛しない組とは遊べないから、仲良くなれな

	い。コロナによって付き合い友達が制限させられているように感じる。価値観を無理やり比べられるのはくやしい。
Cさん	<ul style="list-style-type: none"> ・特効薬ができれば希望を持てるが、現状を受け入れるしかないと思う。 ・観光地に近い地域に住んでいるが、最近人は増えている。自粛が広まらず、緊急事態宣言に効果がないと感じている。地域活性化のためには、観光客が必要だが、住民はあまりうれしくない。 ・インドア派なので、自粛していない人たちを見ると、遊び過ぎではとも思う。
Q8.コロナ禍以前の状態に戻ったらどうしたいか。	
Aさん	・友達と遊びたいので、できれば、この2年間をやり直したい。
Bさん	・対面講義は、友達に会いに行く感覚。週1程度に友達に会えればいい。
Cさん	・友達と海外に行きたい。学生の時にしかできないことをしたい。
Q9.今後どのようなことを望むか。	
Aさん	・どこかに行っても後ろ指を指されないようになって欲しい。
Bさん	<ul style="list-style-type: none"> ・経済が活性化しないと就活が困難となりうる。 ・旅行できる環境になって欲しい。 ・ワクチン接種が進み、インフルエンザ化すれば、家族も安心できる。
Cさん	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も新しいウイルスが発生すると思うので、今のうちに、インドア生活など、この状況下に慣れておきたい。 ・コロナ禍前に戻ることをあまり期待していない。 ・少人数の対話が多い講義は対面で、大人数の一方的な講義はオンラインなど、オンラインとオフラインのいいところをミックスできればいいと思う。

●山梨県立大学 在学生へのインタビュー

概要	
日時	令和3年8月6日（金）午後4:30～午後5:15
対象	山梨県立大学1年3名
場所	山梨総合研究所 会議室
調査者	山梨総合研究所 清水、廣瀬

内容			
【対象者情報】			
氏名（仮名）	Aさん	Bさん	Cさん
性別	女性	女性	男性
学年	1年生	1年生	1年生
ワクチン接種	2回	2回	2回
住宅	アパート（1人）	実家	アパート（1人）
【インタビュー内容】			
Q1. 普段、新型コロナウイルスに関する情報を目にするか。			
Aさん	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ、スマートフォンで見かける。 ・県LINEアカウントは発生した地域・年代がわかるため、登録している。 		
Bさん	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ、スマートフォンで見かける。 ・実家暮らしのため、親からの情報も多い。 ・県LINEアカウントは知らなかった。 		
Cさん	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンで自分から調べる。一人暮らしなのであまりテレビは見ない。 ・県LINEアカウントは知らなかった。 ・知りたい情報を調べていたら県HPに辿り着いたことはある。 ・県Twitterをフォローしてないので、県の情報が自動的に入ってくることはない。 		
Q2. 何をきっかけに新型コロナウイルスに関する情報を調べるか。			
Aさん	<ul style="list-style-type: none"> ・親が県LINEアカウントに登録しており、恐怖心もあり、登録した。 ・県内で発生した最初の頃は、恐怖もあったため、自分の近くで発生しているか気になって調べることがあった。 		
Cさん	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしのため、親から注意喚起があり、状況を調べて親に報告している。 ・地元のクラスターは、うわさで情報が回ってくる。 		
Q3. SNSで新型コロナウイルスに関する話題が流れてくるか。			
Aさん	<ul style="list-style-type: none"> ・Twitterのニュースを見ることが多い。 		
Cさん	<ul style="list-style-type: none"> ・普段はTwitterで情報は流れてこないが、同大学生の中でワクチンの副作用について現状報告をする人が多数いた。 ・友達がTwitterでワクチンによる死亡確率の情報を見て、それを恐れて接種しなかった。ただ、そういう情報が拡散されている印象はない。 		

Q4.新型コロナウイルスに関してどういった情報が気になるか。	
Aさん	・感染者の年齢層。感染者が10～20代だと同大学生かもしれないため、嫌になる。
Bさん	・クラスターがどこで発生したかが気になる。
Cさん	・感染者数。自分の居住地だと年齢層も気になる。近い年齢層だと現実味が出てきて、身近な恐怖を感じる。 ・一人暮らしなので、感染時、検査等どうすればいいかわからない。症状が出たときの対応を常時知らせて欲しい。 ・町内放送で、人数を言うのはどうか。危機感を持つのでは。
Q5.若者の間で感染者数が増えていると報道されることについてどう思うか。	
Aさん	・その通りだと思う。東京に行くのは怖い。
Bさん	・県外に行くことはない。東京は怖い。
Cさん	・その通りだと思うが、大人であっても遊んでいる人は遊んでいる。 ・東京は怖い。東京の友達に会う際は、ワクチン接種しているか聞いている。
Q6.緊急事態宣言についてどう思うか。	
Bさん	・姉が看護師で、親からも自粛するよう言われているので外出できない。
Cさん	・明らかに緊急事態であるのに、宣言を出さないと自粛しないのだろうかと感じる。東京は管理しきれていないように思う。 ・地域ごとに対応を考えるべき。山梨と東京は状況が違う。 ・ワクチン接種はしたものの、まだ不安がある。
Q7.自粛についてどう思うか。	
Aさん	・東京の人が田舎にきて、気晴らししているとも思うが、自粛して欲しい。
Bさん	・東京の人たちが自粛していないため、自分がするしかない。 ・県外の車を見るとなぜ来ているのかと思うので、自分は県外に出てはいけないと思う。
Cさん	・自粛の基準がわからない。買い物等出掛けるところは出掛ける。 ・感染したくない、広げたくないからなるべく自粛はしたい。 ・県外ナンバーを見るとなんで来ているのかと思う。
Q8.自粛生活で普段なにをしているか。	
Cさん	・YouTube 視聴。娯楽要素を求めているので、新型コロナウイルスに関する情報は一切見ない。YouTube に調べる要素を求めている。
Q9.コロナ禍の現状についてどう思うか。	
Aさん	・海外に遊びに行きたかった。行動を制限されているのがいやである。
Bさん	・大学生だからこそできることが何もできていない。
Cさん	・やる気はあるが何もできないもどかしさがある。
Q10.今後、どうなって欲しいか。	
Cさん	・新型コロナウイルスがなくなって欲しい。マスク着用をしたくないし、友達と話すにもパーティーが邪魔である。早くみんながワクチン接種できることを望む。

●山梨学院大学 留学生へのインタビュー

概要	
日時	令和3年8月10日(火)午後2:00~午後2:50
対象	山梨学院大学大学院2名、学部2名
場所	山梨総合研究所 会議室
調査者	山梨総合研究所 清水、廣瀬

内容				
【対象者情報】				
氏名(仮名)	Aさん	Bさん	Cさん	Dさん
性別	女性	女性	女性	女性
学部/大学院	大学院生	大学院生	学部生	学部生
ワクチン接種	2回	2回	未接種	(未聴取)
住宅	アパート(一人)	アパート(一人)	大学寮	(未聴取)
出身国	中国	中国	中国	中国
【インタビュー内容】				
Q1.新型コロナウイルスに関する情報を見ることはあるか。				
Aさん	・テレビではあまり見ず、スマートフォンで見る。			
Bさん	・ときどき見る程度。テレビがないので、スマートフォンで調べる。			
Q2.ニュースを見る際、中国表記か日本語表記か。				
Aさん	・両方。日本のニュースはYahooニュースで見る。日本語でも意味は理解できる。			
Bさん	・両方。日本のニュースはGoogleニュースでも見る。長文はポイントだけ見る。			
Q3.日本の新型コロナウイルスの状況はニュースサイトやアプリで調べるか。				
Aさん	・たまに見る。感染者数や場所を調べる。 ・中国の感染者数や場所も調べる。最近は厳しいと聞いているが、日本の方が危険。			
Bさん	・感染者数や場所を確認する。自分の周りに感染者がいるか気になる。			
Q4.日本のニュースは理解できるか。日本の情報を知りたいときに困ることはあるか。				
Aさん	・理解できるので困ることはない。難しい表現の時は、日本人の友達に聞く。			
Bさん	・スマートフォンの翻訳アプリや電子辞書を活用しながら理解している。			
Cさん	・スマートフォンの翻訳アプリで、ある程度理解できる。 ・不明点は、日本人の友達に聞く。			
Q5.中国語に翻訳されていることや日本語表記のままであることを気にするか。				
Aさん	・特に気にしない。情報収集に困ってない。			
Bさん	・中国語であればありがたいが、日本語でも困っていない。			
Q6.山梨県のHPを見るか。どうすれば、見るようになると思うか。				
Aさん	・存在を知らない。周りで見ている人もいない。			

	・学校から紹介されれば見るかもしれない。
Bさん	・見たことがない。 ・中国語で掲載されていないのでわざわざ見ないと思う。 ・入学時に大学から案内があれば見るかもしれない。
Cさん	・山梨県の情報について、細かく調べない。 ・どのような情報を発信しているか知らないなので、イベントなどで周知する機会が必要では。
Q7.Twitter など SNS を利用するか。	
Aさん	・利用していない。
Bさん	・利用していない。
Cさん	・Instagram と Facebook、LINE を利用している。
Dさん	・日本人の友達と Instagram・YouTube をフォローしあっている。若者たちの必須ツールだと思う。
Q8.YouTube を見るか。	
Aさん	・ビデオ動画などを見る。ニュースは見ない。中国では Bilibili 動画の方が人気である。
Bさん	・見るがニュースを見ることはない。Bilibili 動画の方をよく見る。
Cさん	・見る。Bilibili 動画も見る。
Q9.留学生同士や中国出身者とのつながり・コミュニティはあるか。	
Aさん	・中国人のつながりはあるが、他の国の留学生とのつながりはあまりない。
Bさん	・数百人規模の中国からの留学生グループがある。 ・メッセージアプリである WeChat 上で留学生のチャットグループがあり、大学の先生も入っているので、重要なことは先生から通知が来る。新型コロナウイルスに関しても話をし、感染者数や発生場所、ワクチン接種について話題に上がることが多い。情報を聞きやすいので知りたい情報は、まずここに聞く。
Cさん	・中国からの留学生の学友会もある。
Q10.外国人向けの相談窓口を知っているか。	
Aさん	・知らない。何かあれば学校に相談する。
Bさん	・知らない。本当に困ったら、中国大使館を頼るがそこまで困っていない。 ・新型コロナウイルスに関しては、大学の国際交流センターに問い合わせている。
Cさん	・知らない。
Q11.日本の感染状況についてどう感じているか。	
Aさん	・マスクをしない人が多く、心配になる。中国の方が厳しく取り締まっている。 ・一人暮らしなので、感染して自宅療養となる場合、とても不安である。 ・PCR 検査ができる場所がわからない。 ・日本人全員を対象に PCR 検査すべきである。恐怖感がある。
Bさん	・外出は控えている。 ・自宅療養の人達が外出していないか確認が必要だと思う。 ・日本はワクチンが少ないと聞いている。正確な情報がない。

	<ul style="list-style-type: none"> ・大学の対面講義において、マスク着用でも不安である。 ・デルタ株が増加しているが、学内でマスクをしない人が多い。 ・中国では、感染者が出たら、マンションやアパートだけでなく地域ごと隔離され PCR 検査を受ける。日本は、家族が検査を受ける程度なので心配である。
C さん	<ul style="list-style-type: none"> ・マスクを着けない人に、着用するよう警察等が厳しく呼びかけて欲しい。 ・感染した場合、政府から助けてもらえるか心配である。自宅療養とも聞いているので、感染したらどう対処するのか、テレビやインターネットなどで教えて欲しい。 ・PCR 検査をどこで受けられるかわからない。 ・PCR 検査を学校内全員対象にできるようにして欲しい。 ・一番怖いのは海外から来た人なので、空港の検査を厳しくして欲しい。 ・感染者の年齢や名前は非公表でいいが、感染経路を公表すべき。 ・飲食店でアルバイトをしているが、グリーンゾーン認証施設における個人情報記入用紙は QR コードにすべき。紙の管理も大変で、ペンの使用による感染リスクもある。
D さん	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人の友達の多くは日本でワクチン接種したいと聞いている。

5.情報収集における各年代の傾向

県政モニターアンケート及び WEB アンケート、若年層へのグループインタビューの結果から、各年代の新型コロナウイルスに関する情報収集の傾向などを以下のとおりまとめる。

1.1.10～20代の傾向

- ・ 10～20代の若年層は情報収集に消極的かつ受動的であり、その情報源はテレビやインターネット・アプリが大きい部分を占めている。また、SNSで情報に接触する機会が他の年代よりも多い一方で、SNS上の情報をあまり信頼していない。それらの情報源に加えて、親などの家族から間接的に情報を得る機会が比較的多いことも特徴である。
- ・ 毎日の感染者数や感染者の感染経路・行動歴、ワクチンの副反応に関する情報などに関心を持っているとともに、学生グループインタビューの中では、同じ学校や地域など身近なところに感染者がいなかったか気になるといった声もあり、感染の発生地域や年代についてもニーズがあると考えられる。
- ・ 外出時の参考とするために情報を集めるなど、感染状況を意識しながらも活動したいという傾向が他の年代よりも強いことが窺え、そのために信頼度の高い情報を重視している。一方で、県などの行政機関が発信している情報への接触頻度は他の年代に比べ低い。

1.2.30～40代の傾向

- ・ 30～40代は10～20代よりも情報収集に積極的である。情報源はテレビやインターネット・アプリで、SNSでの情報収集はあまり行っていない。
- ・ 新型コロナウイルスに関する情報については、感染者の居住地や生活圏への関心が特に高い。
- ・ 家族や職場に迷惑をかけてしまうことへの恐れから、不要不急の外出や大人数での会食を控えるなど、自粛の意識が他の年代より強い傾向にあるとみられる。

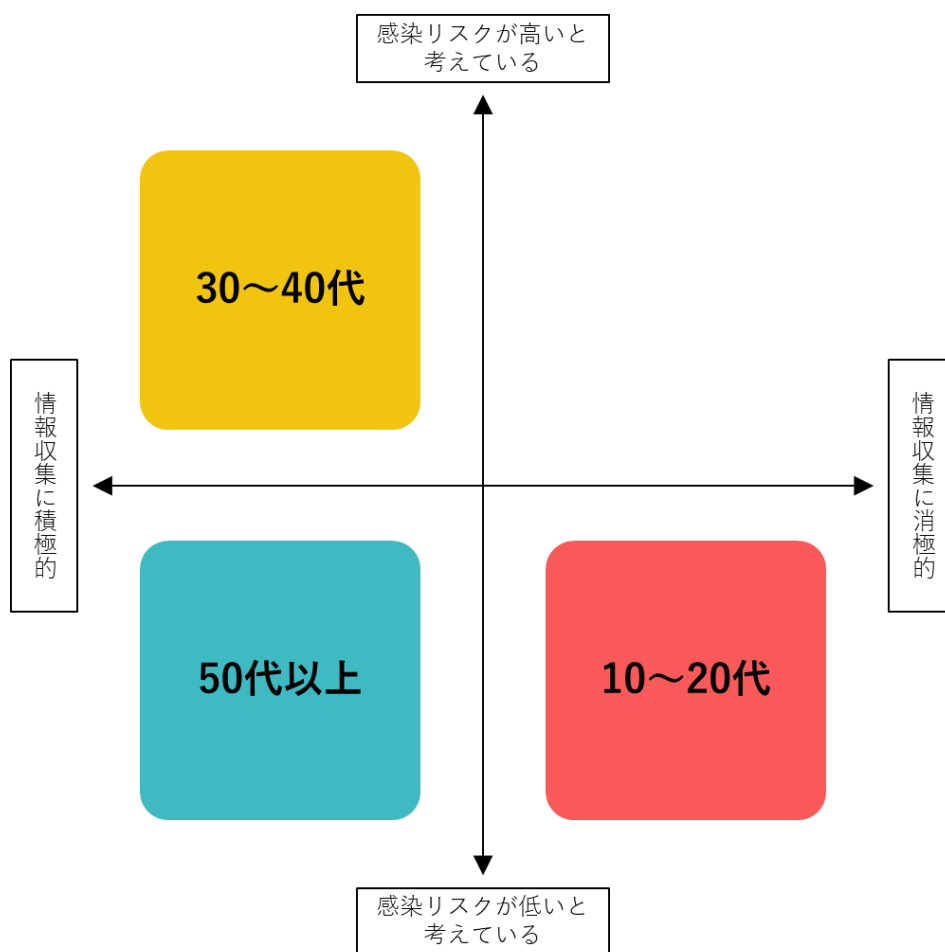
1.3.50代以上の傾向

- ・ 50代以上は情報収集に非常に積極的である。情報源はテレビや新聞が中心であり、50代はインターネット・アプリ、60代以上は国や市町村の配布物についても情報収集に用いている。また、県の情報発信媒体への接触頻度も高い。
- ・ 毎日の感染者数や感染者の感染経路・行動歴、市町村ごとの感染状況について関心が高い。
- ・ 情報収集に積極的である一方で、他の年代にくらべて、自分は感染しないという意識を持っている傾向があり、他の年代に比べ外出機会が少ないことから、感染リスクが低いという認識を持っている可能性が考えられる。

1.4.まとめ

各年代の傾向を以下の図のとおりまとめる。

新型コロナウイルスに関する情報発信において、まずは情報収集に対して消極的な 10～20 代の若年層に対する情報発信を改善していくことが必要である。また、50 代以上においては、新型コロナウイルスの感染リスクを低く見積もっている傾向が見受けられることから、適切なリスク認識を促す必要があると考えられる。

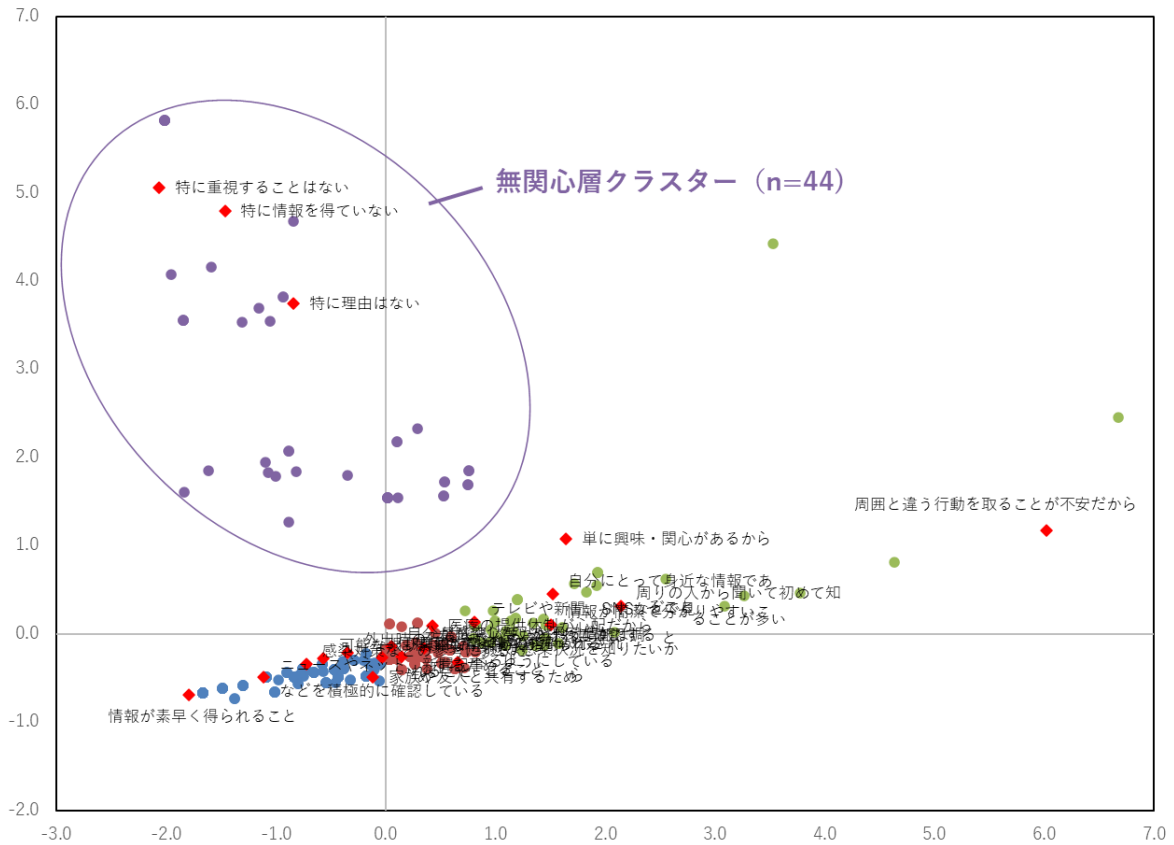


6.無関心層に関する分析

新型コロナウイルスに関する情報収集に無関心な層について、WEB アンケートの結果を分析したものを以下のとおりまとめる。

1.1.無関心層の抽出

WEB アンケートの単数回答の設問のうち、問1「現在のあなたの状態に最もあてはまるものはどれですか。」、問2「新型コロナウイルスに関する情報について、あなたが最も重視することはなんですか。」、問6「あなたが新型コロナウイルスの情報を集める理由として、最も当てはまるものはどれですか。」の回答結果について、多変量解析手法である数量化3類を行い、更なるその結果における各回答者のサンプルスコアに対し階層的クラスタ分析を行ったところ、以下の図のような無関心層クラスターが抽出された。

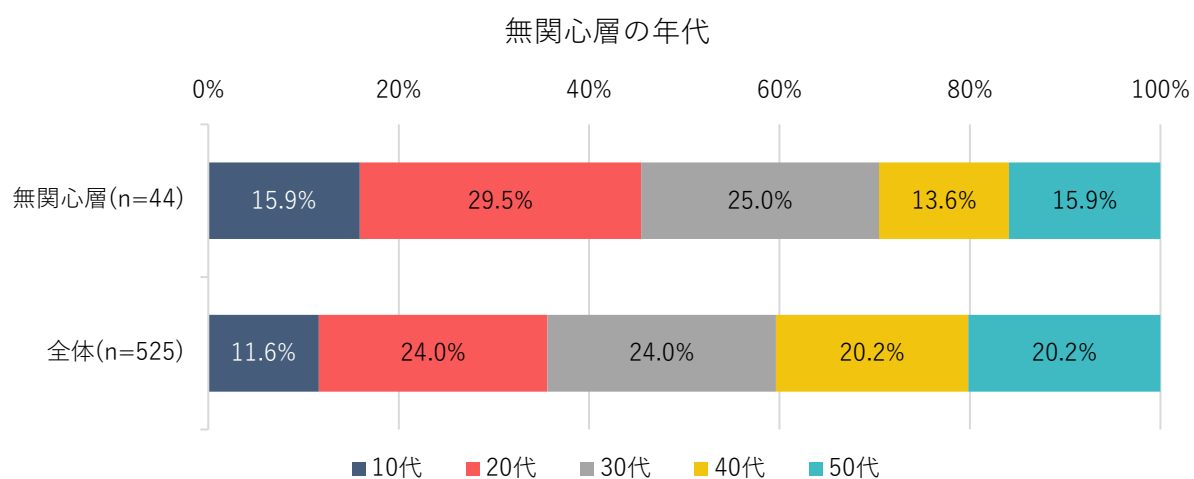


1.2.無関心層クラスターの分析

上記の無関心層クラスターについて、WEB アンケートの結果を集計したところ、以下のとおりとなった。

①無関心層クラスターの年代

無関心層クラスターの年代は、20代が29.5%と最も多くなっており、10~20代が半数近くを占めている。

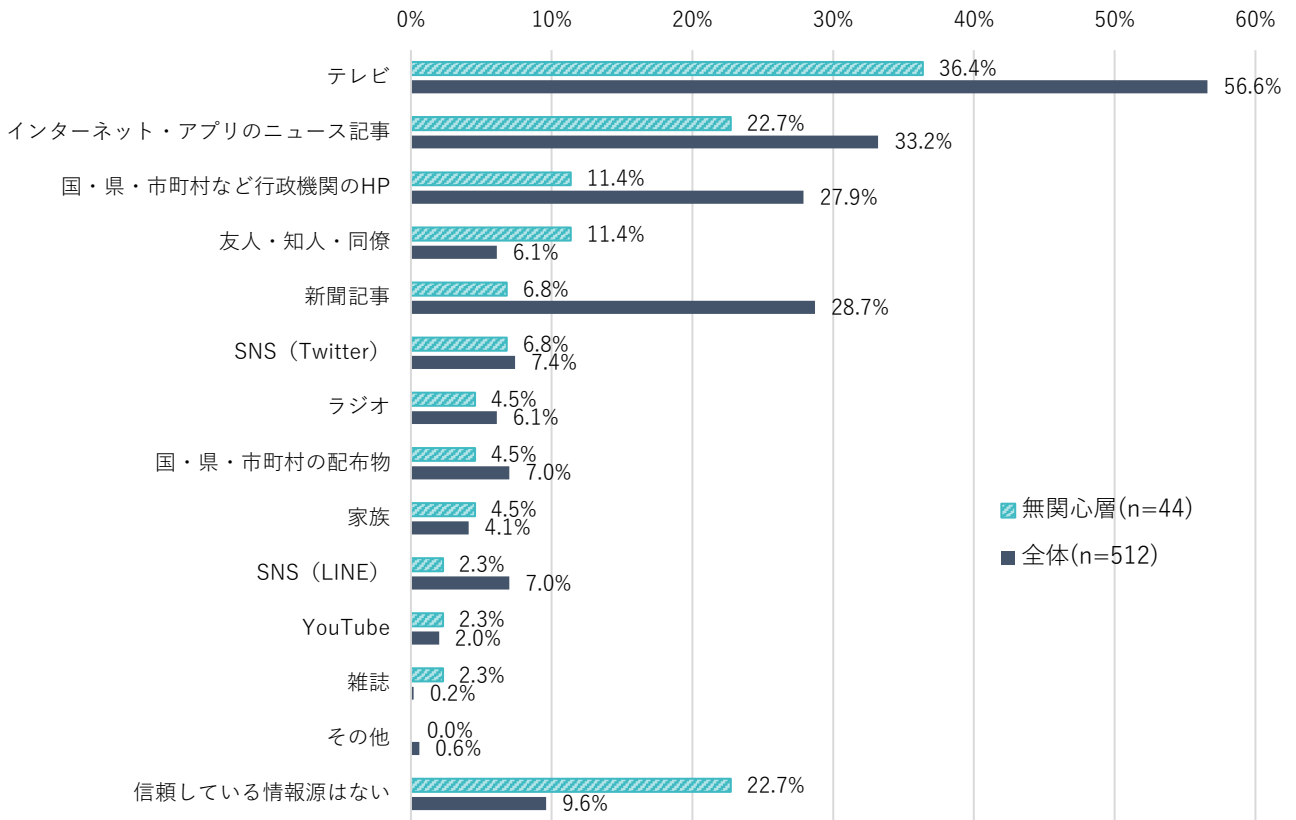


	無関心層		全体 (再掲)	
	n	%	n	%
10代	7	15.9%	61	11.6%
20代	13	29.5%	126	24.0%
30代	11	25.0%	126	24.0%
40代	6	13.6%	106	20.2%
50代	7	15.9%	106	20.2%

②無関心層クラスターの信頼している情報源

無関心層クラスターの信頼している情報源として、全体の集計結果と同様に「テレビ」が最も割合が高いものの、次いで「信頼している情報源はない」が22.7%となっている。

無関心層クラスターの信頼している情報源

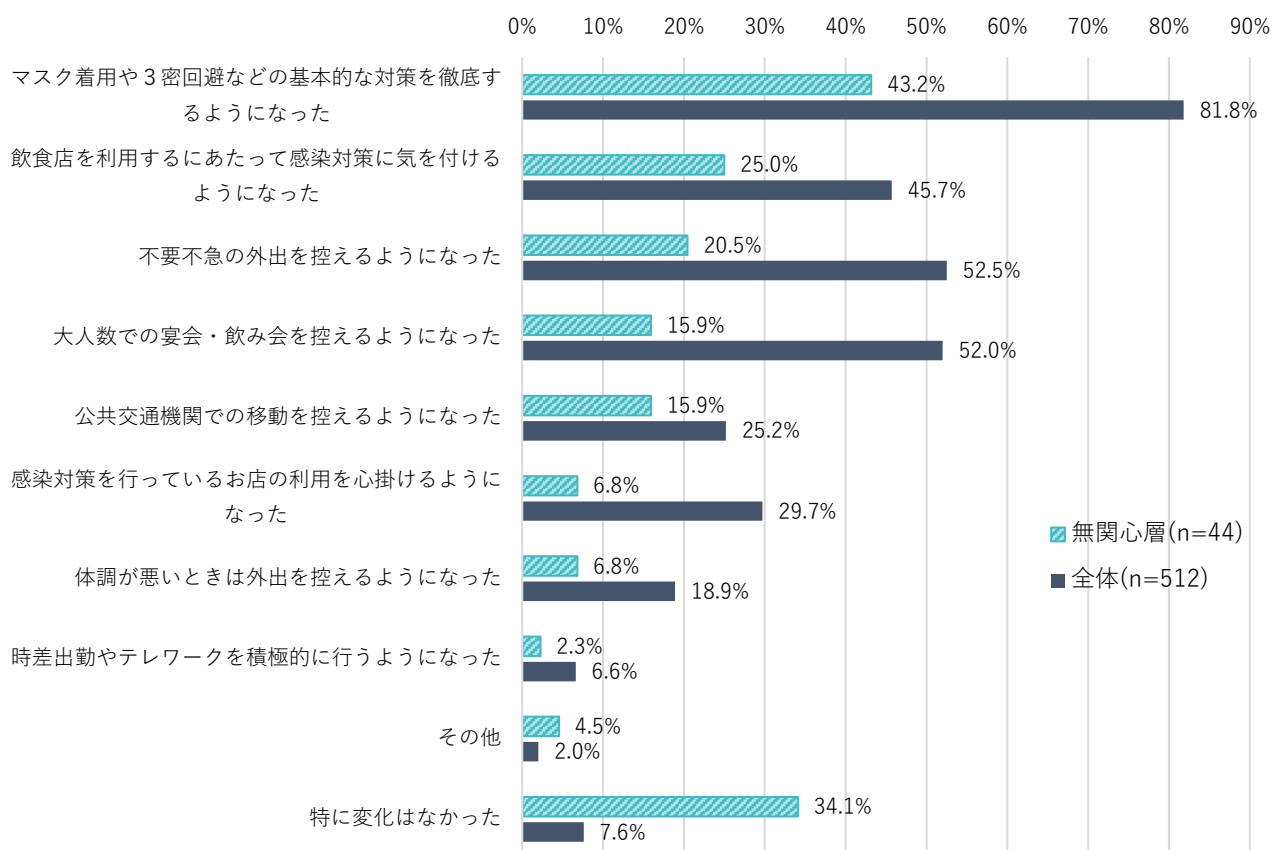


	無関心層		全体（再掲）	
	n	%	n	%
テレビ	16	36.4%	290	56.6%
インターネット・アプリのニュース記事	10	22.7%	170	33.2%
国・県・市町村など行政機関のHP	5	11.4%	143	27.9%
友人・知人・同僚	5	11.4%	31	6.1%
新聞記事	3	6.8%	147	28.7%
SNS (Twitter)	3	6.8%	38	7.4%
ラジオ	2	4.5%	31	6.1%
国・県・市町村の配布物	2	4.5%	36	7.0%
家族	2	4.5%	21	4.1%
SNS (LINE)	1	2.3%	36	7.0%
YouTube	1	2.3%	10	2.0%
雑誌	1	2.3%	1	0.2%
その他	0	0.0%	3	0.6%
信頼している情報源はない	10	22.7%	49	9.6%

③無関心層クラスターの行動変容

無関心層クラスターにおいては、全体の集計結果と同様に「マスク着用や3密回避などの基本的な対策を徹底するようになった」の割合が最も高いが、次いで「特に変化はなかった」が34.1%となっている。

無関心層クラスターの行動変容

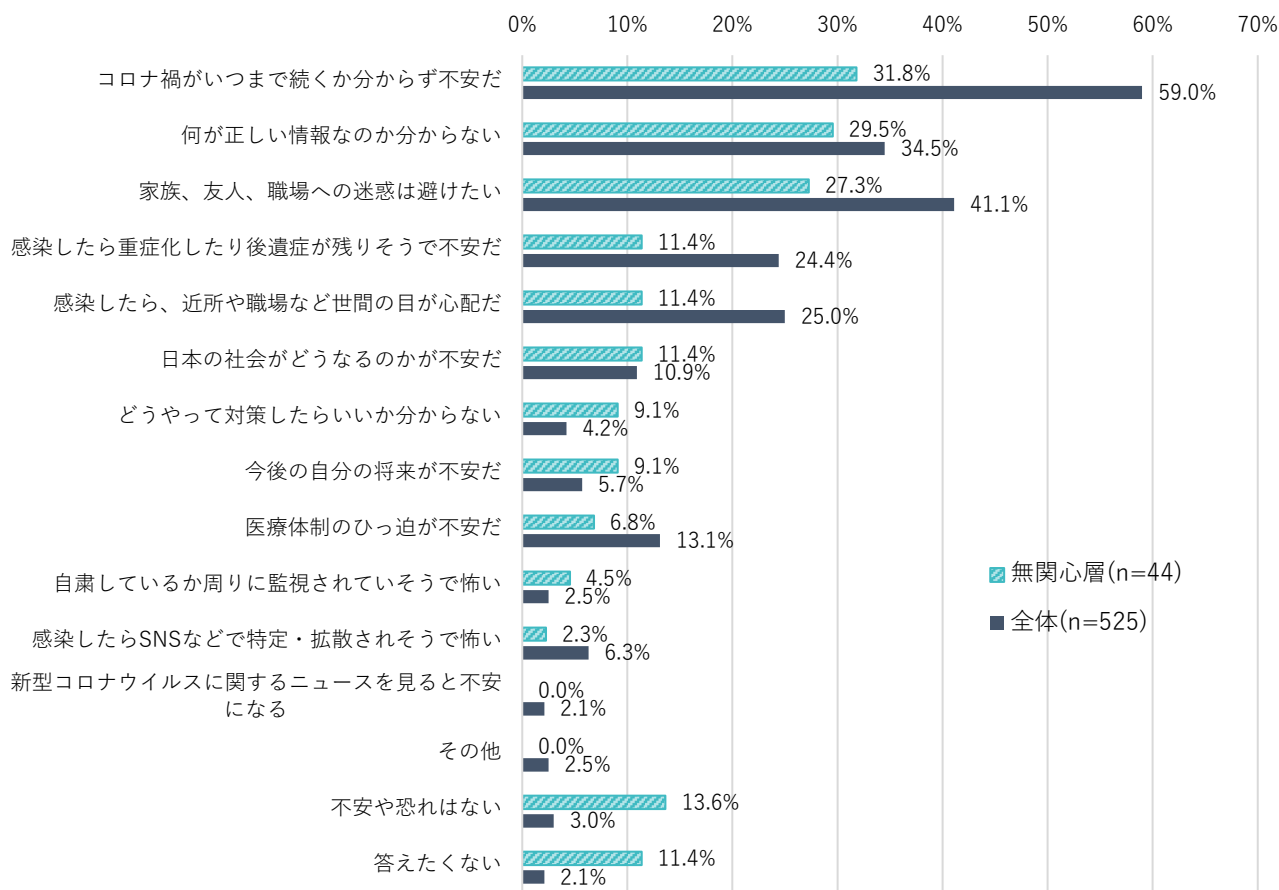


	無関心層		全体（再掲）	
	n	%	n	%
マスク着用や3密回避などの基本的な対策を徹底するようになった	19	43.2%	419	81.8%
飲食店を利用するにあたって感染対策に気を付けるようになった	11	25.0%	234	45.7%
不要不急の外出を控えるようになった	9	20.5%	269	52.5%
大人数での宴会・飲み会を控えるようになった	7	15.9%	266	52.0%
公共交通機関での移動を控えるようになった	7	15.9%	129	25.2%
感染対策を行っているお店の利用を心掛けるようになった	3	6.8%	152	29.7%
体調が悪いときは外出を控えるようになった	3	6.8%	97	18.9%
時差出勤やテレワークを積極的に行うようになった	1	2.3%	34	6.6%
その他	2	4.5%	10	2.0%
特に変化はなかった	15	34.1%	39	7.6%

④無関心層クラスターの不安・恐れ

無関心層クラスターにおいては、全体の集計結果と同様に「コロナ禍がいつまで続くか分からず不安だ」が最も割合が高く、次いで「何が正しい情報なのか分からない」が29.5%、「家族、友人、職場への迷惑は避けたい」が27.3%となっている。

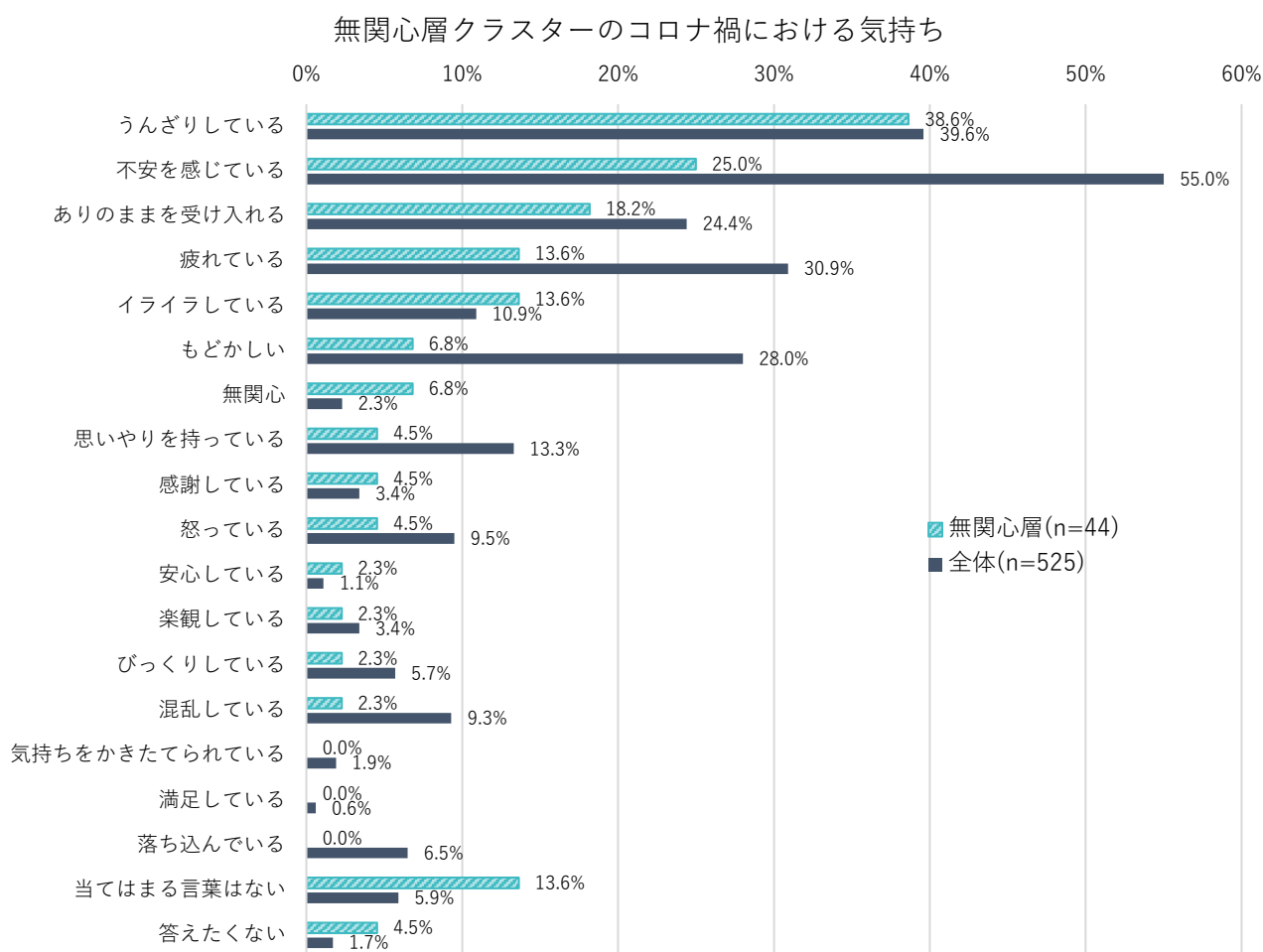
無関心層クラスターの不安・恐れ



	無関心層		全体(再掲)	
	n	%	n	%
コロナ禍がいつまで続くか分からず不安だ	14	31.8%	310	59.0%
何が正しい情報なのか分からない	13	29.5%	181	34.5%
家族、友人、職場への迷惑は避けたい	12	27.3%	216	41.1%
感染したら重症化したり後遺症が残りそうで不安だ	5	11.4%	128	24.4%
感染したら、近所や職場など世間の目が心配だ	5	11.4%	131	25.0%
日本の社会がどうなるのかが不安だ	5	11.4%	57	10.9%
どうやって対策したらいいか分からない	4	9.1%	22	4.2%
今後の自分の将来が不安だ	4	9.1%	30	5.7%
医療体制のひっ迫が不安だ	3	6.8%	69	13.1%
自粛しているか周りに監視されていそうで怖い	2	4.5%	13	2.5%
感染したらSNSなどで特定・拡散されそうで怖い	1	2.3%	33	6.3%
新型コロナウイルスに関するニュースを見ると不安になる	0	0.0%	11	2.1%
その他	0	0.0%	13	2.5%
不安や恐れはない	6	13.6%	16	3.0%
答えたくない	5	11.4%	11	2.1%

⑤無関心層クラスターのコロナ禍における気持ち

無関心層クラスターのコロナ禍における気持ちでは「うんざりしている」が 38.6%と最も高くなった。次いで、「不安を感じている」が 25.0%、「ありのままを受け入れる」が 18.2%となった。



	無関心層		全体 (再掲)	
	n	%	n	%
うんざりしている	17	38.6%	208	39.6%
不安を感じている	11	25.0%	289	55.0%
ありのままを受け入れる	8	18.2%	128	24.4%
疲れている	6	13.6%	162	30.9%
イライラしている	6	13.6%	57	10.9%
もどかしい	3	6.8%	147	28.0%
無関心	3	6.8%	12	2.3%
思いやりを持っている	2	4.5%	70	13.3%
感謝している	2	4.5%	18	3.4%
怒っている	2	4.5%	50	9.5%
安心している	1	2.3%	6	1.1%
楽観している	1	2.3%	18	3.4%
びっくりしている	1	2.3%	30	5.7%
混乱している	1	2.3%	49	9.3%
気持ちをかきたてられている	0	0.0%	10	1.9%
満足している	0	0.0%	3	0.6%
落ち込んでいる	0	0.0%	34	6.5%
当てはまる言葉はない	6	13.6%	31	5.9%
答えたくない	2	4.5%	9	1.7%

1.3.まとめ

今回の調査で抽出された無関心層は 10～20 代と若年層が中心となっている。日々、多くの情報が飛び交い、何が正しい情報なのか判断が出来ないという不安や、長引くコロナ禍の状況に疲れ果てうんざりしているという気持ちが強いことなどが、新型コロナウイルスに関する情報への関心が低いことの 1 つの要因と考えられる。こういった心理的状況などから、仮に情報を得たとしても、自粛などの行動変容に至らないということが推察される。

7.県における今後の新型コロナウイルスに関する情報発信のあり方

各種アンケート及びグループインタビューの結果や分析から、今後の新型コロナウイルスに関する山梨県の情報発信のあり方について以下のとおりまとめる。

1.1.若年層への情報発信のあり方

10～20代の若年層への情報発信には、県のLINE公式アカウント（新型コロナ対策パーソナルサポート）をより活用していくことが考えられる。LINE公式アカウントは、配信側のタイミングで情報を届けられるプッシュ型メディアであるため、SNSへの接触頻度が高く、情報に対して受動的な若年層に有効な媒体となる。一方で、県政モニターアンケートなどの結果からは県のSNSの認知度や接触頻度が低いことも明らかとなっており、それらを改善し、利用者数を増やす必要がある。その方法としては、例えば、接触頻度も比較的高く、情報収集の媒体として用いられることも多いテレビや新聞などのメディアで、積極的にLINE公式アカウントの利用を促すように発信することや、県内の大学を通じてLINE公式アカウントを学生に紹介することが考えられる。

また、若年層は親などの家族から情報を得ることが多いため、親世代である50～60代に対して伝わりやすい情報提供を行っていくことで、若年層にも間接的に情報が伝達されていくと推察される。

加えて、若年層のグループインタビューでは感染した場合の対応を知りたいという声があり、感染時の問い合わせ窓口やその後の療養の流れを、フローチャートなどを用いて分かりやすく例示することが考えられる。

1.2.50代以上への情報発信のあり方

50代以上は情報収集に積極的であるため、ニーズに対応した情報発信を行うことが重要になってくる。

知りたい（役に立つ）情報としてニーズが高いものには、毎日の感染者数や感染経路・行動歴が多く挙げられている。これらの情報については、日々の公表や定期的な事例紹介などの情報発信が行われているものの、アンケートの自由記述では、公開されている情報が伝わっていなかったり、情報の内容が不十分であるとの声が多くなっており、ニーズに対して十分な対応がなされていない可能性がある。

毎日の感染者数については、より視覚的に伝わりやすくするために、現在のモニタリング週報のようなグラフ表記を県HPのトップページや、LINE公式アカウントなどで発信していくことが考えられる。また、感染者の居住地や生活圏も、モニタリング週報における市町村別の感染状況を伝わりやすい形で発信していくことが必要と考えられる。

感染者の感染経路・行動歴に関しては、個人の特定にも繋がりがねないことから、慎重な情報公開が必要となる。例えば感染経路や感染者の行動歴として多く見られるケースを統計的に分析し、現在発信されている情報よりも具体的な情報を個人が特定されない形で公表することで、注意喚起を促すことができると考えられる。

1.3.無関心層への情報発信のあり方

無関心層は10～20代が中心であるため、若年層への情報発信のあり方と同様に、情報収集に消極的な人たちに対して、どのようにして情報を伝えるかを検討する必要がある。

また、情報過多となっている状況の中で、「何が正しい情報なのか分からない」というマインドを持

っていることから、情報を受け取る側が混乱しないように、簡潔かつ直観的な情報発信を心掛けることが重要であると考えられる。

情報過多に対するマインドに加えて、コロナ禍の現状に「うんざりしている」というマインドがあり、それらのような心理状態に対するメンタルケアに関連した情報発信を行うことも有効と考えられる。

1.4.外国人に対する情報発信のあり方

留学生に対するグループインタビューの結果から、在住外国人においては、情報が得られるメディアが限られていることもあり、必要としている情報が届いていないことが推察される。近年では、スマートフォンなどを利用して翻訳することが可能であるため、言語に関しては短い文章等であれば大きな問題となっていないことから、翻訳した情報を発信するよりも、どのようにして情報を伝えるかということが重要であると考えられる。例えば、勤務先や学校などを通じて情報を提供していくことや、在住外国人が属するコミュニティ等に協力を呼びかけることが考えられる。

1.5.行動変容を促す情報発信のあり方

行動変容を促す情報発信のあり方の1つとして、利他性を強調したメッセージや情報の発信が考えられる。広島県では災害時などにおける避難行動を促すため、「あなたが避難することが、みんなの命を救うことにつながります」といったメッセージを出しており、自分の行動が周囲に与える影響を意識させることで避難行動を促進している。この事例は、行動科学の知見に基づいた取り組みを推進している日本版ナッジユニット（事務局：環境省）の会議¹でも取り上げられており、新型コロナウイルスに関する情報発信においても、不要不急の外出自粛を促すために「あなたの行動がみんなの救う」というような利他性を想起させる向社会的メッセージを発信することが有効と考えられる。また、利他性を持たせるにあたり、「みんな」といった不特定多数ではなく、家族などの顔の見える一人を思い浮かべさせることで、より効果的に利他性を意識させることができる。

¹ 第10回日本版ナッジ・ユニット連絡会議